

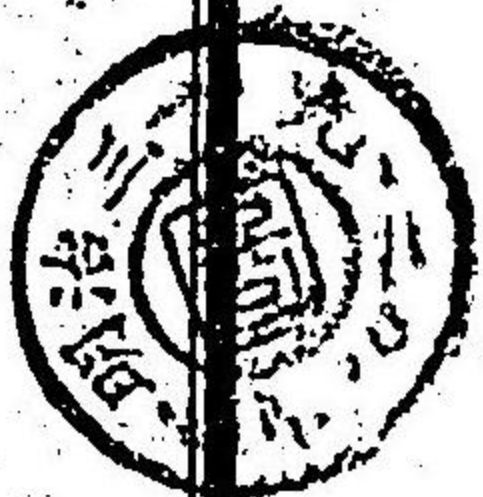
特31  
762

獨學  
自在  
日本外史講義  
二



自稱日本外史講義卷之四

伊豫松山 近藤南州述



源氏後記

北條氏北條氏天下ノ權ヲ握リシト雖モ元帥ノ職ニ居リシ者ニ非ズ故ニ之ヲ源氏後記トシテ北條氏ノ一代ヲ記シタルナリ。謂フ所權源元帥ニ屬シ以テ

名分ノ混マカセ

○不忍言元帥ヲ執逆シ無前ノ逆賊ナリ。其事實チロニ言フニ忍ヒスト云フ意。 ○晦澁不啓晦澁ハ意味ノハ

○文飾其實サマテノ事ニ非ルモ之ヲ ○親房之論神皇正統記ノ

○可取信實侍ニテ信 ○源氏云云以下廢帝記 ○掌握手

○不能平心中ニ於テ安 ○後嗣已絶實朝殺サレ源氏ノ世系全ク絶ヘリ。 ○寡妻後家ノ

○陪隸陪臣家隸 ○當其家源氏ノ家ニ當 ○舊權本ノ天下ヲ統御セ ○似也機會ヲ

○王綱天子國家 ○奮一臂手ノヒガナリ奮起シテハマラコト

○至極御尤ナルニ ○似リト云フ意。







地方ノ ○敗績 師ノ大ヒニ崩レシナリ。 ○略 大概ナリ。 ○監護 氣ヲ付ク。 ○四世祖 義家ノ義親。為義。義朝。頼朝。五世ナレドモ。義親ハ相續セザレニ。 ○恩威 恩徳。 ○繼母 義家ノ母。此書前後多ク此ノ如ク算ス。 ○謀慮 可倚。 ○相結託 雙方相結ビタノ

○投其男於水 頼朝ノ子千鶴ヲ。水ニ投シ殺シ。禍根ヲ絶ナシナリ。源氏記ニハ。以事相照。没シ。北條氏記ニテ之ヲ明記ス。是レ老練史論ニ輪セシ所ノ史記。 ○江間某 小次郎。 ○多女 十一女。 ○次否 次女ハ美ナ。 ○後妻 牧氏ト稱ス。傾險驕恣ナリシ。時政ノ諸子。母氏各

○懲伊東氏 伊東氏ノ女ト姦通セシヲ。女ノ繼母ガ告發スル所ト爲リシニ。 ○次女 二番娘。サレド十一女アリテ。其母ハ多ク異ナリト云ヒ。最後ノ。 ○致焉 絶書ヲ送り。 ○無貌 容貌ノ善。 ○情好不終 情愛ノ一生全タカラズ。中。 ○階禍 夫婦ノ中違ヒヨリシテ。 ○

次女夢鳩銜金函至 大ヒナル間連ヒナリ。日本史ニ云フ。是レヨリ先キ。次女身陵嶺ニ登リ。日月ヲ袖ニシ。手ニ編枝ノ實ヲ垂ル。ヲ持スト夢ミ。痛メ而シテ之ヲ疑ヒ。政子ニ問フ。政子願ハ舊記ヲ讀リ。日葉羅媛命ノ婿ヲ曉ミ。景行帝ヲ生ミシヲ憶ヒ。心ニ之ヲ奉ヒ。己レノ福ト爲ント欲ス。乃チ結キ曰ク。是レ凶夢ナリ。云云。其レヨリ移轉シテ禍ヲ免カルノ法ヲ説キ。之

レヲ買フコト。爲シ。唐鏡一枚。衣一襲ヲ出シテ。之レヲ價ヒシニ。是少。政子白鳩ノ金函ヲ銜

來リ。之レヲ啓ケバ則チ頼朝ノ書ナリシヲ夢ミ。其翌朝果シテ頼朝ノ書ヲ得テ。遂ニ私カニ通シタリトナリ。サレバ鳩ノ夢ハ。姉ノ夢ニテ。妹ノ夢ハ全ク別ナリ。サレド其レヲ譯スルニハ。大分六ヶ敷コト故ヘ。山陽翁ガ大義ノ闡スル所ニモ非スト思ヒ。本文ノ如ク。 ○心動 是レハ何か善

改作セラレシ者ナラン。併シ餘レ甚シキ相違故ヘ。之レヲ贊歎シ置ク。 ○心動 是レハ何か善ルナラント心ニ。 ○粧鏡 ケシヤウスルカ。即チ上文ニ記スル唐鏡ニシテ。家世ト相傳ヘ

ト云フ。 ○薄以償直 鹿品ナガヲ。イサ、カ以テ夢ヲ買ヒシ。 ○日密 日ニ親シ。 ○役勤番ニ出。 ○役滿 三年ノ任期。 ○清盛族人 兼隆ハ。清盛六世ノ祖正度。 ○私 密通ス

張スル。 ○且喜 頼朝ノ人傑ナルヲ見込ミ。奇貨置。 ○伊豆山豆 驚ナリシニヒツクリセシナリ。 ○且喜 頼朝ノ人傑ナルヲ見込ミ。奇貨置。 ○伊豆山豆

ノ國ノ山中ナリ。一説ニハ。伊豆ノ御山トテ伊豆權現鎮坐ノ所ナリト云フ。 ○器 物ト見込ム。 ○高祖事 直方ノ女ガ。頼義ニ嫁

指ス。五世ノ祖チ高祖ト曰フ。是書已ニ維方一冊ヲ算入セザレバ。 ○陽怒而陰益厚之 表面ニテハ。其淫奔ヲ怒リ。内面ニ。 ○謀慮可倚 深謀遠慮ノ倚。 ○相結託 雙方相結ビタノ

ヲハ。略ニ益ク之レヲ親切ニスル。 ○延之別室 一人ツ。 ○經高等 宜

○治承 高倉帝。 ○以仁王 後白河帝ノ皇子。源。 ○陰謀 人ニ言ハレヌ。 ○經高等 宜

努力。 ○特厚 己。 ○陰謀 人ニ言ハレヌ。 ○經高等 宜

獨學日本外史 卷之四 三



其長兄ヲ擧グベシ。カレバ經高ハ定綱ノ誤ナリ。河越本高綱ニ作ル。亦ハ誤ル。○糾シテハス。○擁ダカマヘタ。○石橋山

相。○令政子居守。政子傳ニハ。頼朝兵ヲ起スニ及ビ。避ケテ走湯山ニ匿レシムトアリ。カレ

ル可。○揮之。揮ハ指揮ノ義ナリ。揮ト一字ノ時ハ。○諸源氏ノ諸族類。○平井郷豆

杉山模。○餽餉。食物ヲオ。○給。救ナ。○生存者哉。善ナリトノ意。○晒。微笑

土肥模。○存問。子走湯山ニ在リ。又秋戸郷ニ移ルト云フ。○獵島。安。○卿。俗ニ

フ如シ。○何以在此。甲斐ニ行キシト思ヒ居タル故。○御命。命ヲ奉ズ。○中道。途中ヲ

底。至ナリ。何レノ地ニ。○踪。アトヲツケル。時政途中ニテ引キ返シ。土肥ニ至リ。嚴浦ニ

ト會ス。○于駿河。富士河ノ。○叛。義。○抗禮。テ交際スル意。○明年七月生男

明年ハ上文ノ治承四年ノ明年ニシテ。即テ養和元年辛丑ナリ。東鑑ニハ。壽永元年壬寅八月。頼

家生レ。元久元年甲子ノ七月ニ弒セラレ。年二十三ト爲ス。日本史之レニ從フ。源氏記中。正治元

年巳未ニ。年十八トセシニ合ス。カレバ是處。○世子。諸侯ノ。○嬖姫。キニイリノ婦人。

妬悍。性ノテコハキ。○宗親。牧氏ノ。○驅逐。クハヒマ。○姫走云云。廣綱ガ連レ。○託

事。他ノ用事ニ。○警。ナリ。○恥之。妻ノ父ノ辱シメヲ。○其邑。伊豆ノ。○江馬。時

江馬小四。○在。北條ニ歸ラズ。○文治。後鳥羽帝。○奔鼠。ワシリカ。○途還。引キ還

ヘセ。○四索。四方ニ手ヲ分ケ。義經。○諸國司。是レモ司ノ字ハ。削ル可キニ。○抗辯。手強

シテ辯。○當其衝。事務ノサシカハ。ツテ。○立辯。立ツテ待ツ間ニ。直。○以詔。日本

ハ。敕シ自ラ代ヲ擧ゲシムトアリ。カレバ名指シノ。勅。○胄子。適子。○一禽。古文獸モ亦ヲ禽

終日不獲。一禽ニ五射ノ禮ニ。○專使。一事ノ爲メニ。○正治。土御門帝。○政所別當

逐禽左アル類。皆ナレナリ。○傳宣。將府ノ宣命ヲ。○五人。源氏ノ記。○教。合ナ

長官ナリ。○參決。相談シテ。○傳宣。將府ノ宣命ヲ。○五人。源氏ノ記。○教。合ナ

親黨。家屬ヲ。○盜起。室平四。○不得已。參河ハ父盛長ノ守護所ナルヲ。○絶。特別

怨望。妾ヲ奪ハレシニ付キ。○閱月。閱ハ歴ナリ。○誦讀。言ヲ以テ。○誓書。怨望セ

フ誓ヒ。○近狀。近頃ノ。○近佞。佞人ヲ親近スル。佞ハコヒ。○聲色。音樂。○勿及於

悔。ツラキ目ニ達フテ後。○般樂。旋ノ義ナリ。孟子ニ出ツ。○連署。連判ス。○抗訴。手強

獨學。日本外史。卷之四。四



リアテ。○旋復。○令人追誅之。三浦義村。糟谷有季等。遣ハシタルハ。景時ノ

ハ。途中ニテノ出來事。○爭疆而訟者。陸奥ノ新熊野社ノ僧。○援筆抹。援ハ取ナリ。

スギチ。○不能費案檢。一字。不須ニ作リシ。日本史ニハ。不須煩。使者覆按ニ作レリ。

引ク。○不能費案檢。一字。不須ニ作リシ。日本史ニハ。不須煩。使者覆按ニ作レリ。

是レハ。ヨウセヌノ意ナラズ。○疆場。邊鄙ノ地ノ經界チ。○準。表準ナリ。○厭。満足。

建仁。土御門帝。○禾稼不登。米ガ成。○海溢。アル。○賦鞠工紀行景。賦鞠ハケ

圓キ革ノ小囊ヲ造リ。足ニテ賦上ケテ賦ノ遊ブナリ。或ハ云。○廣元携謁。老姦故意ニ遊戯

ヲ行景ハ内舍人ノ官ナリ。匠工ニ非ズ。本書工ノ字失當ナリ。○器局。器置

ヲ愚ナラシム。以テ北條氏ニ便ス。晏平仲ノ。○不復視朝。政事廳へ出席シ

陳氏ニ於ケルニ異ナラズ。罪死ニ容レズ。○災異。上ノ大風雨。○每逢天變。日本史ニ東鑑チ引キ云

シ云。○狎臣。召シ使ヒ。○親臣。親信セラ。○嘗試。タメシ見ル意。○諷。其事チサシツケ

限。百日。遊。海濱。因。資充告。天變。遽止。其事。祈禱。以求。寧靖。云々。是レニ據レバ。頼朝ノ天變

ニ因リ。出遊チ止シ。建久中ニ一度アリシ。度々アリシ。非ズ。本書逢フ毎ニト云ヘバ。

殘度モアリシ。トナ。○告飢。餓饉ノ報知ノアル。飢。○父祖。義時。○鄙意。我ガイヤ

ト。○告飢。餓饉ノ報知ノアル。飢。○父祖。義時。○鄙意。我ガイヤ

カ。○非所避。罪ハ逃ケ避。○如邑。領邑北條。○出發笠視之。示シテ。旅行ノ

用意チ作シタル。○籽種。モミダチヲ謂フ。サレト問井ノ類ニテ。俗ニ云フ當テ字ナリ。願

トチ知ラセルナリ。○籽種。モミダチヲ謂フ。サレト問井ノ類ニテ。俗ニ云フ當テ字ナリ。願

音子トナルノミニテ。其義チ附セズ。故ニ何ノ字ナルチ詳ニセズ。日本史ニ。北條人去年貸三出

米五十石。充播種。待今年秋成。債子本トアリ。出舉米ハ。利子付キニテ貸シ渡ス米ナリト云。

○明稔。五穀ノ熟スルチ稔ト曰フ。故ニ一年チ一稔ト曰。○負債者。引キオヒニ

○饒使。二字ニテ一義。○責。催促スル。○祝。今日ニテハ。人ノ慶事チ賀スル文チ祝文

ト曰フハ。誤ナリ。○遜職。將軍職チ他ニユツ。○所管。管領ス。○懷異議。北條氏ノ議

チ主張ス。蓋シ北條氏ハ。本能員ノ一藩ノ外戚トシテ權チ握ラシナリ。○其女。即チ頼家ノ

レテ。分權論チ建テシ事故。能員ノ異議アルハ。其答ノコトナリ。○按響。馬ノダツナ

○微聞之。上卷ノ耳チ障外。○名越第。鎌倉ニ在リ。義時ノ二男名越。○按響。馬ノダツナ

メル。○憑恃。ヨリヌノミ。○凌蔑。シロニスル。○不省事。病氣ニテ引キ。○矯命

頼家ノ命令ナリトイハルチ。○文墨。文チ作り。筆チ執リテ。○在公之心耳。暗ニ之レ

シナリ。故ニ廣元傳ニ。時政悟。其旨。遂殺。能員。トアリ。然レモ其答言ノ首鼠兩端ニシテ。痕跡ナ

キハ。是レ廣元ノ老姦ナル所ナリ。晏平仲ノ暗ニ陳氏ニ助力シテ。表面ニ忠義チ粧ヒシト。好ク相



類セ ○荏柄祠 天神社 ○至第 名越ノ第 ○有戒心 孟子ニアル字ニテ。誰レカ警セシ

感ニ備フル心アルヲ謂フ。カレト此處ニテハ。時政ノ己レヲ召シタルハ。何カ ○一人 宗長。

刺我 人ニ己レヲ殺ス能 ○遣人 工藤 ○計事 何カ他ノ事 ○突出 不意ニツ

捉 手ヲトヲヘテハ ○伏 伏ル ○其第 一幡ノ居第。上卷 ○病間 病ノ少シ

盛告 其主ニ叛シ。姦賊ニ媚事シ。遂ニ以 ○召忠常 能員ヲ殺セシ實ヲ行 ○馬卒 トウ。

二弟 五郎。 ○危疑 ヤト。危フミ疑ヒシナリ。 ○所殺 源氏記ニ。時政歸罪於仁田

事ノ顛倒スル様ニ仕組ミテ。殺セシナリ。司馬昭ノ成濟 ○伊豆 修禪 ○薨 何ゾ見レ弒ト書

逆賊何ゾ寛恕ヲ用ヒンヤ ○更名實朝 源氏記ニハ。朝廷ヨリ名ヲ賜ハリシトアリ。日本

朝ニ作レバ。 ○保護 モリマ ○笑謔 ハムル義 ○挾心 人ヲ害スル心ヲ持ツ意。李義

保姆 子供ヲモリ ○府中 幕府中 ○營中 府中ト同マ。一行中ニ。或ハ府中ト

守護 源氏記ニハ。地頭 ○元久 土御門帝 ○二年 源氏記元年ニ在リ。日本史實朝傳ニハ

ハ元年ニ在リ。源記ト同マ。未ダ孰レカ是ナルヲ知ラズ。然 ○是歲實朝娶於京師 坊門信

時政比企氏ニ懲リテ。京師ニ娶リシト云フ。サテ重忠傳ニテハ。實朝ノ婚姻セシモ。併セテ元年ニ

ハ。一身ノ大事ナリ。其人ヲ傳 ○候 見舞ニ ○閑 喧嘩ヲ ○惡之於牧氏 妻ノ實母ナ

淫カニ重忠父 ○誣 實無キ事ヲ有リ ○目 指シテ ○鶴峰 武 ○七月 實朝傳ニ。二年閏

諸將 三浦義村 ○時政遽削髮 義村ノ計ヲ用ヒ。兵ヲ勸シ。實朝ノ命ヲ矯メ。時ニ時政ヲ

幽セシナリ。 ○老 隱居ス ○後十一年卒 建保三年。病ヲ患 ○諸士人 諸家 ○苦請 強

願スルニ請 ○請還前書 請フ所ノ許可ヲ得ザレバ。前ニ獻スル所 ○建保 順德帝 ○子

姪子義直。義 ○賴家子丸 千壽 ○首謀 首唱者 ○族人 云フ。 ○自白 自カラハス

我が罪ナキチ ○棋 ヲツ。 ○報 報。 ○終局 碁ヲ一番打 ○烏帽子 色ノ黒キ帽子ト名

色ナリ。 ○水干衣 絹ニテ製シ。狩衣ニ似テ。袴ハ直垂ノ如キ者ニテ。官服ニ ○影堂 位

堂ナ ○申 午後四時。 ○黎明 夜明ケノホソ ○阨衢路 一ツツミナチ。フサギ止メ ○復



振 横山時兼ノ救 ○曉將 大將 ○噓昔 昔ハ夕ト通ズ ○撰甲 ナキル ○宿醉

前夕ノ酒ノ醉 ○禁飲 酒ヲ飲ムコ ○楛 酒器ナリ。左傳成公十六年 ○無常操 操ハ

守ル所アル意。キマツタ ○行賞 泰時ヲ賞スルニハ。陸奥遠 ○死事 君事ニ打死。移

書 書面ヲ差 ○日光山 野 ○未可必 ナラヌ義 ○髡 鬻ノ義 ○反跡 ノ蹤跡 ○

生致 イケドリニシ ○内謁 與向キ婦人ナドモ ○没官 官ヘトリアゲラル。 ○與嬖妾

氣ニ入りノテカケニヤル。榎谷四郎ノ邑ヲ五條 ○墜矣 地ニ墜ナテ ○朝從 府朝ニ出動シ。

局ニ與ヘ。中野四郎ノ邑ヲ下總局ニ與フルノ類 ○獸歌 則免 澗河兼守。泉親衛ニ當シ。斬

○優柔 ヤカシク。ヤハ ○耽溺 フケリカ ○獸歌 則免 澗河兼守。泉親衛ニ當シ。斬

常 ツチヘイ ○憤憤 怒氣ノムク胸中 ○北面武士 上皇宮殿 衛ノ武士 ○西面 武士ノ

材勇 材藝武 ○鑄 金ヲ銷シテ器ヲ成ス義ニテ。銅釜類ヲ造ルニ用ユルナリ。刀劍ハ鍛

時番鍛治十三人ヲ定メラレ。御製 ○不覺 氣ガ付 ○故將軍 朝 ○宣下 除目ニ非ズシテ。

宣下ト ○爲後胤之地 後胤ハ子孫ナリ。餘慶子孫ニ ○年未壯 三十ヲ壯ト曰フ。日本

六年。實朝 ○不朝云 京師ニ入朝セズ。鎌倉ニ居 ○愚昧 オロカコシテ ○譴怒 時ノ

ニ云フ。罪責ナリ ○下問 目上ヘノ人ヨリ。下モ ○默 已ニ其君ノ非ヲ知レバ。何ク直

言極諫セザル。老賊素餐以テ己レノ ○坐享成業 苦勞ヲ爲ガズシテ。頼朝ノ成シ上ケテ

○不次 次第順序ヲ ○榮進 進達スル ○積殃嬰害 殃禍ヲ積。重テテ。災害ニ ○承

久 順德帝 ○狙擊 ニ伏在シテ子ヲヒウツ。 ○以政子令 言チ政子ノ命令 ○熊野

伊 東國ノイ ○不閉禮節 閉ハ習ナリ。貴顯ノ方々ニ奉事ス ○相國 太政大

○即 義ノ義 ○至是 上文ノ初ノ字ヲ承ケ。實朝ノ ○二皇子 六條宮雅仁。○二主 皇族

ツル時ハ。東西ニ二天子ヲ立 ○及實朝薨 上文ノ至是ノ字ト重複ス。改メテ於 ○攝政良

經 日本史類傳ニハ。太政大臣藤原實 ○良經生道家云 頼朝傳ニハ。道家ガ實氏ノ女

大ヒニ本書 ○簾内 政ヲ聽ク。婦人ノ例ナリ ○明決 智ノ明ヲカニシテ。 ○右京權

ト異ナリ ○簾内 政ヲ聽ク。婦人ノ例ナリ ○明決 智ノ明ヲカニシテ。 ○右京權



太夫 右京職太夫一人。右京ノ戸口名籍。百姓ヲ撫養シ。○舊規 規則。○全成 建仁三年。所部ヲ糾察スル等ノ事ヲ掌ル。權ハ其次官ナリ。

反チ以テ。○遣兵 家時ニ命ジテ之ヲ討セリ。○大内 禁裏御所。○與子 賴氏云云。面ノ士ニ命ジテ之ヲ捕フ。賴茂怒ツテ。從類ト共ニ仁壽殿ニ入リ。自殺セシナリ。賴氏ト共ニセシニ非ズ。

○嫡宗 本家ノ子。○自如 ト云フ義。○挈シ 連レ。○錄 召シ出ダ。○收 其邑 關東ノ家人ヲ以テ恣マ、ニ仙洞ニ侍ル義。○嬖妓 下賤ニシテ寵ナ受ケシ。白拍子ナリ。サテ鳥羽帝ノ永久中。船ノ千歳若ト云フ者。容貌美麗ニシテ。舞樂ニ長ズ。鳥帽水干袴ヲ着シ。木刀ヲ佩ヒ。朗詠ノ詩ヲ歌ヒ。節ヲ拍ナシ。之ヲ歌舞シ。絲竹ノ韻ヲ用ヒズ。故ニ白拍子ト曰フ。其後ナ妓王。妓女。佛。靜等。皆ナ此類ナリ。後鳥羽帝今様ヲ制シ。龜菊ニ教ヘラレシト云フ。

○長江 倉橋 攝津。○侮慢 輕蔑スル。○令 視 其職 地頭ノ職ヲ奪ヒトシテ。○先右大將 賴朝ヲ指ス。○無故 事故無キ義。○積怒 怒リヲ積ム。○葦原 開ノ世。葦原叢生セシヲ以テ言フナリ。○以小敵大 地勢ノ險。山陽モ演セリ。然レモ妄說ナリ。明治維新ノ大業。小チ以テ大チ征服セシニ非ズヤ。蓋シ其人ニ存シ。地勢ニ因ラザルナリ。○不待時而行 賊ヲ征ス可キ。時ヲ待タズシテ。事ヲ行フチ云フ。是レハ確論ナリ。未ダ天ノ定ラザル時ハ。逆賊ト雖モ。容易ニ踏スヲ得ザルナリ。○行 以ニ無謀 考ヘ無シニ事ヲ起スチ謂フ。○義仲ノ難 後白河法皇。義仲ヲ誅セントシ却テ其凶厄ノ難ニ罹ラレシチ謂フ。○鑿 戒ムル意。○誘 誘キ込ム義。○微說 之

耳ダ、ヌ標ニツ。○奮躍 フルイオド。○便計 御隱居ノ身トナラセラルレバ。玉體ノ自ツト説キ込ム。○奮躍 フルイオド。○便計 御隱居ノ身トナラセラルレバ。玉體ノ自

事ヲ計議セラル。○九條廢帝 明治三年七月。仲。○城南寺 山城。○流鏑馬 ヤブサ

便利ニセラレタリ。○親廣 大江民部少輔ト稱ス。廣元ノ子。○脅從 シタガフ。○光

在ツテ。弓ヲ射ル式アリ。○親廣 大江民部少輔ト稱ス。廣元ノ子。○脅從 シタガフ。○光

季 伊賀判官ト稱ス。義時ノ親戚。○莊家定 兒玉。○収 人心 人ノ心ヲ歸服

亦六波羅ニ在リ。上ニ見ユ。○莊家定 兒玉。○収 人心 人ノ心ヲ歸服

マトメニ。手ノ内ハマルンコム意。淮南子本經訓ニ。牢ニ籠天地ノ語アリ。是レ其出典ヲ檢セズ。偶然ニ謬リシナリ。文人ニ常ニアルコトナリ。○押松 秀康ノ家。值ナ

ニ作。○齋 誥 告スルナリト。諸本ニ詔ニ作ル。今川越版ニ從フ。○諸豪 小山宇都宮。○義

村以示義時 逆賊已ニ反覆シテ。其族義盛ヲ敗リ。其君ノ子公曉ヲ殺シ。又タ皇室ニ寇ス。之

○啓 狀 事ノ次第ヲ申シ上グル。○訣 シテ。再ヒ逢ハヌ意。○被 堅 執 銳 堅甲ヲ着シ。銳刃ヲ執リ

出ツ。○關 草 萊 菜ハ草穢ナリ。アレハテタル。クサハラヲチ。○讒 諛 之 徒 人ヲザンゲンシ。

フヤカ。○註 誤 註古實反。誤ナリ。欺ナリ。前漢王莽。○關 東 之 業 即チ源氏ノ天下ヲ

ヲナリ。○註 誤 傳ニ。臣莽當受ニ註。上誤。朝之罪。○關 東 之 業 即チ源氏ノ天下ヲ

協 心 セルチ云フ。○護 人 秀康胤義。○舊 圖 同シ。○感 激 狐鼠鷹犬ノ聲。逆襲ノ甘

調 日本外史講義 卷之四

ハ二



シ、其氣チフリダ ○異辭 カハツタコトバ、即 ○厄 塞ギ止ムダニ日ヲ送リテ、  
セリチ云フ。 ○異論 ナ建ツル意。 ○曠日 敵ノ來ルヲ待ツ意。

○懸軍 懸ハ懸絶ノ義、遠ク軍ヲ出シ行ク。 ○危道 シカダ。

○異論 或ハ職ス云々 ○遷延 ノバズ、日チ ○不保 受ケ合ハ、 ○武州 泰時ヲ指ス、  
以テ言 ○單身揚鞭 シ、發足スルチ云フ。 ○雲從龍 易ノ語チ引キ、鷹犬龍ノ呼、  
フナリ。 ○十八騎 子時氏ノ弟 ○時房 義時ノ弟 ○駿河守 駿上前ノ ○朝時 泰時ノ

程 出立ス ○從役 軍役ニ從ヒ行ク。 ○父行留子云云 留ルハ、以テ質ト爲スナリ、義時  
城朝廣、佐佐木信 實等 朝時ニ從フ。 ○十九萬 東海道ノ者十萬、北陸道四萬、  
者留ニ父兄トアリ、併シ父子 東山道五萬、合セテ十九萬。 ○無罪 シ、實朝

ヲ弑シ、公曉ヲ殺シ、其他無罪ノ同輩ヲ殺シ、倍臣ニシテ、天下ノ權ヲ弄ス、謂フ所人得テ之レヲ  
誅スルノ賊ナリ、而シテ猶ホ自カラ無罪ト稱ス、惜ム當時一ノ徐敬業無ク、三尺之孤安クニ在ル  
ト曰ハシ ○不厭 ラヌ義 ○失色 面色ヲ變シ、其勢 ○乘虛 兵ヲ出ダセシ、空

署 手配リ ○拒越中 碓並山浦原ニ軍シ ○拒尾張美濃 大内惟信 筑後有長等、一千  
經等一千餘騎、鶴沼ヲ守ル、朝日頼時、海泉太郎一千餘騎、板橋ヲ守ル、富來某、關某、一千餘騎、池

瀨ヲ守ル、藤原秀康、三浦胤義、中條盛綱等、一萬餘騎、摩免戸ヲ守ル、日井某、山田太郎、食渡ヲ守

ル、長瀬某等五百餘騎、藤島ヲ守ル、藤原秀澄、山田重忠、一千餘騎、洲股

ヲ守ル、加藤光員、五百餘騎、市脇ヲ守ル、以テ東山、東海ノ二道ニ當ル ○大井渡 美濃、大井

シ、 ○欲赴 援 摩免戸ヨリ、行キ援 ○腹背 トシ、北陸ヲ背ト爲スナリ ○宇治 山

○勢多 近江 ○滿政 多田滿仲ノ弟 ○苗裔 七世ノ子 ○亂流而前 重忠ハ上ニ記セシ如

ニ洲股川ヲ横渡リシテ進ミシナリ、サレド本文ニ於テ重忠ノ洲股ヲ守ルコトヲ記セズシテ、突然

亂レ流ト書キテハ、記事ノ體ヲ成サズ、故ニ上ノ奮而留戰ノ句ヲ、守洲股川ニ奮戰ニ改ム可シ、然

レハ通ズ ○萃 諸軍ガ悉ク、 ○鏡久綱 ノ隊將ナリ ○與大江季光戰 川越版及

大江ヲ毛利ニ作ル、下文大江季光妻、泰村妹也ト合ハズ、今頼版小本ニ從 ○懦夫 懦弱病モ

フ、サテ是記事モ、何レノ地ニテ戰ヒシヤ、分明チ欠グ、亦々文ノ處 ○懦夫 ノ、秀康チ

指 ○右京君 義時右京權大夫タリ ○武州 時 ○生死 生死チ俱ニスル ○鼓行 太鼓

チ立テ、威勢チ ○遜辭 謙遜シテ辭シ ○見兵 現在 ○淀山 ○截橋力戰 橋チキリ

骨折リ ○壓河而軍 河水チオシツプス勢ニテ陣取スル、蓋シ水 ○霖雨 ナガアメ、凡ソ

戰フ、 ○漲 水ノ川一杯 ○挺前 群中ヨリ、スキ ○撤 除キ去 ○緣架進 ハシゲ

左傳ニ見ユ ○雨下 ヤ石ノ飛ヒ來ル、 ○令芝田兼義試水 兼義ニ渡シ、橋ヲ探ラシメテ、

テ進ム、 ○雨下 ヤ石ノ飛ヒ來ル、 ○令芝田兼義試水 兼義ニ渡シ、橋ヲ探ラシメテ、

テ進ム、 ○雨下 ヤ石ノ飛ヒ來ル、 ○令芝田兼義試水 兼義ニ渡シ、橋ヲ探ラシメテ、

テ進ム、 ○雨下 ヤ石ノ飛ヒ來ル、 ○令芝田兼義試水 兼義ニ渡シ、橋ヲ探ラシメテ、

テ進ム、 ○雨下 ヤ石ノ飛ヒ來ル、 ○令芝田兼義試水 兼義ニ渡シ、橋ヲ探ラシメテ、



リ報シ。其レヨリ諸將ノ濟ルコト、  
ナリタルナリ。試水ノ宇、實チ失フ。  
○灸之 説文ニ、灸ハ灼ナリ。増韻ニ、體チ灼シテ病チ療

ル。灸ハアブル義。是時正ニ夏五月ナリ。凍ヘテ氣絶スルコトモアルマシ、之レヲアブル必用モ無  
カルベシ。其誤寫タルヤ明瞭ナリ。況ンヤ東鑑ニ數箇所ノ灸トアリ。日本史此レニ據リ。正ニ灸ニ

作ル。置ス。○蘇 蘇ハイキカ。○中島 川ノ中ノ洲チ。○攀 取リス。○泗 泗ハ水。○六騎 佐  
間太郎。南條六郎。○扣 華キ止。○釋 甲ギステル。○奪馬去 馬チ奪フチ。何レカヘイ  
等ナリト云フ。○相當 雙方同シ。○縛 古材木チシバツ。○懦主 懦弱ナ

チ聞キ。以テ貴幸ノ功、先登。○相 相當位ノ意。○縛 古材木チシバツ。○懦主 懦弱ナ  
ニ勝ルト爲シメリト云フ。○後鳥羽上 京城。○樋口河原 京城中萬壽寺通リノ地。○院宣使 大夫史。○便人讀之

人ハ藤。○論 其罪 家來トモノ罪狀。○擾 蓋下 天子ノ御ヒザマト。○弩 弩ハイシ  
由三郎。○市振 越。○礪並 中。○填塞街衢 街ノ中ニ塞ガレ。○四出 四方

○阨 一本ニハ扼ニ作ル。阨ハ塞也。扼ハ扼ト同。○寒原塞 越後越。○踰塞 官軍ノ弩ハ。  
○賊兵ハ無事ニ要。○市振 越。○礪並 中。○填塞街衢 街ノ中ニ塞ガレ。○四出 四方

張ス。○東寺 京師ノ西南隅。○吾族人 景吉ハ三浦義明ノ弟重行ノ裔ナリ。言  
尉某。日本史注ニ。○妻家 在リ。○木島 京城ノ西。○叢祠 木立チシゲリ。○自裁 自カラ

リ死ス。○視 示ナ。○駿州 其兄駿河守。○手足 兄弟チ。○當 違於意 違ハ快ナリ。  
快ナルナラント。反言シテ之レヲ責ムルナリ。深謀遠慮ハ。無カリシモ。胤義ハ忠義ノ爲メニ死ス

ト謂フ可シ。故ニ日本史ニモ列傳中ニ載セタリ。義村ハ將軍家臣傳ニ載セ。逆臣ノ鷹犬タルチ免  
カレザ。○鷲尾 京城ノ西。○禪子 ナカ。○論罪 從輕 天子ノ爲メニ賊臣チ討ス。何ツ罪

公卿チ殘戮シ。横逆至ラザル無シ。何ツ輕キニ從フノ有ラン。是レ史家ノ。○究捕 根カラ葉マ  
曲筆ナリ。山陽翁ナトモ。少シク考ヘタレバ。別ニ書キ候モアリシナラン。○首謀者 本人。○忠信

マテ捕フル義。當時殘虐其骨肉禪子ニ及ビ。甚シキハ殺後之レチ悔。○首謀者 本人。○忠信  
ル者アルニ至ル。何ツ究捕セズト謂フノ有ランヤ。曲筆厭フ可シ。○信能 信能ノ上

藤原氏。○有雅 權中納言。○光親 權中納言。○中納言 中上權ノ。○信能 信能ノ上  
加フ可シ。併シ上文ニ出ヅル者ハ。官ト在トテ錄セズトスレバ。之レチ光。○分屬 六人チ一人

アツケ。○雷震 其庖 一カミナリガ其リヤウリ。○命窮 天命ガツキル義。逆賊。○斷在 天  
心。ハ曲直ノ判斷ハ。天ノ御恩召ニ在ルトノ意ナリ。逆賊猶チ良心アリ。而シテ老姦。○故將軍

頼朝チ指ス。今日ヨリ言ヘバ。頼家實朝 皆チ故將軍ナリ。然ルニ毎。○捷 陸奥 秀衡チ驥  
々故將軍チ以テ頼朝ノ專稱ト爲ス。少シク穩當チ欠ケニ似タリ。○捷 陸奥 秀衡チ驥

文治故事 平氏ノ黨類チ刑スルノ例。文治元年ニ在リ。源平俱ニ人臣ナリ。源氏ノ專横ト雖モ。  
平氏モ亦タ罪無シトセズ。安ヅ之レチ以テ皇上賊チ討スルノ事ニ比スルチ得ン。附

○斷在 天

○故將軍

○捷 陸奥 秀衡チ驥

○信能 信能ノ上

○首謀者 本人

○究捕 根カラ葉マ

○論罪 從輕 天子ノ爲メニ賊臣チ討ス。何ツ罪

○鷲尾 京城ノ西

○禪子 ナカ

○當 違於意 違ハ快ナリ

○手足 兄弟チ

○駿州 其兄駿河守

○視 示ナ

○東寺 京師ノ西南隅

○妻家 在リ

○木島 京城ノ西



會モ亦マ。○難ル意。○押送。囚車ニ載セテ送ル。○適ニ實朝。實朝ニ嫁シ妻。○諫疏

事ヲ舉ゲルヲ。○守貞親王。後鳥羽帝ノ同母兄。即チ高倉帝ノ。○逼ニ上皇。之レヲ鳥羽殿

ニセマリテ。削髮サセシナリ。遷御ノ際。賊泰時。弓ヲ以テ御體ヲ搦ケ。○兩親王子。但馬備

前。六條宮雅仁親王ヲ但馬ニ冷。○土御門。後鳥羽帝ノ第一子。○秀康父子。藤原秀康。子秀澄。日

秀澄ト。○南都。日本史ニハ河内トアリ。且ツ本文南都ノ下ニ。朝之。○籍没。帳面ニツク

ス。○熾。火ノモユルガ如。○分居。時房ハ南。泰時。○梅尾。京城ノ西。○高辨。明惠法師

○其因。病ノ。○藥。藥ヲ投スル義。活。○率之。先達トナル意。○可幾矣。其成功ナ期

期ナリ。一言ノ間。未タ以テ此ノ如ク必ラズ其效ヲ期ス可カラズト。○元仁。後堀河帝。○亂

逆所致。三帝ヲ遷シ。二皇子ヲ竊セシ。暴逆無道ノタ。ハリニテ。早セシト云ヒ。○祈禳。祈禱シ

難チハラヒ。○義時病卒。國史略皇朝史略等。皆ナ保曆間記ニ從ヒ。近習ノ刺ス所ト爲リ死ス

病ニ卒スナド。○在服。父ノ忌服ヲ云フ。喪。○鎮人心。相續爭ヒナト無キ様。○八弟

朝時。重時。政村。時經。○藤原氏。伊賀守朝。○割典。マヘル。○其弟光宗。日本史義村傳

實泰。尙村。有時。時尙。○爲。俗ニ烏帽子。○驟。ヒノ義。○洵洵。ガシキ。○口耳相屬

並ニ兄光宗トア。○爲。親ト曰フ。○驟。ヒノ義。○洵洵。ガシキ。○口耳相屬

口ト耳トガ。ヒツツキアフ。○置之。打ナ乘テ。○故禁。人出入。差止メ。事ニ因リ。媒

シ。亂階ヲ爲ス者。○給仕。必用ノ事ヲマ。○虞。注意ス。○京師可虞。承久ノ變ニ懲リ

テスル。○遂遣之。時氏ハ六波羅ノ南方。○有。氏。繼母藤原。○光宗兄弟。行光重

密謀。○矢。誓詞ヲ爲。○大夫人。原氏。○淪。變ナリ。違約。○異圖。非常ノモノク。○騷

擾。サハギキ。○惶恐。夜中ニ不意ニ踏ミ込ミシニ因。○物議騷然。サハガシキ。○

○聚首。カシラチ。○武州。武藏守。○作色。顔色チ。○計和平。調和平穩ナル。

○四郎。陸奥四。○故大夫。義時チ。○眷遇。日チカケテ。丁。○何擇焉。イツレガ好キ

ノ。差別ハ無。○安平。ヤスク。○日者。先日中。○云云。計畫チツ。○何擇焉。イツレガ好キ

記者ノ省。○諷導。サシ付ケテ言ハ。○自若。平氣ナ。○覺隙。ヒマ。スキマトテ。雙方



偏私 カタコリ。ソマ ○宿將 フルキ大將。小山 ○令廣元論決 光宗傳ニ據レバ。政子ノ

ノ事ハ見ヘズ。義村傳泰時傳皆ナ同ヲ。但タ九代記ニ。閏七月八日。二位禮尼ノ御前ニ。相模守時

房。前大膳太夫入道覺阿。關左近將監實忠マイラレテ。世上ノ事トモ御沙汰ニ及ブ。禮尼仰セケル

ハ云々トアリ。覺阿ハ廣元晩年獲髮後ノ法名ナレ。○送實雅 朝貴故ヘ。私ニ處刑 ○流ニ光

宗 弟朝行光重等。從 ○嘉祿 後堀河帝 ○評定 事ヲ評論議 ○引付 後日ノ証據ニ引ク

置ク役。○諮詢 カル。○家令 統權ノ家ノ 用人ナリ。○申禁 頼朝ノ時已ニ禁セシ事故 ○侵攘

地頭ガ職權ヲ特ミテ。庄園ノ ○與京官 抗 京師ノ朝廷ヨリ置カル。官吏 ○籌卒 京師ノ

鑄火ヲタキテ。非常ヲ警ムル兵卒ナリ。六波羅ヨリ ○衛府官 六衛府ノ ○不衛 番衛ヲ勤

派出し。都合四十八ヶ所。二萬四千人ナリシト云フ。○衛而後期者 倉ニ啓シテ。是レハ

是レハ將士ノ。身ハ鎌倉ニ在リテ。衛府内舍人ヲ帶ヒナガラ。○衛而後期者 倉ニ啓シテ。是レハ

王事ニ服セザル者ヲ謂フナリ。文意少シク通シ難キニ似タリ。○衛而後期者 倉ニ啓シテ。是レハ

京師ヲ宿衛シ。其期ニ後ル。者ヲ謂フ。期ハ上 ○納直縣官 直ハアタヒト訓ス。即チ罰金ナ

京ノ期ナリ。者ノ字ハ。上ミノ二件ヲ承ケ言フ。○納直縣官 直ハアタヒト訓ス。即チ罰金ナ

スル。○縣官ノ字ハ。前漢書武帝紀ニ出ツル字ニシテ。縣ハ郡縣ノ縣ナリ。當時ハ未ダ縣ノ制度モ

無キニト故ヘ。縣官ノ字ハ。妥當ナラザルニ似タリ。縣ノ字ヲ削リテ可ナリ。日本史ニハ。於官ニ作

レリ。尤モ穩 ○貞永 後堀河帝 ○式目 今ノ刑罰ノ法律ノ如キ者ニシテ。刑獄ヲ處分スル法

當チ覺フ。 ○式目 今ノ刑罰ノ法律ノ如キ者ニシテ。刑獄ヲ處分スル法

敗ハ罪人ヲ處 分スルノ意。○資聽斷 獄辭ヲ聽キテ。之レヲ處斷ス ○十二人 東鑑北條九代記等ニ

此書ノ誤ナラン。師貞義 ○司直 正直ノ裁判ヲ主トル義。即チ裁 ○國神 日本國ノ神祇。○死

村行西等。其列ニ在リ。 ○司直 正直ノ裁判ヲ主トル義。即チ裁 ○國神 日本國ノ神祇。○死

誅罰ヲ加 ○羅織 ノ罪ヲ他ニ及ボシテ。殺人モ罪ニ引キ入ル。云フ。○倍而贖之

盗金十圓ナレバ。二 ○爭界 上野信濃ノ境 ○予之 勝訴ヲ與 ○脚公 已レニ賃ケテ

十圓ヲ出シ贖フ類。 ○爭界 上野信濃ノ境 ○予之 勝訴ヲ與 ○脚公 已レニ賃ケテ

怨ミテ泰家 ○和田氏 盛義 ○先人 義時ノ事ハ上 ○何取於執權乎 執權ハ有ツテ。有リ

ニ懷ク。 ○和田氏 盛義 ○先人 義時ノ事ハ上 ○何取於執權乎 執權ハ有ツテ。有リ

意。 ○無他 異存ナ ○爲恒例 誓書ヲ差出スヲ以テ。 ○嘉禎 四條帝 ○仁治 同

○敦 手厚 ○推 推シ尊 ○有寇 盜賊ノ入 ○重職 執權職 ○建保 和田義 ○承久

後鳥羽上 ○奚 擇 コトハナイ。 ○書藏 此度ノ事ノ始末ヲ記録 ○武州 泰 ○自異

自分ダケ。衆ト別 ○更直 同様ニカハリ。 ○不致辱 シキモノヲ ○頼朝墳 墳ハ墓所

ニシテ威張ル意。 ○更直 同様ニカハリ。 ○不致辱 シキモノヲ ○頼朝墳 墳ハ墓所

本史ニハ。墓ト書セリ。サレド東鑑ニハ。影堂トア。 ○或 尊範。 ○死將軍乎 將軍ヲ已ニ死

リ。下文ノ堂下ノ字ニ據レバ。影堂ノ方實ニ近シ。 ○或 尊範。 ○死將軍乎 將軍ヲ已ニ死

爲シテ。無禮センヤ。矢張り生存セラル。 ○不保終 無事ニ死スル ○可以治安 寺ヲ

ト。見做スナリ。用字ノ法。左傳ニ出ヅ。 ○不保終 無事ニ死スル ○可以治安 寺ヲ



佛子祭ルノ功德ヲ以テ。國  
家治安ナルヲ得ントノ意。○**糜財盡民** 寺ヲ建ツルニ付キ。金錢ヲ消費シ。人民ニ損  
意。熱心ト同シ意。切ニ心  
ナ其事ニ注シテ言フ。○**參** 務與ノ義。衆人ト打ナマ  
自分ガ先キニシテミセテ。將  
士トモヒキヒテ。見做ハセル。○**貸** 金錢ヲカ  
シテハル。○**流民** 家ヲ失ヒ。流  
シテハル。○**先卒** 寛喜二年死  
ス。年二十八。○**儒人者** 在文  
學。○**武**

救助揚ヲユ。○**斷** 武勇ヲ以テ事  
ヲ裁斷スル。○**祖父** 泰時ヲ  
指ス。○**寛元** 後嵯峨帝  
ノ年號。○**故朝時** 泰時ノ弟ナリ。死後之レ

○**扼衢路** ツツシヲク  
○**不許見** 將軍ヨリノ使者ニ面會セズ。許サズト言キテハ。書法穩  
當ナラザルニ似タリ。日本史ニハ。不<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>入<sub>レ</sub>而<sub>レ</sub>還<sub>レ</sub>トアリ。

○**護兵** 途中警  
○**嗚咽** 泣ヒテム  
○**報君** 北條氏ヲ滅シ。之<sub>レ</sub>ヲ讒  
宗族官爵ニ列シ。數州ノ守護職ヲ  
兼テ。莊園數萬町ヲ領スト云フ。○**外祖** ハ。方  
義。○**榜** 文字ヲ書キ  
○**因事寄宿** 時頼ノ妹。將軍頼朝ノ妻タリ。病ヲ以テ卒ス。時頼  
其喪ニ居ルヲ以テ。出デ。三浦氏ニ寄寓セシナリ。

○**迭出更入** 大勢ガカハル。出入  
○**障内** 障子ノウ  
○**決起** 思ヒ切ツテ。起  
然。果シテ人ノ流言有  
○**磨** 手ヲテマ  
○**驚惋** 惋ハ駭  
恨ナリ。○**訶** 後子ヲ探リウカハフ義。是  
時又別ニ佐佐木氏信ヲ使

者トシテ。泰村ヲ誦諭シ。且ツ其  
勸止ヲ察セシムルノ事アリシ。○**匿名書** 名ヲカクシ  
○**毒我** 我<sub>レ</sub>ヲ毒  
○**毀之** 其書  
ハシテシマツタ。蓋シ槍  
木板ニ書シアリシト云フ。○**道路之言** 世間ノウ  
○**關** 係リ合ヒ  
○**允怪** ヤシム。ア

○**有須衆力** 多人衆ノ力ヲ用ユル  
○**慰諭** ナグサメ  
○**誓書** 三浦氏ヲ疑ハズシテ。和睦  
○**賀** 無事ニ定マリシ  
○**一喫未能下** 喫ハ。字書ニ噴水也トアリテ。水ヲ口ヨリ吹キ出ス  
コトナリ。食フ義ニ非ズ。本文ノ意ハ一口食ヒ。口  
ニクハミテ。未ダ咽ヲ越サス中ト云  
○**囂** 物サハガシク  
人聲ノスル。○**安達氏兵來攻** 日本史ニ安  
達景盛。泰

村ト威子等ト相懸シク。其樹勢己<sub>レ</sub>ノ右ニ出ツルヲ見テ。意益<sub>レ</sub>不平。敵<sub>レ</sub>時頼ニ勸メ之<sub>レ</sub>ヲ除  
カシム。是ニ至リ時頼ノ和ヲ成ヌヲ聞キ。大ヒニ怒リ。其子義景。及ヒ孫泰盛ヲシテ。急ニ兵ヲ發  
シテ泰村ヲ攻メシムトアリ。サレバ安達氏ノ  
○**聘貽** 字書ニ聘ノ字無シ。蓋シ僞ノ誤ナリ。僞  
來リ攻メシハ。時頼ノ意ニハ非リシニ似タリ。○**聘貽** 貽ハ驚視ノ貌。西都ノ賦ニ猶僞貽而不<sub>レ</sub>

能<sub>レ</sub>階ノ  
○**良人** 妻ノ夫ヲ  
稱スル辭。○**時頼令人云** 泰村傳時頼傳ナト云ハ。時頼ガ火ヲ放タシ  
語アリ。○**頼ハ** 戰場ニ臨マザレバ。  
火ヲ放ツ差圖スル筈ナシ。○**呼三泰村** 永福寺ノ要害。戰守兩便  
○**不敢往** 死スレバ。頼朝  
セントノ意ヲ以テ。○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**

○**影前** 影像  
ノ前。○**慷慨** 忿激シ  
○**向從殿下密旨** 向ハ普ナリ。  
往カザリシナリ。○**沙汰** 蓋シ管テ三浦氏ニ諭シテ。北條氏ヲ滅サントセシナリ。○**若州** 泰村若狹守タ  
○**猶豫**



決斷ノ無キヲシテ。○務人ニ知レヌ。標ニスルナリ。○可識乎。猶チ誰レト云フコトガ。○

四世 義明 義澄。○外戚 泰時ノ妻ハ。泰。○先君 村。○多殺之報。多ク人ヲ殺セシムク。義村反。殘虐。和

田氏ニ反シ。公曉ヲ救キ殺シ。泰村モ亦々義村ト俱ニ禁闕ヲ犯シ。北條滔天ノ虐ヲ助ク。サレバ多ク負心ノ事ヲ行フノ報ナリ。多殺ハ亂世士人ノ常ノミ。且別ニ首將ノ指揮スル者アリ。未ダ以テ滅族ノ報ヲ受ケルニ足ラズ。備夫拉。○懲。恨ナ。○皆死。可シ。日本史ニ據ルニ。宗族二百七

十六人。其黨二百餘人皆死。○從祖父 祖父ノ兄弟。オホオチ。○止之。權威ノ分ルム。○

建長ノ後深草帝。○竝執權。是レヲ兩執權。○道家暴卒。光村影堂中ノ語ヲ聞キ。時頼ノ附セシヲ以テ。暴ト書シテ其意ヲ見ハ。○賴嗣。賴經傳ニハ賴經ニ作ル。是レ京師ニテ作セシユシタルナリ。是レ史家筆削ノ法ナリ。○賴嗣。賴經傳ニハ賴經ニ作ル。是レ京師ニテ作セシユ

誤ナ。○長久連 人ナリシナリ。且ツ三年ノ事ト爲セリ。○氏綱 賴經傳ニ氏。○政子志 政子嘗テ一皇子ヲ得テ。鎌倉ノ主ト爲サント請ヒシ事前ニ見ヘタリ。○式目 文ニ見ユ。○自奉 自身ノマカナヒ。○所

不堪 出來ヌ意。○紙燭 燭ヲ用ヒザルモ。亦々儉ノ一端ナリ。○皮 食物ヲ藏スル器ナリ。○磔 皿ナリ。サ。○醬 味。○佐酒 酒ノサカナ。○門地 ガラ。○微者 身分ノイ

○三島祠 伊豆 祭神。○束載 新購ニ付テノ贈。○洩 小便ス。○薦事 神祭リ。○盃 洩

于田 何故ニ田ノ中ニ洩セザル。田中ニ洩スレバ。多少ノコヤ。○甄 察也。明也。明ヲカ。○貪 廉 貪欲ト。○何 異云云 無益ノ事ナ。○有 公文者 太平記ニ據ルニ。是レ公文所ト德

人名ト爲スニ似タリ。誤ナリ。德宗ハ時政ノ廟ニシテ。鎌倉資戒寺ニ在リ。其領地故ヘ。北條氏ノ支配セルナリ。○封人 封疆ヲ守。○畔 田ノアセ。即

○德 思フ意。○苞 入。○投 其後圃 宅後ノハダケヘナゲコム。正直ノ人故ヘ。表

○相模公 時頼チ。○直相模公 相模公チ直ナ。○公宜見報 相模公ヨリ。報酬セラル

直トスルハ。當然ノ職務ニシテ。就レヨリモ謝禮ヲ受ク。○舛 義。○郵還 宿驛送リニシテ。ル理由無シ。是レ藤綱ノ論モ。亦々舛クト謂フ可シ。○舛 義。○郵還 宿驛送リニシテ。

○遺 炬。○水 中。○撈 水底チカラ。○得不償失 十錢ヲ得テ。五

引キ四十錢ノ損。○我取六十錢 云云 炬ノ直五十錢ト。水中ノ十錢ト。合セ算シテ六十錢ト。トナルヲ謂フ。○永損 天下財。五十錢雖ニ少損。於我。亦所益於人。彼此六十錢。不レ失ニ一錢。豈不ニ大利ニ哉。作ル。語意大ヒニ全シ。○脯 乾肉ナリ。ホシト訓ス。太平

ニ云フ。海魚ノヒモ。○布衣袴褶 布ノ衣服。布ノ袴褶ナリ。袴褶上布ノ字無シ。是レ上タ承ケ。ノナリ實チ得タリ。○布衣袴褶 文チ省ク。古文往々是法アリ。袴褶ハ騎服ナリ。俗ニ云フ。馬

一四



乘リハカ ○刀室ノサヤ ○不漆 地ノマ、用ニルナリ ○神見夢 鶴岡八幡宮ニ

ナリト云フ。這樣ノ處ハ、莊子ナドニハ、多ク夢見ニ作レリ。カレト孔融文ニ、汝

張南元伯、身死之後、見夢范巨卿、穎川上トアレバ、見夢ニ作ル例モアルナリ。○姦狀 シマ

ナレ。○管子 臣若ハス所ノ書ヲ管子ト名ク。○階前千里 門外萬里 管子ノ意ニテハ、

見ヘス者ニテ。階前ハ千里ヨリモ遠ク。門外ハ萬里ヨリモ遠キ位ナリトノ意ナリ。原文ニ云

フ。堂上遠ク於三百里。堂下遠ク於千里。門庭遠ク於萬里。今歩者一日。百里之情通矣。堂

上有事。十日而君不聞。此所謂遠於千里也。歩者十日。千里之情通矣。堂下有事。一月而

君不聞。此所謂遠於千里也。歩者百日。萬里之情通矣。門庭有年。期年而君不聞。此所謂

遠於萬里也。文意見ル可シ。本 ○康元 後深草帝 ○建長寺 鎌倉ニ ○弘長 龜山帝

文ハ意ヲ以テ之レテ約セシナリ。 ○佛氏ニ時ヲ稱 ○業鏡 鏡以テ人身ニ映フ。○一植破碎 植ハツナナリ。破碎ハツナ

ハ、打碎ニ作レリ。是レ一植ヲ以テ、其鏡ヲ打テ碎キ、移ル可キ ○大道坦然 坦然ハ平ラカナ

業ノ無キ者ト爲リシチ云フ。即チ其身ノ死スルニ映フルナリ。 ○外舅 ノオチ。方 ○文永 龜山

ノ苦思ヲ脱スレバ。天地ノ大道ハ。粗々然 ○享年 ナリ。受 ○宗尊 竟還

タル者ナリ。是レ稍ヤ悟道セシ所アルナリ。 ○兵士四至 四方ヨリ至リテ、鎌 ○居常 ツチ平

年 ○有物議 北條氏ヲ滅スヲ圖ル者ア ○異志 謀反ノ

京師 是レ時宗ガ將軍ヲ廢シテ、京師ニ送リ、還ヘシタルナリ。何故ニ廢 ○小笠懸

號 是レ事實ヲ記セス。宗尊ガ勝手ニ還ヘリシ様ニ書キシニヤ怪ム可シ。 ○齊呼

○快快 心ノ満足 ○殺之 義宗之レヲ伐ツ。時輔拒キ戰ヒ死ス。黨附 ○異志 謀反ノ

○強毅 事ニ屈服セズ。手ツロ ○弘長 見上ニ ○極樂寺 ナリ。○將軍 宗 ○小笠懸

騎射ノ式。笠ヲ懸ケ、馬上ニテ之レヲ射ル ○太郎 相模太郎 ○上場 射場ニ ○齊呼

ナリ。遺笠懸ニ對シ小笠懸ト稱スト云フ。 ○宋氏 宋ノ天子ノ ○胡

喝采ス ○任負荷 親ノ業ヲ承ケ繼グニタクム。左傳ノ。其 ○宋氏 宋ノ天子ノ

元 蒙古ノ忽必烈、天下ヲ領シ。國ヲ元ト ○使聘 使者ヲ遣ハシ。進物ヲ贈 ○韓人 韓人ナリ。

稱ス。其北胡ナルヲ以テ。胡元ト曰フ。 ○執 我ガ意見ヲ ○太宰府 筑前ニ在リ。外國

○尋兵 尋ハ用ナリ。左傳僖公五年ニ。 ○九輩 九人 ○欲必得我報 非

○六反 返ヘセバ。復タ來リ。六 ○可一萬 可ハ數ヲ定メザル辭。一萬モアル可キ ○守

護代 代ハ代理人。即 ○初志 我ガ邦ヲ降服サセン ○九輩 九人 ○欲必得我報 非

我ガ返答ヲ得ント欲シ。然ラザレ ○龍口 鎌倉ノ刑 ○探越 西國ノ諸軍事ヲ監督スル役。法花

ハ歸國セズトノ決心ヲ示スナリ。 ○探越 八講ノ探題僧正ニ起ルト云フ。鐵

西ニ探題ヲ置クハ。 ○水城 海中ニ大堤ヲ作り、兵艦ヲ其中ニ置キ。軍兵ハ堤上ニ在リ防禦ス。

是時ガ始リナリ。 ○兀費 費用。 ○憤恚 腹ヲ立テ ○漢胡韓 支那。蒙

十五間、長サ東西四百間ニシ ○兀費 費用。 ○憤恚 腹ヲ立テ ○漢胡韓 支那。蒙

テ。海濱ニ今猶チ基趾ヲ存ス。 ○漢胡韓 古朝鮮。 ○



以范文虎將之 阿刺罕。范文虎。析都。洪茶丘ノ四人ガ將タリシ者ニテ。○船艦相銜

船ハ船尾ナリ。艦ハ船首ナリ。前キノ船尾ト。後キノ船首ト相銜スルヲ云フ。○志賀島前筑

賊船一艘ヲ燒キ。鐵鎖聯之ヲツクカリニテ舟ト舟ト。○殺置キ。直キニ放テル様ニ。爲シ

置。○通有 日本史ニハ。○左肘 左ノ臂ナリ。日本史ハ左。○什橋架ニ虜艦ニシテ。乘

リ移レヌヨリシテ。我が船ノホバシヲ以テ。彼レノ船。○王冠者 ナリ。是レ前ノ公文者トア

ニモタシカケ。ソレヲハシゴニシテ。賊船ニ乘リ込ム。○鷹嶋前 閏月 日本史ニハ。七月晦トアリ。

九代記ニハ。八月一日ノ午ノ刻。バカリヨリ。俄ニ大。○敗壞 ケル。○伏屍蔽海 ガ。海一面

ニオホハレタリ。海上ノ事。○脱歸者纒三人 九代記ニ。異國十萬人ノ軍勢。底ノ水虜トナリ

博多ノ浦ニ漂ヒケル所ナリ。同七日ニ日本ノ軍兵押掛リ。一人モ殘ラズ打殺ス。其中ニ。干闥。莫青。

萬五トテ。三人ノ勇士ハ生捕ラレタリケルナリ。此趣キチ蒙古ノ王ニ語レトテ。赦シテ其國ニ

歸ヘサレケ。○父官爵 從五位下。左馬廐守。○威望 人望。○狂易 狂躁。○曾祖 景。○改ニ姓

源氏 安達ハ本ト。○夷滅 盡ク其族黨ヲ。○三浦氏之報 安達景盛ガ三浦泰村ヲ捕陷シ。

○圖反 中子安房守某ヲ以テ。將軍。○誅賴綱 是句ノ上ノ貞時ノ二字。○流宗綱 佐渡ニ

○正應 伏見帝。○倒載之輿 二懸クルハ。流人ヲ送ルノ例ナリト云フ。○被流京師

當時名分ノ顛倒スル。京師ニ流ガサレ。ト云フニ至リシナリ。其他天皇御謀反。帝位ヲ將軍ニ受

ク等ノ語。太平記等ニ散見セリ。人ヲシテ卷ヲ掩フ。痛恨セシム。再ヒ案ズルニ。九代記ニ。是事

ヲ記シ云フ。將軍家俄カニ御上洛アレシトテ。周章フタマキ。綱代ノ御與ヲサシメセ。親王惟康

已ニ召レシヲ。餘リニ急グトテ。御與ヲ後ロサマニ昇キテ。鎌倉ヲ出ニケル。流罪ノ人ヲ云フ。

與ニハ後ロサマニノセテ昇クト云フニ。今ノ惟康親王ヲ。逆シマニ御與ヲ奉リテ。上洛シタマフ。

御アリサマ。惟康親王ヲ京ヘ流スト云フモノカトテ。鎌倉ノ諸人笑ヒアヒケリト。是レニ據レバ。

本文ト大ニ相違スル所アリ。○永任 伏見帝。○誂 誘ナリト云フ。○義世 孫太郎ト稱ス。範

或ハ山陽翁ノ誤譯ナランカ。○正安 後伏見帝。○矯命 詐ツテ命ト稱。○宣時 時房ノ。○延慶 花園帝。○應長 上

○景 仰ギ慕フ意。川越。○分曹 組合ヒテ。○冤枉 ゲラル。チ云フ。○間使 シノヒ

○緇衣 僧服ナリ。○摘發 隠伏セル惡事ヲ。セ。○按 べル義。○舅 母方ノ。○安達

日本史秋。○文保 花園帝。○頑率 頑固ニシテ。○舊規 フルキ。○黜陟 人ヲシリツクル



○予奪 アマヘルトウ ○元亨 ノ年號 ○承久以來 後鳥羽上皇東征ノ擧 ○不以為意 別ニニコ、ロ ○日夕 晝夜ト云フニ同シ。一ニ旦夕ト作 ○焚狗ノ大 ノ大 ○輿載 犬チ

○不下者 下坐チセ ○哮喘 アフト ○如爭尸者 人ノ死尸チ争ヒア

○田樂 梅園日記ニ古寫本庭訓往來ノ注チ引キ云フ。田樂ハ入道申樂ナリ。神前ニ至リ高足チ踏ム。是ノ樂ハ。田島豐饒ノ祈禱ナリト。又々足本醒睡笑ニ云フ。豆腐チ串ニサシテ焙ル

○田樂 ナド田樂トハイン。サレバ田樂ノ姿。下ニハ白袴チ着。其上ニ色アルモノチ打カケ。鷹足ニノリ踊ル姿。豆腐ノ白キニ味噌チヌリマテタルハ。彼舞體ニ似タル故。田樂トイフニヤ。夢庵ノ歌

○田樂 ニ。タカアシチ。フモソコナヘルメンボクチ。ハヒニマフ。セシ冬ノ田樂。以上ノ諸説ニ據レバ田樂ノ狀明チカナリ。

○樂師 即チ田樂 ○纏頭 ハナノ

○記靜歌舞ノ處 舞チ奏スル者。日本 ○倡 史ニハ樂師トアリ。 ○姫人 召使ヒ ○關 ノツ ○天狗 古ハハ天

○天狗 史記ノ天官書ニ。天狗星ハ。狀大奔星ノ如シト云ヒ。星ノ名ト爲セシナリ。本書 ○天王寺 ノ天狗ハ。中古ヨリ云フ所。一種ノ妖怪ノ名ナリ。日本史ニハ。歌者皆鬼形トアリ。

○妖靈星 當時儒生藤原仲範ガ此ノ事チ聞ヒテ曰ク。妖靈災星ガ見ハルレバ。國必ズ亂ル、ナリ。サレバ亂ハ其ノ天王寺邊ニ於テセンカト。後チ果レテ楠正成ノ義チ學シルニ至リ。屢

○天王寺邊 ニ奔走セリ。上宮太子ノ ○無所見 舞ヒシ者ノ見ヘズナリシチ謂フ。サレド醒ム

○無所見 舞ヒシ者ノ見ヘズナリシチ謂フ。サレド醒ム

○樂師 ニテモ。宴後ニ見ユル等ナシ。是ノ太平記チ誤譯セシ者ニテ。原文ニハ。惘然トシテ更ニ知ル所ナシトアリ。日本史ニハ。及醒無有。所省ト譯セリ。夢ノ如ク。醉中ノ事チ記憶セザリシ

○目髡 自分ヲ頭髮チ削リ ○圓顛 マルキ ○高賴覺 氣ガ付ク ○渡部氏 左衛門

○越智氏 四 ○又不克 前ノ安藤勢ニ勝タ ○正中 後醍醐帝 ○順德皇子 忠成王

○廢之 春秋心チ誅スルノ法チ以テ。之チ論ズレバ。是

○後嵯峨帝 土御門帝 ○後深草 仁明天皇チ世ニ深草帝ト稱セリ。故ニ之レニ

○長講堂領 長講堂ハ寺ノ名。京師五條ニ在 ○湯沐邑 其歲入チ以テ。ユアミ。カミ ○時

○宗不 時宗先帝(後嵯峨)ノ意ノ屬スル所如何ノチ疑ヒ。諸レチ皇太后大宮院ニ質シ。先

○憤恨 リ。ウラム。 ○儲貳 太子チ謂フ。時宗上皇ノ創髮セント欲スルチ聞キ。忍ビズ

○不成 宿直武士迎ヘ戦ヒ急ニ擊ツ。爲頼力 ○事連 其事情ノカ、リ合ヒニナ

○所圖 北條氏チ滅ス

○院上皇復辟ノ志アリ。密ニ爲頼ニ詔ス。故ニ然リト。中院ハ龜山上皇チ指ス。○承久事 三帝選

○院上皇復辟ノ志アリ。密ニ爲頼ニ詔ス。故ニ然リト。中院ハ龜山上皇チ指ス。○承久事 徒ノ事

○院上皇復辟ノ志アリ。密ニ爲頼ニ詔ス。故ニ然リト。中院ハ龜山上皇チ指ス。○承久事 徒ノ事

○院上皇復辟ノ志アリ。密ニ爲頼ニ詔ス。故ニ然リト。中院ハ龜山上皇チ指ス。○承久事 徒ノ事



士御門

後深草

伏見

近衛

山

後宇多

九條

後醍醐

一條

○貴貞時 左中辨藤原定房ヲ鎌倉ニ遷ハシ其後更立ニ立ツテ即位

○五派 五ツエスヤ水ノスガノ分ルヲ借リ派ト云フ近衛九條二條一條鷹司ナリ

○攝籙 攝政ニシテ諸政ヲ總ス即十輔相ノ任ナリ

○誘致 キイタス

○奪本 泰時ノ置ル所

○收致 捕ヘテ鎌倉ニ引キ致スナリ

○案問 フベリ

○賜誓書 中納言藤原宣房ヲ

遣ハシ誓言ヲ下賜シ

○嘉曆 後醍醐帝ノ年號

○遺命 龜山ノ子孫世々皇統ヲ承ク可キノ御ユイゴン

○貞時 貞時ノ他無キヲ以テセラル

○山門 比叡山ノ門派

○座主 山門諸座ノ長己

○圓觀等 圓觀ノ議

○東宮 太子

○再執 前年ニ執ヘシ故ヘ再ト曰フ

○後伏見法皇 後深草派故ヘ龜山派

○再貽悔 正中二年ニ資朝俊基ヲ流罪ニ處セシマデニテ局ヲ結ビシ如キ手緩キ處置

○重ニ處分ス可シト云フ意ナリ承入ニ對シ再ト云フノ說アレドモ當時ノ事狀ニ暗キ解ナリ

○執國命 國家ノ命令ヲ掌握スル

○百六 十年 正治中頼朝薨後時政始メテ政權ヲ擅ニシ元弘元年ニ及ンデ殆ント百三十年前

○如天道何 天道ハ箇様ナル横逆ハ許サレザル者

○覺 付ケ込ム可

○睥睨 帝ト親

○迂腐 迂腐陳腐トテマハリトタクフルクサキヲ謂フ日本史ニハ孔孟之道腹ノ摸様

○承久故事 天子ヲ遷徙セシ故事

後醍醐

後村

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐

後醍醐



播磨赤松氏 ○時治ノ守時ノ子。時頼 ○國千窟 上文ニ合叙セシノニテ。分叙シ無ケレ

之レニ據ル。 ○三石 備前守時ノ子。 ○則村進 上文ニ。則村ノ播磨白旗城ニ起リコトヲ明記セザ

シヤ解ス。 ○桂川 京城ノ西。 ○新帝 僞主。 ○七條磧 京城ノ東南隅。 ○巷戰 市中ノ

倫 上ニ見ユ。 ○逃逸 ニケル。 ○藤原宗鎮 則村傳ニハ。左衛門佐藤原忠 俊トアリ。未ダ詳カナラズ。 ○宗秋 谷

護 清高。 ○藤原宗鎮 則村傳ニハ。左衛門佐藤原忠 俊トアリ。未ダ詳カナラズ。 ○宗秋 谷

幡。山崎 俱ニ山城。淀河チ ○運路梗塞 兵糧運送ノ路ノフサガレテ。淀河并 ○伏 則村ノ

勢 ○曠騎 滿ヲ引クテ曠ト曰フ。弓ヲ射ル騎兵 ○源 忠顯 伯耆船上山ヨリ。帝命ヲ受ケ

ガレバ。事狀 ○悉甲 甲士ヲ悉皆 ○乘陣 陣ハ城 ○告急 敵ニ攻メ付ケラレ。危急

相踵 引キ繼ギ ○行在 帝ノ假リノ皇居。 ○狐川 城 ○鮮甲 立派ナル具足。 ○挺前

衆中ヨリ。身ヲヌ ○傍觀 見物スルコト ○張飲 酒宴ヲ ○合兵攻京師 以下五月ノ

上ニ四月ニ接スルヲ得ズ合 ○吏胥 俗務ノ小 ○溝 溝ナリ。 ○城兵 府兵ニ作レシ。六

レ兵ハ忠顯則村ト合スルナリ。 ○吏胥 俗務ノ小 ○溝 溝ナリ。 ○城兵 府兵ニ作レシ。六

○土兵 土民蜂起ノ者。 ○太子 未ダ詳カナラズ。諸 ○環起 起リ起ル。 ○新主 或ハ新帝ト曰ヒ。

宜ク一ニ ○番馬 近江 ○佛寺 蓮花寺ト稱シ。番馬驛ノ東ニ在リト云フ。 ○報諸君之勞

首ヲ獻シ。賞ヲ受ク。是レ ○被収 執ヘラ ○義貞 新田記ニ詳カナリ。 ○北向其鋒 兵

田領ヘムケル。 ○入間河 藏 ○久米河 上全 ○不利 マケル。 ○分陪 藏 ○橫溝某

八 ○安保某 入道 ○小山 朝 ○千葉 胤 ○敗聞至 セガ到着シタ。 ○間 一日

中一日チ ○三道 寺阪。假粧阪。 ○基時 氏 北條 ○貞直 大佛陸 ○守時 赤橋相

囊阪 相模鎌倉。日本史 ○猜疑 俱ニ叛スルノ疑ヲ受ケルナリ。 ○極樂寺阪 相模

○本間某 山城左 ○家居 閉門サセ ○感激 本間ノ義勇ニ ○假粧阪 相模

村崎 極樂寺阪ノ海岸ニ在リ。是レハ大儲宗氏ノ打死ニテ聞キテ。義貞ノ假粧阪ノ方ヨリ。夜ニ

乗シテ。極樂寺阪ヘ援兵ニ驅ケ付ケシ時。其海岸ノ稻村崎ヨリ。極樂寺阪ノ裏手ヘ入り込

ミシナリ。本營ノ文ニテハ稻村崎ハ假粧阪ノ近 ○府中 鎌倉府 ○東勝寺 鎌倉 ○先塋 先

地ノ如ク見ユルナリ。叙事ノ疎漏チ免カレズ。 ○府中 鎌倉府 ○東勝寺 鎌倉 ○先塋 先

以來ノ ○鹽飽聖遠父子 左近入道聖遠。 ○府第已灰矣 北條氏ノヤシキハ。已ニ火ニ







○公宗被誅 公宗家世々北條氏ト相倚リ。椒房ノ選。毎ニ其家ニ出テ。貴顯比無シ。高時誅ニ伏

ル。公宗ノ家ニ匿ル。是ニ於テ共ニ亂チ作スチ謀リ。約シテ高時ノ子時行ニ。兵ヲ東國ニ起カシ

ム。公宗乃チ浴室ヲ北山ノ第二造リ。機阱ヲ設ケ。帝ヲ邀ヘ遊宴ス。乘輿既ニ出ツ。公宗ノ弟公重

馳セテ變チ上ル。帝驚キ。兵ヲ遣。○黨故 徒黨。○破屋 軍士風チ大佛殿ニ避ク。殿頽レ。ハシ。公宗ヲ收メ。之レヲ誅ス。○橋本江 遠

○更卜日 更ニ吉日ヲ擇ブナリ。○兼行 一日ニ二日。○相模河 相模。○剝面 面皮ヲハ

ギカリ。相貌ノ何人タル。○前代 北條氏ヲ指ス。○延元 後醍醐帝ノ年號。○吉野和 義兼

ヤ知ル可カラザラシム。○義詮 尊氏ノ子。詮ヲトキト訓ス。○青野原 美。○轉戰 其地ヲ變換シ

世々北條氏ト婚ス。○宗良親王 後醍醐帝ノ皇子。○匹馬驛 遠江。今ノ濱松ナリ。

○顯家敗 攝津安部野ニ敗死。○寸兵尺鐵 兵ハ刀劍ノ類。鐵ハ刀劍類ハ皆寸鐵チ以テ製スル故ニ。兵器ノ總稱ト爲ス。東

尺鐵トアルニ出ツ。○在席 臥席ナリ。シトチノ上ニ坐臥シテ。國家ヲ苦モ無ク。其ヒ取ル

在席之上トアリ。○宗ノ親チ言フ。○妻黨 女房ノ類族。○疏斥 リアケル。○爲子孫 爲子孫

除患害 兄弟親族チ生カシ置ク。我ガ子孫ノ天下チ奪フト思ヒ。是ニ於テ兄。○剪伐 リ

ステ。○資異姓 妻ノ家ハ本ト他姓ナリ。其他。○懸殊 ハルカニ相違セリノ意。○謬計 シカマ。剪

伐ニスルニ至ルチ指ス。皇家ニハ。○更烈 一層ハゲシキ義。頼家。實朝。公曉。一幡等。其

骨肉チ剪伐セラル。事ハ無カリシ。○陰謀狡智 陰險ナル謀略。狡猾ナル智。○鬪其骨肉 頼朝ニ範頼義經チ

テ。血統斷絶スルチ指ス。○剪其手足 上句ノ意チ重言スルナリ。兄弟骨肉ハ。即チ我

朝チ殺サセリノ類。○黙竊 ニ。ダマツテ竊ニ取ル義。○如日未嘗措手 自分ハ。ツイト手出シチ爲

ト取リ。○得權 源氏チ滅シ。天下ノ全權チ握ルチ得ル。○有所冀戴 冀ハタスル。戴ハイタク義。頼朝。頼朝

推戴スル。○不敵自居 己レガ將軍。○名 將軍ノ名チ辭シ。○實 六十六國總追捕使。○柄 天下チ自

利。將軍タルノ利益チ指ス。サレド是ノ何ハ。妥カラズ。北條氏固ヨリ利チ捨ツ。○柄 天下チ自

權柄チ謂フ。上文ノ實ト同ク。徒ニ文ノ耦對チ欲スル故ニ。○遺謀 先祖ノシチキ

失當ノ語ノ出來シナリ。利柄ノ一句ハ。削去スルモ可ナラン。○進退 分ツテ五派

ニニキトイフ。○廢立 義時ノ仲恭チ廢シ。後堀河チ立ツル以來。○關ノ義 關ノ義

○措置 處置ト同シ。○權衡 權ハ秤錘ナリ。衡ハ秤ナリ。物ノ輕重チ量カル具。即チ

關ノ義。○措置 同シ。○權衡 權ハ秤錘ナリ。衡ハ秤ナリ。物ノ輕重チ量カル具。即チ



權衡ヲ持ス ○民事 人民ヲ治 ○武族 武家ト云 ○所率親 實ニタマサカニ ○恃

逆 道理ニモトリカカフ義 其主チ 秋ノ時齊ノ陳氏 ○最者 其第一番ナリ ○間然 スキマナ學ケ。誹謗ス ○魁 巨魁ノ義カ

ノ爲ス所ト同シ ○禍難 承久ノ役 ○諸大處分 多クノ大事件ノ ○往復 雙方取

意 ○以理導 君臣ノ大義ヲ説キ。道理ヲ以 ○以勢禁 大兵ヲ擁スルノ勢力ヲ以テ。父

類ヲ指ス ○大惡 スルヲ指ス ○舊史 増鏡ヲ指ス。日本史之レニ從フ。日本史ハ何ノ意ナ

ヲ贊揚セリ。木曾義仲ハ一ノ法皇ヲ幽セシ者ニシテ。眞天子ニ敵セシニ非ス。而シテ之レヲ叛臣

傳ニ列シ。北條氏ハ前後無比ノ逆賊ナリ。而シテ之レヲ列傳ニ置キ。世ノ忠臣義士ト並ビ列セシ

ム。是レ名教ノ大害ナリ。是レ余ノ常ニ憤々トシテ。 ○親征 乘輿ノ御親 ○否 御親征ニ

日本史ノ爲メニ惜ム所ナリ。故ニ今一言ヲ此ニ贅ス。 ○出恩仇之私 征ノ讎ニ與カラ

意ナリ ○決前 前ミ戰フ義 ○文過 泰時ノ失策ヲ ○論者 蓋シ正統

ザルヲ以テ。恩誼アルト爲シ。其皇子嵯峨帝ヲ立テ。順德帝ハ東征ヲ贊 ○論者 蓋シ正統

成セラレシヲ以テ。之レヲ仇讎ト爲シ。其皇子ヲ立テザリシヲ謂フ。 ○論者 蓋シ正統

過褒 ゴル義 ○人理 道理 ○蛇虺鬼蜮 虺ハマムシ。蜮ハ人ヲ害スル水蟲ノ名。春秋

○或傳 保曆間記ノ説已ニ記中 ○其子 名ハ三郎ト稱 ○抗上皇 後白河上皇ナリ。同

史何ゾ清盛ヲ叛臣 ○除讒人 清盛ハ成親ヲ除キ。義仲 ○幽囚 セシモ。遠カラズシテ本位

傳ニ列セザレヤ。 ○無前 前代未 ○脱叛名 逃カレルト

ニ復セラレ。終身孤島中ニ誦徒シ。再ヒ天日ヲ見 ○脱叛名 逃カレルト

増鏡正統記大日本史ニ至ルマデ。皆 ○臣僕 家來シモ。即チ深見三郎ヲ指ス。山陽モ斯クマデ

老狐狸ニ眩惑セラレ居ルノ類ナリ。 ○斧鉞 鉞ハ大斧ナリ。斧鉞ハ鉄鉞ニ作ルベキカ。禮記ニ。諸侯

ト書キテ。殺サレシトハ。 ○斧鉞 鉞ハ大斧ナリ。斧鉞ハ鉄鉞ニ作ルベキカ。禮記ニ。諸侯

抉其巢穴 抉ハエグリトル義。鳥ノ巢。獸ノ穴ヲ抉 ○醜類 凶惡ノ黨類。左

疎而不漏 是レ老子ノ語ナリ。恢々ハ大ナル貌。天ノ網ハ。目ガフトキ様ナレドモ。遂ニ

恫喝 人ヲ狐疑セシメテ。オトカス義。史記蘇 ○趙宋 趙匡胤國チ有テ。宋ト號ス。前代ニ劉宋

○擬 カクスルヲト。 ○脅 兵威ヲ以テ。オ

屠戮 ○折彼凶威 彼レガ凶惡ナル ○定我民志 彼レノ使チ斬リシ以上ハ。屹度戰

チ固定 ○所挾 人チオト ○機宜 機會ノ宜 ○幾何 遠ヒ目ハイカホドアルヤ。大抵



○待明 明主朱元璋。書ヲ征西府ニ贈ル。菊池氏其書辭。○接武 時宗ノアト。○屈膝外

○不辱國體 明ニ敵セシ者ニテ。我が國ノ體貌ヲ辱カシメハセザリシ。○張皇

○困敵 ヤブル。○攻守異勢 條氏ハ守ル。其勢

○軍須 軍中ノ諸將。○不擾經

○將帥 北條。○擊之 人ニ仕事ヲサセ置キ。後

○短兵 劍ノ類ヲ指ス。○砲礮

○走舸 船ヲ指ス。○砲礮

○不暇發焉 援刀隊ガ。手本マ

○火器 大砲ヲ指ス。○長技 特ニ長セル技藝。

自在日本外史講義卷之四 終

獨學 日本外史講義卷之五

伊豫松山 近藤南州述

新田氏前記

楠氏 新田氏ハ。中興ノ總大將タルヲ以テ。之ヲ源氏ニ繼ギ。天下ノ權ヲ握リシ者ト

前記トハ名ケシナリ。シカレハ前賢モ職論ノアルコトニテ。新田ハ忠臣ニハ相違無キ

之ヲ元帥ノ地ニ置キシヤ。山陽翁ハ自カラ名分ノ混ズ可カラザルヲ示スト云ヒ。亦々自

正記トハ爲サレリシヤ。是レ畢竟新田氏ハ徳川氏ノ遠祖タルヲ以テ。之レニ諂フ

○將門之史 即チ將家ノ事ヲ記ス。○平治承久 二條帝平治元年。信賴義朝ノ亂。順徳

道之變 君ノ臣下ヲ統御スルヲ以テ。世ノ正道トスレドモ。臣トシテ却

○勤王 王事ニ勤勞スルヲ。左傳ノ求ニ

○綱維 綱ハ網ノ大

○暴悍無忌 暴虐悍兇ニシテ。忌憚無

○鳥梟 母ヲ食フノ惡鳥ナリ。○暴悍無忌 暴虐悍兇ニシテ。忌憚無



雄猜匪測 者、頼朝ヲ指ス。猜疑ハ人ヲウメガフカキナリ。○茂王憲 天子ノ法度ヲ

營私利一計盡スルヲ。○猶有可言 有ル意。○王族 平氏ハ桓武ノ子孫。○將

家 源氏ハ征夷大將軍。○將門屬隸 將軍家ニ附屬セ。○坐制朝廷 廢立、攝録ノ進退ニ至

自由ニスル義。○承久之事 後鳥羽上皇。○筆而傳之者 東鑑増補等、筆ヲ執リテ、其

考信 其事ノ信實ナリト。考証ス。○君臣 天子ト。○可較曲直 孰レガ曲、孰レガ直

來ル者ヲナシ。○指斥 是レガワレイト指。○馮怒 馮ハ怒リ盛ナル貌。左傳昭公五

シノギ、ハツカシムル。之レヲ廢シ、之。○萬乘之尊 周時ノ制、天子ノ領地ハ、四方千里ニシテ、

其レヨリシテ、天子ノ尊ヲ、萬乘。○不啻如孤豚 嘗ニ賤シキ孤豚ノ如ク見做スノ意ナリ

通ニ、豚ハ猪子也。今人相罵リ曰、孤豚之子、是也トアリ。シカ。○八洲 古ハ日本ヲ稱シ、大八島

訓通ズ。○遺澤 恩澤。○參養 牛羊ヲカンチ養ト曰フ。當時ノ自カラ稱シテ

犬チケシカケルチ嚇ト謂フ。禽獸ノ如キ、師夫ガ、北條氏ノ。○名位 名爵。○族望 人望

養育ノ恩誼ニナレソシ。其ツカハレ次第ニナルヲ謂フ。○名位 名爵。○族望 人望

○出其右者 北條氏ノ上ニ出ツ。○爲之役 北條氏ノツカハレ。○氣類所召 同類

ノ相誘引スル所ト云フ義、即チ惡。○習以爲常 習慣トナリテ、其レガ當。○公卿 朝廷ノレ

人ノ處ヘハ、惡人ガ榮ル意ナリ。○趨踰 詩ノ齊風ニ、巧趨踰分トアリ。注ニ、踰ハ巧趨ノ貌ト解

藤原公。○趨踰 詩ノ齊風ニ、巧趨踰分トアリ。注ニ、踰ハ巧趨ノ貌ト解。○爵秩 官爵

此際 上文ノ承久之事アル時ヲ指。○畫 モノクロム、又ハクム。○危難 天子ノ廢立遷徙セ

袖手傍觀 手トコロテ見物スル意。○洽 充分ニユキ。○此禍 海島ニ遷座ナ。○臣子 公卿チ

○廢立 天子ニ就。○黜陟 公卿ニ就。○仰 下ヨリ上ヘアチムヒ。○蹙蹙 恐レ入り、身チ

○束縛 シハリテ。○窺其顔色 北條氏ノカホイロガ好ケレバ、安心シ。○石窟 イハ

○纒庇風雨 一ツツカニ。アマカセ。○父子三帝云云 後鳥羽帝ハ隱岐。子土御門帝

海 一生界。○元弘之事 後醍醐帝東征。○萬 千萬ト云フ義ニテ。○西

狩 後醍醐帝ノ隱岐ニ徙サレ玉ヒシチ、帝ガ自カラ西方ニ巡視セラレシ意ニ書キテ、高時ガ之レ

シテ、天王狩ニ河陽ト云ヒ。天子ガ勝手ニ。○歸一轍 同シ事ニナルノ意ナリ。轍ハ車ノ輪ノ

自カラ狩セシ様ニ書キシテ學ヒタルナリ。○歸一轍 同シ事ニナルノ意ナリ。轍ハ車ノ輪ノ



ヤウニキシ ○而止 削去是ト爲ス ○權力 權威 ○累世 九代ニ ○積弱 平氏源氏ニ

モリシ朝廷 ○虎狼 天下ノ武士ヲ指ス。上文ニ崇養ト云ヒ。使賊ト云ヒ。武士ヲ以テ禽獸ト看

成ス。是レ作者ノ最モ意ヲ用ヒシ處 ○魚味 味虚交切。然ト同シ。詩ノ大雅ニ。魚然于中國。鄭

ニテ。文ノ工ミナル者ト知ル可シ ○櫻 觸レ當ル意。虎ニ相手ニ ○以承久 爲戒 承久

作リ。左思ノ魏都賦ニ。香滅咆然ノ ○櫻 觸レ當ル意。虎ニ相手ニ ○以承久 爲戒 承久

ノ失敗ヲ以テ。警戒ト爲シ。亦此ノ如 ○重踵 儼レナマリ。足ヲ重テ立ツ ○屏息 氣息

クニナリハセヌカト。一ノ足ヲフム意 ○唱義 朝敵追討ノ大 ○衝路 賊ノ攻メ來ル正面

ノ地ヲ指ス ○爪牙 ツマ。キバ。總テ賊ノ手下トナル者ヲ指ス。前ノ虎狼ヲ承ケテ。之レ

鼓舞 ヒキタツル義。ハヤシタテ ○四方義士 新田赤松以下。此卷ニ ○踵起 引キ繼ル義

○殄戮 テシマウ。 ○元惡 惡人ノ巨魁。即 ○斧鉞之下 暗ニ上卷末ノ論文中。新田氏

線索甚ダ ○列聖 御歴代ノ天子 ○雪 アラヒ。 ○仰日月之光 賊臣ノ雲霧ヲ除キ。明天

得ルチ ○皇運之泰 皇室ノ御運ノ大通スルノ時節ヲ言フ。上文ノ時勢有所未可ト反應ス

言フ。 ○唱 トリガ。第一番ニ發聲スルチ。首唱ト言フナリ。 ○斯人 楠公チ ○匡濟 スクフ。

○後之論者 日本史論 張巡 唐ノ玄宗ノ時ノ人ニテ。安祿山ノ謀反セシ節。睢陽城ヲ守

義舉動。皆ナ善ク相似タルヲ論セシ者ニテ。勢ノ難易。功ノ大小マテ。同一ト言ヒシモノニ非ズ。

此ノ貶議ハ。少シク失當ナルニ似タリ。山陽翁ノ小品文中ニ。日本史論贊ヲ稱揚セシ文アリ。サレ

ルハ。全ク論贊ヲ模範ト爲セシ者ナリ。其ノ故ヘニ。其短ヲ議スルニトモ。亦々往々之レアリ。是

ノ柳子厚ガ國語ヲ愛シテ。非 ○全盛 積弱之餘ト對ス。シカシ張巡ノ兵ヲ起セシ際。天下已

狂胡 安祿山ハ本ト奚胡ノ人ニテ。狂妄ナ ○偏師 思明ヲ指ス。狂胡ノ全軍ヲ用ヒシニ非ズ。

是レハ百萬 虎狼ト對ス。 ○二顔爲之先 顏泉卿顏真卿二人。第一番ニ兵ヲ擧ゲ。義ヲ唱ヘシヲ指ス。

許遠爲之助 許遠ハ張巡ヨリ位階ハ上ニナリシモ。才ノ巡ニ及バザルヲ知リ。巡ニ首將ノ地

○遮蔽江淮 江水淮水ノ地方チ。ノイトメヌ ○守城致死 睢陽城ヲ守リテ。打死ニスル

々ニ 對ス。 ○難易 公ハ難ク張 ○大小 巡ハ小。張 ○位不滿其器 位ハ僅カニ五位ノ判官

トモ爲ル可キ大器量ニ。不 ○殉 國家ノ爲メニ。身 ○靖獻先王 尙書徹子緒ニ。自靖。人自

充分不相應ナリトノ意 ○殉 命ヲ棄ツル。 ○靖獻先王 尙書徹子緒ニ。自靖。人自











風ヲ爲シテ。○疲奔命。命合ニユリ。奔走シ。道路ニ疲勞スル。○鑿坑填尸。大ヒナル。穴

内ニ死シタル人ノ。○稍稍。一人二人ト。○誠。付ケル意。○遠。落チ行ク路程。○潰散。

クツレ。○宇治山。○平等院。在リ。○行幸儀。天子平常行幸ノ時ノ儀式。是レ帝ニ

皇祖。天照皇。○如常禮。御在位ノ平常ノ御儀式通りニ。○比承久。頗厚。宿ニ因リ屋ヲ

縛スルナド、云フニ。比較スレバ。餘程手厚。○嬪藤原氏。續ハ女官ナリ。藤原氏ハ左近衛中將

ク致シ。國分寺ヲ以テ。行在ト爲セシト云フ。○嬪藤原氏。正四位下公藤原ノ女。名ハ藤子。内侍

三位ト稱ス。又々新。待賢門院ト稱ス。○世居備前兒嶋。能長初メ備前ノ和田ニ居リ。和田ヲ氏トセシユト有

三男故ヘニ。備前ノ人ナ。○欲。赴援。是時帝錦旗ヲ賜ハリシトアリ。○西遷。遷幸セ

ラル。○其衆。者共。○志士仁人云。論語衛靈公篇ニ出ツ。朱注ニ云フ。志士ハ有志ノ

而シテ生ヲ求ムレバ。則チ其心ニ於テ安カラズ。其徳ヲ害。○見義云。論語爲政篇ニ出ツ。朱

注ニ。知リ而シテ爲サズ。是レ勇。○要。路ニテクヒ。○舟阪山。播。○候。候子ヲウ。○杉阪。美。○已過矣。最

後ナリシ。○變服。軍人ノ服ヲスギス。○尾駕。車駕ノ後ニ。○帝館。院ノ行在所。禰

サテ或人ノ説ニ。杉阪ト院庄トノ間。五六里ニ過ギズ。上文ノ尾行數日ノ字疑フ可シト。是説

理アルニ似タリ。サレド。秘鑑ナドニ據ルニ。杉阪ニ至レバ。乘輿ハ已ニ二日前ニ通御セラレタリ

トアリ。二日程ノ前途ノ在ルヲ追フトスレバ。數日ハ是非費ヤサレテ得ザル。○白櫻樹。白

樹ヲ削リ。シラケル。○天莫空。勾踐云。越王勾踐。吳王夫差ト戰ヒ敗レ。其臣范蠡

蓋シ勾踐ヲ以テ。帝ニ比シ。范蠡。○熟視。ツク。ト。氣ヲ付ケテミル。○秘鑑ナドニ據レバ。寓

ヲ以テ高德自カラ比スルナリ。○國府島。太平記日本史等。○公卿六人。權中納言藤原藤房。參議藤原季房

ニ。權大納言藤原公敏ヲ下野ニ流ス。日本史ニハ。是ノ四人ノミチ載ス。外ニ僧聖尋ヲ下總ニ。僧

俊雅ヲ長門ニ流ストアリ。都合六人ナリ。或ハ公明實世ノ二人ヲ加ヘ。公卿六人トスレド。正史ニ

ハ無シ。○四人。中納言藤原資朝。右中辨藤原俊。○國光。熊若丸ト稱ス。○省父。父ノ

カトニヤ。○流。皇子云云。中務卿尊良親王ヲ土佐ニ。宗良親王。○殺恒性。恒性大覺寺ニ

行ク。○吉野。大和。護良親王ハ下文ニ至リ。記事多。○紀伊。是時定佛ノ。○充

遂ニ之ヲ害ス。○苞以甲。苞ハタヲナリ。俗ニ俵ニ作ル。苞中ヘ。○分兵追之。兵ヲ手分ケシテ。敵ノ兵



○見セ  
○而甲着ル  
○吶喊  
○徇命  
○布スル  
○渡部河ハ今ノ淀部

ニシテ。渡部橋ハ今ノ天神橋ナリト云フ。サレバ天王寺ヨリ北ニ在リ。下文ノ是北過天王寺ト云フ。文ニテモ明ラカナリ。然ルニ是處ニ比及渡部ト云ヒ。進陣ヲ天王寺ト云フ。天王寺ハ渡部ヨリ北ニ在ル者ヲ如シ。山陽翁ハ大阪ノ地勢ニ暗カリシ。○天王寺津 ○二帥仲時。

○伏其二隊 第一隊二百人。恩地左近太郎滿勝。之レチ率ヒ。高津ノ森ニ伏シ。第二隊三百人。兵衛。勝田左衛門ノ三人。三手ニ分レテ。之レチ率ヒ。神崎ニ行キ伏シ。賊ノ走路ヲ捉スト云フ。○藤兵武者。○易之。○競渡。

○疾撃 手キビシク。○不可復制。復タトメ。河ヲ渡ル。○磨兵 呼ビモドス。○渡部之川 陸橋決田。橋ハ高橋。田ハ隅田ヲ指ス。決ハ決壊ナリ。川ト田ト韻ヲ押ス。是レバ。高橋落ナテ。須田流ルヲ。トアリテ。正成ノ細作辻風平藏ノ作。○紀清兩黨 武藏七黨。

○何有於五百 五百人位ニ。何モ骨ノ折レルコトノ有ラント云フ意。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。誇張ニ過グ。機ノ分カル。所ヲ指ス。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。

○籍使 設ケ料ル辭。俗ニ。○能無失亡 大小失亡ノ兵士無クシテ濟フヤ。其レ。○大任 天下ノ敵ヲ引キ受ケル。○前途甚遠 成功マデハ。餘程サ。○不戰而屈之 軍ヲセ。

○拔營 天王寺ノ陣營ヲ。○代營 正成ニ代ツテ。天。○炬火 ツノ火。○待官 夜打ナト思ヒ。用。○糶兵 兵威ヲシ。○鹵掠 人民ノ物ヲ。奪ヒ取り。○上官太子 用明。

○穢候 指ス者ノ如シ。○歸一元 南北合併スルヲ言フニ似タ。○今上 後醍醐帝ハ。今日ニテハ。九十七代ニ算スレドモ。當時。○西鳥 官軍ヲ。○族滅 一族皆ナ滅。

○復辟 再ビ君位ニ復セ。○蓋在明春 蓋ハ疑フ辭。オホカクノ意。帝元弘二年春三月七日。四日。隱岐ヲ出テ。二十七日伯耆ニ幸セ。○勳 勉勵セ。○諭赤松則村 則村ノ第三子則祐。

○播磨 若狹ノ城。○警聞 大變ノ。○東北三道 東海。東山。○以テ。之レヲ論シテ勳王。○播磨 若狹ノ城。○警聞 大變ノ。○東北三道 東海。東山。

○見セ  
○而甲着ル  
○吶喊  
○徇命  
○布スル  
○渡部河ハ今ノ淀部

ニシテ。渡部橋ハ今ノ天神橋ナリト云フ。サレバ天王寺ヨリ北ニ在リ。下文ノ是北過天王寺ト云フ。文ニテモ明ラカナリ。然ルニ是處ニ比及渡部ト云ヒ。進陣ヲ天王寺ト云フ。天王寺ハ渡部ヨリ北ニ在ル者ヲ如シ。山陽翁ハ大阪ノ地勢ニ暗カリシ。○天王寺津 ○二帥仲時。

○伏其二隊 第一隊二百人。恩地左近太郎滿勝。之レチ率ヒ。高津ノ森ニ伏シ。第二隊三百人。兵衛。勝田左衛門ノ三人。三手ニ分レテ。之レチ率ヒ。神崎ニ行キ伏シ。賊ノ走路ヲ捉スト云フ。○藤兵武者。○易之。○競渡。

○疾撃 手キビシク。○不可復制。復タトメ。河ヲ渡ル。○磨兵 呼ビモドス。○渡部之川 陸橋決田。橋ハ高橋。田ハ隅田ヲ指ス。決ハ決壊ナリ。川ト田ト韻ヲ押ス。是レバ。高橋落ナテ。須田流ルヲ。トアリテ。正成ノ細作辻風平藏ノ作。○紀清兩黨 武藏七黨。

○何有於五百 五百人位ニ。何モ骨ノ折レルコトノ有ラント云フ意。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。誇張ニ過グ。機ノ分カル。所ヲ指ス。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。

○籍使 設ケ料ル辭。俗ニ。○能無失亡 大小失亡ノ兵士無クシテ濟フヤ。其レ。○大任 天下ノ敵ヲ引キ受ケル。○前途甚遠 成功マデハ。餘程サ。○不戰而屈之 軍ヲセ。

○拔營 天王寺ノ陣營ヲ。○代營 正成ニ代ツテ。天。○炬火 ツノ火。○待官 夜打ナト思ヒ。用。○糶兵 兵威ヲシ。○鹵掠 人民ノ物ヲ。奪ヒ取り。○上官太子 用明。

○穢候 指ス者ノ如シ。○歸一元 南北合併スルヲ言フニ似タ。○今上 後醍醐帝ハ。今日ニテハ。九十七代ニ算スレドモ。當時。○西鳥 官軍ヲ。○族滅 一族皆ナ滅。

○復辟 再ビ君位ニ復セ。○蓋在明春 蓋ハ疑フ辭。オホカクノ意。帝元弘二年春三月七日。四日。隱岐ヲ出テ。二十七日伯耆ニ幸セ。○勳 勉勵セ。○諭赤松則村 則村ノ第三子則祐。

○播磨 若狹ノ城。○警聞 大變ノ。○東北三道 東海。東山。○以テ。之レヲ論シテ勳王。○播磨 若狹ノ城。○警聞 大變ノ。○東北三道 東海。東山。

○見セ  
○而甲着ル  
○吶喊  
○徇命  
○布スル  
○渡部河ハ今ノ淀部

ニシテ。渡部橋ハ今ノ天神橋ナリト云フ。サレバ天王寺ヨリ北ニ在リ。下文ノ是北過天王寺ト云フ。文ニテモ明ラカナリ。然ルニ是處ニ比及渡部ト云ヒ。進陣ヲ天王寺ト云フ。天王寺ハ渡部ヨリ北ニ在ル者ヲ如シ。山陽翁ハ大阪ノ地勢ニ暗カリシ。○天王寺津 ○二帥仲時。

○伏其二隊 第一隊二百人。恩地左近太郎滿勝。之レチ率ヒ。高津ノ森ニ伏シ。第二隊三百人。兵衛。勝田左衛門ノ三人。三手ニ分レテ。之レチ率ヒ。神崎ニ行キ伏シ。賊ノ走路ヲ捉スト云フ。○藤兵武者。○易之。○競渡。

○疾撃 手キビシク。○不可復制。復タトメ。河ヲ渡ル。○磨兵 呼ビモドス。○渡部之川 陸橋決田。橋ハ高橋。田ハ隅田ヲ指ス。決ハ決壊ナリ。川ト田ト韻ヲ押ス。是レバ。高橋落ナテ。須田流ルヲ。トアリテ。正成ノ細作辻風平藏ノ作。○紀清兩黨 武藏七黨。

○何有於五百 五百人位ニ。何モ骨ノ折レルコトノ有ラント云フ意。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。誇張ニ過グ。機ノ分カル。所ヲ指ス。○離同 人心ノ分離スルト。○承敗 敗軍ノ後。

○籍使 設ケ料ル辭。俗ニ。○能無失亡 大小失亡ノ兵士無クシテ濟フヤ。其レ。○大任 天下ノ敵ヲ引キ受ケル。○前途甚遠 成功マデハ。餘程サ。○不戰而屈之 軍ヲセ。

○拔營 天王寺ノ陣營ヲ。○代營 正成ニ代ツテ。天。○炬火 ツノ火。○待官 夜打ナト思ヒ。用。○糶兵 兵威ヲシ。○鹵掠 人民ノ物ヲ。奪ヒ取り。○上官太子 用明。







動悦喜シ。以テ ○以實 帝ノ遺ガレ出テラレシ。 ○鯨魚 ホシタル魚ナリ。諸母ニ鯨魚ニ作  
 栗ト爲スナリ。 ○京裝 都風ノイデダチヲ謂フ。日本史ニ太平記ヲ引キ ○赴之 舟人ノ指  
 レタル儀ヲ取リ。 ○塗人 途行ク人。日本史ニハ路人ニ作ル。秘鑑ニハ ○倚倚  
 積ンテトアリ。 ○帝者自託 天子タル御方ノ御自身直。 ○無成否 事ノ成  
 義。 ○直入 案内モセズ。ツ ○五人 委カラズ。當ニ數人ニ作ルベシ。五人ト限ギリ  
 ノ別無 ○船上山 伯 ○被薦 御身體ノイタマヌ様ニ備ヘル。 ○負帝 勿卒ノコト故  
 少ノ意 ○欣然 ヲロコバ ○燒其宅 再ヒ歸宅セザル。 ○煤印 松チ燒キシ。烟ノス、  
 ヒチ着 ○一擔 ナリ。 ○不致進 官軍ニ與スル者 ○蔽林 樹陰ニ身ヲ隠シ。兵ノ寡  
 立テル暇ノ無 ○藉 遂ニ山上ノ佛寺ニ御セラレタリ。秘鑑ニハ觀音堂トアリ。 ○倉粟 我  
 カリシニ因ル。 ○一擔 ナリ。 ○燒其宅 決心ヲ示スナリ。 ○蔽林 樹陰ニ身ヲ隠シ。兵ノ寡  
 儲ヘ米ナリ。 ○不致進 官軍ニ與スル者 ○蔽林 樹陰ニ身ヲ隠シ。兵ノ寡  
 一。 ○章識 紋所ヲ謂フ。 ○不致進 官軍ニ與スル者 ○蔽林 樹陰ニ身ヲ隠シ。兵ノ寡

○一將 佐々木彈正 ○來降 佐渡前司治利 ○擠 トス義 ○單舸 一艘ノハ ○有差

差ガアル義 ○數十姓 石見ノ澤善四郎。三角入道。安藝ノ熊谷兵庫之助。小早川備中守。美作

孫八。廣澤九郎。宮部十郎。三好刑部左衛門。備中ノ新見四郎。成谷小三郎。那須六郎。三村五郎八。

三原太郎。小澤準人助。河村源藏。淺口與市。庄野八郎。眞壁四郎。鴨方新之允。備前ノ今木太郎。大

宮太郎。片上藤七郎。和田備後次郎。知間左近太郎。小島七郎。阿本治右衛門。 ○行收兵 行ク

藤江玄蕃助。別發五郎左衛門。中吉權之助。和氣彌次郎。石生彦三郎等ナリ。 ○燈 火ガキエ

ミナニテ。兵士 ○恒長 前キニ但馬ニ ○峯堂 京城 ○僧長忠 大塔宮ノ候人ナリ。候人

ヲ榮メユセル。 ○山崎 併ナ ○恒怯 義 ○七條橋 師 ○燿 火ガキエ

大將 忠顯チ ○錦織 皇ノ旗章ナリ。 ○鎧裝狼籍 リチラシアルチ云フ。 ○高山寺

丹 ○名越高家 川越版北條高家 ○家聲 エガラナルチ云フ。 ○新帝 即チ僞主

持ニ両端 官軍ニ附カンカ。賊軍ニ附カンカト。觀望スル。是レ男 ○獨高德不欲附 竊賊

ノ與ニ爲スニ足ラサルチ着破ス。高德奇節欽ス可キナリ。近世一ノ狂人アリ。喋々辯論。高德チ

以テ。烏有先生ニ歸セントス。狂ニ非レバ。則チ疑。我レ其人ノ必ラス忠臣義士ニ非ルチ知ル。

○諸將 忠顯則村 ○聯軍云云 車ト車ト。其轅ノ方 ○屋材 シタル材木。 ○傳城 門

等チ指ス。 ○聯軍云云 車ト車ト。其轅ノ方 ○屋材 シタル材木。 ○傳城 門

獨軍 九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二

九二



ニヒツケル義。六波羅ハ。元來尋常ノ邸宅ニシテ。城ニ非ズ。諸書皆ナ城ト書ス。イカバノ。○死ニ者ニヤ。若シ城ナリセバ。車上ニ屋材ヲ積ミテ。火ヲカケタリトテ。何ノ用ヲ爲サンヤ。

近江 北條記ニ。○筮 筮ヲ以テ占フ。○周易ノ法ナリ。○遇師之蒙 坎下坤上ハ。地水師ト云フ卦ナリ。陰交ガ。變シテ陽交ト爲ル時ハ。坎下艮上ノ。山。○日 周易師ノ卦ノ上。六ノ爻辭ナリ。○大君有命 天子ノ陰交ト云フ卦ト爲ルナリ。之ハ變ズル義ナリ。○山 周易師ノ卦ノ上。六ノ爻辭ナリ。○大君有命 天子ノ命ヲ受。○開國承家 諸侯ノ國ヲ開キ封シ。大夫ナク。小人勿用 小人ハ國ヲ亂ル者故ヘ。意。適ニ足利尊氏ニ附合セリ。サテ以上ノ交ノ辭ニハ。一々皆ナ其象ノ有リテ。聖人ノ察ケラレシ辭ナレドモ。其レヲ論ズレバ。文ノ長クナリテ。初學ニハ解シ難キ事故ヘ。大義ノミヲ擧ゲ。之レヲ略。

○發名和氏 船上山ヲ發セラレタルナリ。○侍右 大和守金持景藤。錦旗ヲ執リ。ナリ。○發名和氏 一名和氏ト書セシハ。誤謬ナリ。○侍右 左ヲ爲シ。伯耆守名和長年劍ヲ帶ヒテ右ヲ爲シ。鹽治高貞前驅シ。朝山家就後拒シ。左近衛中將藤原行房。○捷報 鎌倉ヲ平樹解由次官藤原光守文服シ。其餘文武百官戎服シ。之レニ從ヒシト云フ。○捷報 鎌倉ヲ平カナイクサ。○兵庫津 其艱苦セシヲ。○威靈 天威。○天日 天願ヲ拜ス。○先驅 ノシラセ。

○歸闕 六月五日ナリ。上ニノ正成ノ謁見ハ。六月二日ナリ。本書。○大宰帥 太宰府ガケ。○歸闕 上文ニ但マ二十三日ノミヲ記ス。記事ノ體裁ヲ成サズ。○大宰帥 太宰府ナリ。聖武天皇天平十五年。始メテ筑紫ニ鎮西府ヲ置ク。是レ。○菊池氏云 道徳ナル文法ヨリ先キハ太西府ト稱セリト云フ。後ナ之レヲ太宰府ト稱ス。○菊池氏云 道徳ナル文法合傳ノ體ヲ學ビシ者ニテ。善ク其ニ追レリ。○菊池氏云 道徳ナル文法卷首凡例中。歸有光云ノ一條。參看ス可シ。

○本藤原氏 其先中納言藤原隆家ニ出ツ。○政則 隆家ノ子ナリ。○防元寇有功 後一條天皇寛仁三年。刀

宰權帥アリ。政則從ヒ往キ。賊ヲ禦ギ功アリ。本書以テ元寇ト爲ス。元寇ハ後宇多天皇弘安四年ニ在リ。寛仁三年ヨリ二百六十二年ノ後ニ在リ。誤謬モ亦甚シト謂フ可シ。○賜肥

後菊池郡 後三條天皇延久二年ニ在リ。○世襲 代々相繼テ。○十餘世 元寇ハ北條時宗ノ時ナリ。時

ナリ。北條氏ハ僅カニ三代ニシテ。菊池氏ハ十餘代ヲ經ルト云フ道理アラシヤ。是レニ因リテモ。前ノ元寇ノ誤ヲ知ルニ足ル。獨リ作者ノミナラズ。讀者ノ未ダ氣付カザリシハ奇ト謂フ可シ。○武時 一

二。牛鬼蛇神ノ語アリ。○龕 本社ヲ指ス。日本史ニ異本太平記ヲ引。○譙門 門上ノ樓。以

スルモノ。即チモノ。○内城 城ノ本丸ナリ。○次子四人 日本史ニ據ルニ。武時十五子アリテ。第

テ戰死ストアリ。次子ハ武敏ニテ。足利賊ノ西奔スル時。猶生存シ。之レト多々良演ニ戰ヘリ。本書次子ト云ヒ。四人ト云フ皆ナ誤ル。○著 ナルヲ謂フ。○承久時 後鳥羽上皇。○死王事 通治官軍ニ屬シ。其子通政ト。廣源

時。通信ヲ陸奥平泉ニ流シ。貞應二年。流所ニ卒ス。年六十八。○勇毅 武勇ニシテ。剛強ナル義。○星岡 獨學日本外史書義 卷之五



伊 ○ 船ノ用意 ○ 今治 伊 ○ 少貳 貞 ○ 島津氏 貞久、サテ時直已ニ降り。僧俊雅ニ

尋キ病死 ○ 般若寺 和 ○ 特旨 特別ノ思召シト云フ義。公綱ハ名高キ者故。是ノ恩典ニ

恩典ニ報ズ ○ 建武 後醍醐帝復位後ノ年號 ○ 直ノ宿直 ○ 決斷所 役所ノ名。今ノ

ル義。堵ハ土牆ナリ。遷動セザルモノ故。安然タル堵ノ如キ ○ 首超擢之 第一番ニ衆人

ヲ安堵ト謂フ。史記高帝紀ニ。吏民皆安堵如故トアルニ出ツ。 ○ 四 大國 尊氏傳ニ據レバ

ス。遠江守護ト爲リシ者ニテ。尊氏ニ非 ○ 缺望 不足ニ思フ意。 ○ 異心 叛逆

貞直 大佛氏 高 ○ 殊寵 特別ノ御寵愛 ○ 内謁 奥向キノ人ニ縁リ ○ 諸皇子 帝十五子ア

貞 履長 靜尊。宗長 恒長 成良 後村上帝義長 躬良 懷良 聖助。 ○ 害護良 害ハ。忌ム意ナ

源親子ノ生ム所。其大功ア ○ 合 謀 藤原氏ト協 ○ 構陷 罪ノ無キ者ヲ無理ニシ

政 退屈スル意 ○ 資望 資ハ資本ノ義。爵祿官位、並ビニ貴クシテ。 ○ 亞 次ナ

ハス義 ○ 北條憲法 氏々目憲法ト稱シ。北條高時ノ從弟ニシテ。南都ノ住僧ナリシニ。北條

改名シ。亂チ河内 ○ 飯盛山 河内 ○ 重時 宗時ノ子。伊豫ノ立 ○ 自如 常ニカハ

メツラシク。カ ○ 千里馬 一日ニ千里ヲ馳スル名馬ヲ謂フ。漢ノ文帝紀ナドニ。千里馬ヲ獻ズ

千里ヲ行クハ。無キ事ナリ。是馬ハ朝タニ出雲チ出デ。暮レニ京師ニ到リ其行程七十三里ナリ

シト云フ。是ノ毛眞偽ハ知ル可カザサルモ。其尋常ナラヌ駿馬ナリシニハ。相違無ラン。秘鑑ニ

ハ。龍馬トアリ。穩 ○ 爲祥瑞 目出度キヤシト爲ス。内大臣藤原公賢。虞舜ノ鳳凰。 ○ 天馬

史記大宛傳 ○ 母用於平世 太平ノ御世ニ。入用ガ無イト云フ義。漢ノ文帝ノ論ヲ轉用セ

ニ出ツル字 ○ 賞罰無信 賞スト言ヒテ。罰セザルヲ謂フ。 ○ 工役繁興 工トガ

澤山オコリハシマル。大内チ ○ 武臣外怨 赤松則村 ○ 奸雄 姦邪ニシテ。雄才ア

修シ。馬場殿チ建ツルノ類 ○ 亂兆 亂世トナルキヤシ。原語ニハ。軍國急チ

事チ起スノスキ ○ 亂兆 告グルノ資ト爲スニ足レリト云ヘリ ○ 舍官遁去 官位チステ

山ニ入り。借ト ○ 餘黨 北條時興時 ○ 謀大逆 浴室チ北山ニ設ケ。牀下ニ刀刃チ植ヘ。機チ

爲リシト云フ ○ 攻陷鎌倉 是レヨリ先キ。成良親王チ以テ。上野太守ト爲シ。出デ。鎌倉チ鎮シ。足

親王チ奉シ。西走ス。履長親 ○ 震怒 怒リノ甚 ○ 箱根 相 ○ 別軍 脇屋義助ノ

王子弒スルハ是時ニ在リ ○ 震怒 シキナリ ○ 箱根 模 ○ 別軍 率ル所ノ軍 ○ 竹下



駿河。足柄嶺。○崩潰。タツレナ。○使者。九郎。○召還義貞。是時義貞尾張ニ屯ス。○延元。後醍醐帝ノ年。○受制。受ケルヲ。○大渡。山崎。俱ニ山城古ヘ宇治川ハ。巨掠辻ノ大池ヨリ。淀ノ東ニ於テ木津川ニ會ス。其下流ヲ大渡ト曰フト云ヘリ。

○填塞。ガハ義。○勅使河原某。ハ丹三郎。○逆臣。尊氏チ指ス。○羅城門。外郭ヲ羅城ト曰フ。是レ京城ノ南門ニシテ。九條ニ在リト謂フ。○園城寺。近江。○泛湖。湖ハ琵琶湖ナリ。

○具平親王。村上天皇第七皇子ナリ。○世爲名卿。具平親王ノ子師房。從一位太政大臣ナリ。其子顯雅實。從一位太政大臣ナリ。其子雅定。右大臣ナリ。其曾孫通方。大納言ナリ。其子雅家。始メテ北畠氏ヲ稱ス。其子師親。其子師重。皆大納言ナリ。師重ノ子親房。從一位右近衛大將ト爲リ。三宮ニ準ス。○顯家。親房ノ子ナリ。○出鎮東邊。畿奥出羽ヲ鎮撫スルナリ。○副。次官トナリ。○固辭。テ。軍國ノ事ニ經驗無キヲ以テ。○岐。二ツニ分カレ。○貴戚。位貴クシテ皇族タル者。○無虞。慮カリ憂フルコト無ク辭退セシナリ。○并程。一日ニ二日程ヲ行ク。○拔之。大館幸氏ニ命ジテ攻メ。

○業巳。事ノ過ギ去リシヲ謂フ。○遂至叡山。即チ上文ノ湖ニ泛ン。○或欲馬之介。○園城寺。細川定禪之。○亂林。京城ノ北。○出雲路。乃チ上出雲寺ノ故蹟ナリト云フ。○鈕而聯之。正字通ニ。凡ソ物鉤ノ北。

○縱騎。騎兵ヲ乘リハナツ。○辟易。披キ靡ク。○鹵掠四散。賊ノ遺ヲ搜獲センガ爲メ。○前日之敗。上文ノ夜爲賊所ニ返裝一ヲ指ス。○難爲力。復タ再ヒ盡力ノシヤ。○養銳。士卒ノ銳氣ヲ養フ。○驅。逐ヒマケル義。○坂本江。近江。○一卒善泣者。本ト越前ノ者ニテ。五郎作ト曰稱ス。世ニ楠家ノ泣男ト曰ヘリ。○物色。其容貌衣服ナドヲ目當リテ。○原隔。ママリノ邊ナド。○七將。楠新島。洞院左衛門頭實世。千種忠顯。結城親光。名和長年。○有以也。仔細ノアルコト。云フ義。○肖者。其相貌ノ似タル者。○累累。ヒキツク義。○將領。大將ヲ謂フ。領ハ項也。頸也。故ニ人ノ首タル者ヲ。頭領將領ト謂フナリ。○四出要擊。鞍馬路。大原口。勢多。嵯峨。仁和寺等。處々ノ口々。出テ。○委甲蔽野。打棄テシ甲冑ガ。ノイトメテ擊テ取ル。○在者。京城中ニ居ル者。○味爽。夜明ケノホノクヲキ比。○委甲蔽野。打棄テシ甲冑ガ。ノイトメテ擊テ取ル。○湊川。津。○豐嶋。同謂フ。○前者願後者。前キニ逃ケル者ガ。後チニ逃ケ來ル者ヲ。○湊川。津。○豐嶋。同謂フ。○航海。海上ニ舟ヲノリダス。○武敏。武時ノ次子。本晉上文ニ。次子以下四人。父ノ子。○水木渡。前筑。渡シ揚子。川向。○内山。後筑。筑前。日本史多。○叛降者。氏神田氏以下。二千餘。○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○固辭。テ。軍國ノ事ニ經驗無キヲ以テ。○岐。二ツニ分カレ。○貴戚。位貴クシテ皇族タル者。○無虞。慮カリ憂フルコト無ク辭退セシナリ。○并程。一日ニ二日程ヲ行ク。○拔之。大館幸氏ニ命ジテ攻メ。

○業巳。事ノ過ギ去リシヲ謂フ。○遂至叡山。即チ上文ノ湖ニ泛ン。○或欲馬之介。○園城寺。細川定禪之。○亂林。京城ノ北。○出雲路。乃チ上出雲寺ノ故蹟ナリト云フ。○鈕而聯之。正字通ニ。凡ソ物鉤ノ北。

○縱騎。騎兵ヲ乘リハナツ。○辟易。披キ靡ク。○鹵掠四散。賊ノ遺ヲ搜獲センガ爲メ。○前日之敗。上文ノ夜爲賊所ニ返裝一ヲ指ス。○難爲力。復タ再ヒ盡力ノシヤ。○養銳。士卒ノ銳氣ヲ養フ。○驅。逐ヒマケル義。○坂本江。近江。○一卒善泣者。本ト越前ノ者ニテ。五郎作ト曰稱ス。世ニ楠家ノ泣男ト曰ヘリ。○物色。其容貌衣服ナドヲ目當リテ。○原隔。ママリノ邊ナド。○七將。楠新島。洞院左衛門頭實世。千種忠顯。結城親光。名和長年。○有以也。仔細ノアルコト。云フ義。○肖者。其相貌ノ似タル者。○累累。ヒキツク義。○將領。大將ヲ謂フ。領ハ項也。頸也。故ニ人ノ首タル者ヲ。頭領將領ト謂フナリ。○四出要擊。鞍馬路。大原口。勢多。嵯峨。仁和寺等。處々ノ口々。出テ。○委甲蔽野。打棄テシ甲冑ガ。ノイトメテ擊テ取ル。○在者。京城中ニ居ル者。○味爽。夜明ケノホノクヲキ比。○委甲蔽野。打棄テシ甲冑ガ。ノイトメテ擊テ取ル。○湊川。津。○豐嶋。同謂フ。○前者願後者。前キニ逃ケル者ガ。後チニ逃ケ來ル者ヲ。○湊川。津。○豐嶋。同謂フ。○航海。海上ニ舟ヲノリダス。○武敏。武時ノ次子。本晉上文ニ。次子以下四人。父ノ子。○水木渡。前筑。渡シ揚子。川向。○内山。後筑。筑前。日本史多。○叛降者。氏神田氏以下。二千餘。○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。

○窮追。オヒツ。○遷延。シツ。日延メスル。勾當内侍ニ別チ。○白旗。騎ナリト云フ。



城 藩 ○ 堀方一城一ツノ城ヲ攻メ落サント欲 ○ 蓋監 ナンテ前ヘノ事ヲ以テ。引キ

○ 舟阪前 ○ 福山城 後 ○ 三石山 前 ○ 間使 ヲカヒ。 ○ 間道 ヲヲミナ。 ○ 熊

山 前 ○ 約期 限ヲ約束スル。 ○ 倉卒 イソギン義。 ○ 重傷 高徳重傷シ。馬ヨリ墜ル

リ之レヲ斫ル。高徳ノ從子和田範氏杉 ○ 一將 大井田 ○ 西川尻 備前ノ地。サテ諸番ニ據

崎範家之レヲ救ヒ。扶ク載セ以テ歸ル。 ○ 西川尻 備前ノ地。サテ諸番ニ據

嵐ノ兵ノ。尊氏ニ從ヒ東上スルヲ拒ガント欲シ。出テ、西川尻ニ陣セシニ。賊ノ福山城ヲ陷レシ

ヲ聞キ義助ニ會セント欲シ。又義助ノ敗レテ播磨ニ退キシト聞キ。險ヲ除ヘテ東セシナリ。サン

ハ西川尻ニ陣セシハ。賊軍 ○ 百方招我 色々ト言ヒテ。我レヲ 招キ降サントシタリ。 ○ 墮其陣出 賊陣ヲ撃チ

ニ非ズ。本音ノ誤謬ナリ。 ○ 傳呼 村落ヲ順次ギニ ○ 伏刃死 刃ヲ口ニ嚙

スル。出ノ字妥カラス。過ニ作ル可シ。若シ ○ 震動 大ホサハ ○ 歸鎮 陸奥ノ鎮守府

出ニ作ルナレバ。陣ノ字チ圍ニ作ル可シ。 ○ 飛書 早ヤ飛脚ヲ 立テテ。 ○ 歸鎮 陸奥ノ鎮守府

シニ地上ニ當テ。自カラ ○ 飛書 立テテ。 ○ 震動 大ホサハ ○ 歸鎮 陸奥ノ鎮守府

實ヌキ死スルヲ云フ。 ○ 格闘 争ヒタ。 ○ 奇道 別ニカハリシシ ○ 爲今計者 今日賊ヲ防グノ計略ヲ

而攻之。 楠ハ河内ヨリ。新田ハ畷山ヨ ○ 慮人言耳 戦ハズシテ退クヲ以テ。物議ニ涉ル

トノ ○ 非一 一道トキマラヌヲ云フ。始メハ或ハ ○ 前役 尊氏餘倉ヨリ。京ヘ攻 ○ 外京

意。 ○ 非一 負ケテ。終リハ利アルヲ欲スルノ意。 ○ 前役 尊氏餘倉ヨリ。京ヘ攻 ○ 外京

地 ○ 抗議 外ノ ○ 抗議 外ノ ○ 抗議 外ノ ○ 抗議 外ノ ○ 抗議 外ノ

記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記 ○ 記 記

心組 意ナリ。 ○ 計較 計ハカリタ ○ 乃父 汝ノ父ト云フ義。父ノ ○ 族隸 親族。 ○ 舊址

故跡ニ同シ。 ○ 殉國 ト滅亡ヲ共ニスルヲ謂フ。 ○ 寶刀 菊作リノ刀。 ○ 兵庫 津 ○ 慰

勉 其心ヲナグサ ○ 訣飲 ツカレノサカ ○ 和田崎 兵庫ノ ○ 扞 禦ナ ○ 過而東 和

上陸セズ。通リスケテ。 ○ 拔軍循之 水軍ヲ上陸サセマツト思ヒ。和田崎ノ ○ 全軍云

陸軍ガ東ヘ引キ揚ゲ。和田崎ガ空虛ニナリシニ因リ。 ○ 腹背 賊ノ陸軍前ニ在リ。腹トス。水軍

賊ノ後隊六千艘ノ全軍ガ。皆ナ苦モ無ク上陸シタ。 ○ 腹背 賊ノ陸軍前ニ在リ。腹トス。水軍

川ノ地勢ニテハ。和田崎ノ兵ヲ以テ背ト爲スヲ得ズ。正成ハ是 ○ 七離七遭 兄弟敵中ヲ驅ケ

時淺川ニ陣セシ者ナレバ。是ノ叙事ハ。實チ失スルニ似タリ。 ○ 七離七遭 兄弟敵中ヲ驅ケ

テ。七タヒ ○ 垂及 殆ント之レニ ○ 敵將 藥師寺十 ○ 逸セル。 ○ 分兵 六千餘人

出合ヒシ。 ○ 血戰 ツテ戦フ。 ○ 可以潰圍 賊ノ圍ヲ斬リクツセバ。 ○ 心不欲生

天下ノ事ノ。望ミ無キヲ ○ 七生人間 佛氏再生ノ説ニ 縁リテ言フナリ。 ○ 獲善心 思フナリノ意。 ○

○ 獲善心 思フナリノ意。 ○ 獲善心 思フナリノ意。 ○ 獲善心 思フナリノ意。 ○ 獲善心 思フナリノ意。



耦刺 雙方サシナ。○宗族十六人 橋本正貞。字佐美正安。神宮寺正。武吉川越板武朝ニ

作ルハ。○戰狀 合戦ノ模様。○尾而闕之 子チウカバヒミル。○徑入 スグニツト。○脚

口ニ物チフクミシ如ク。○惡能任王事 左様ナル定見ノ無キコトニテハドウシテ。○嬉

戲 子供ノ遊ビ。○元 首ナ。○義故 義理アル類。○戴 推シイタキテ。大。○扞禦 ギフ

セ。○忠顯戰沒 藤原雅忠ト西坂ニ。○正成云云獨有此人 日本史ニ太平記諸書チ引キ

人相語ケ曰ク。三木一帥。唯ダ伯耆ノ存スル有リト。長年之ヲ聞キ曰ク。輿論我ガ死ノ晚キヲ嘲

ルナリ。戰尙シリアラザル。今日死セント。蓋シ結城。伯耆。楠。千種。當時ノ功臣ニシテ。並ビニ恩

養チ承ク。故ニ世ニ稱シ。○大官巷ノ東。○閉後門 走路チフサギ必。○殿ガリ。○

鹽津江 近。○不能操兵 手ニ操ルコトガ出来ヌ。○植刀于地 刀ノキツサキチ上

ル。○自貫 自分テウツツシニ。刀上ニ。○金崎 前。○力戰自殺 通治力戰創チ被リ氣

人ト。腹チ割リ而シテ死ス。屍ノ横。○擁立 モリマ。○新帝 光嚴僞。○拘執其餘 菊池

大館氏明。江田行義。宇都宮。○壞牆 土堀ノ所。○赤電 アカキイ。○穴生和。○宗信 野吉

吉水院ノ主ナリ。○相踵 引キ續。○復振 勢ガ復タ盛。○帶刀 スル官ナリ。○建行宮于吉野

トセラレシト云フ。○候守者懈 番兵ノ油斷スルヲ。ウ。○靈山 陸奥ノ今。○結城宗廣

陸奥ノ白河ニ居ル。因テ白河結城ト稱シ。○白河關 陸奥ノ今。○利根川 武藏上野ノ界。阪

以テ宗族ノ下總ニ居ル者ニ別ツト云フ。○齋藤實永 元弘日記。裏書太平記ニハ。顯家部

下長井實永弟。豐後次郎等トアリ。○水激於西岸 萬衆ノ涉ル勢ニテ。水

○漂溺 水ニタマヒ。○宗良親王 上文ニ遠江ニ。○回戰 後ヘ引キ回ヘ。○青野

原 美。○破之 賊將桃井直常。土。○轉出伊勢 東海道ノ塞リシニヨリ。路チ轉

川 勢。○破之 日本史ニモ。元弘日記裏書難太平記チ引キ。之レチ破ルニ作ル。本文ト同シ。然

ニテ。本文ト全ク反ス。蓋シ足利記ノ誤ナラン。日本史結城宗廣傳ニ云フ。從顯家。抵南都。顯家

與諸將士。議軍所向。宗廣曰。我軍累捷。已開入京之路。而猶憚賊不。得。過。黑地。橋。持。此

詣。芳野。爲。備。甚。也。當。直。襲。京。師。一。掃。兇。徒。不。濟。則。暴。屍。王。城。耳。ト。○避敵於行宮 是

我が軍累リニ捷ツト言ヘ。高賊ニ破ラレサリシハ。知ル可キナリ。○避敵於行宮 是

本文ノ宜シカラザルナリ。避ルナド。書ク故ヘニ。雲津川ノ戰モ。負ケタルナリト臆測スル者ア

リ。即チ上文引ク所ノ如ク。京師ニ入ル可キチ。賊チ憚カツテ。入ラスト止ムルハ。身怯ナリシト

言ヒシノミニテ。賊チ避ケテ吉野ヘ逃ケ。○攘 ヅク義。○王城 京師チ指ス。矢張り京師



賊兵逆擊 桃井直常其兄直信ト。俱ニ。○兩親王 義良宗良 兩親王。○安倍野 攝津。新田記ニ。敗死和泉ト記セ

シハ。誤。○衝圍而死 重國ヲ斬リヌケ出テ。流矢ニ中リ薨シタリ。○男山城 延臣近

衛少將 源持定。○北國將士 義貞等。○前日之敗 前年叡山ニ據リテ。遂ニ賊絶ニ我糧道ニ利

高經。佐々木高氏等。糧道ヲ絶チシニ因リ。兵ヲ遣。○深根固帶 根ハ木ノ根。帶ハ花葉ノ

固クスルハ。其據ル所ノ。○山徒 僧徒。○肯 承諾ス。○逡巡 シザリスル。○義貞戰

死 越前ニ死ス。新田記ニ詳。○餘威未盡 殘リシ威合ノ未。○東邊 東方ノ邊部。陸

官職 陸奥守 藤原。○颯 海上ノハ。○天龍洋 遼。○安濃津 勢。○篠島 上。○鳩弼 藥

ヲ以テ弒逆スルナリ。鳩ハ毒鳥ノ名。其羽ヲ以テ。酒ヲ瀝シ。之ヲ飲メバ。○大漸 ヒニ危篤

人ヲ殺スト云フ。○於此 吉野山。○北關 京師ノ宮闕ヲ指ス。京。○體 體認ノ義。其身ニ

ニナ。○氣沮 氣ガ挫。○方言 骨折ツテ。○頌 頌布ス。○通卿 通治ノ子。備

劍ヲ手ニ握。○彈正 通言ノ子。名。○病死 伊豫ノ今治ニ死ス。○河江 伊

興國 後村上帝。○氣沮 氣ガ挫。○方言 骨折ツテ。○頌 頌布ス。○通卿 通治ノ子。備

○選凶日 一ヲ決スルノ意ヲ表スルナリ。○千町原 伊豫ノ日本史ニハ。○走備後 一郷

經氏 義助ニ從ヒ行キ。○輓城 後。○世田 伊豫ノ大館氏明城内ニ在。○死士 次死ノ

常陸。小田治久ノ治城。○高師冬 是時足利基氏ニ從ヒ。○遺言討賊 宗廣ノ舟。伊勢安

ヤ。風ヲ候スル十餘日。病ニ嬰リ死ニ瀕ス。僧アリ來リ問ヒ曰ク。死道ブ矣。唯々佛名ヲ唱ヘヨ。儼

シ遺囑アラハ。諸レヲ費息ニ傳ヘント。宗廣將ニ限セントス。之レヲ聞キ挺起シ。笑ヒ曰ク。我レ

生レ七十。百事完足ス。復々遺念莫シ。但々賊ヲ滅スチ得ズシテ死ニ就クチ恨ム。我言ヲ以テ陵子

親朝ニ傳フルヲ煩ハス。佛ニ供シ僧ニ施スチ以テ爲ス勿レ。名ヲ稱シ經ヲ讀ム。ナリテ爲ス勿レ。

速カニ賊首ヲ斬リ。之レヲ墓前ニ懸ケユト。言。○送欵 誠心降意ヲ。○城將 小田治久ナリ。

○關城 常。○從子 常。○大寶城 常。○父子 親房顯能ノ叔姪ナリ。韓文。○城且

陷 關城。○間使 シノヒノツカイ。親朝ノ留メ置キテ返ヘサレリ。使ハ。僧宜宗ナリ。サレ

事ニテ。宜宗ノ使ハ最後ニ在。○不遣 途ニ要シ止メテ。顯信。○手書切諭 親筆ノ書面ニ

ルノミ。本督叙事少シク差フ。○親房走 關ノ落城ハ。五年春ニ在リシハ。○

本督ト同シ。四年ニ在リ。親房傳ノ誤ナラン。○

○

○

○

○

○

○



本書ノ誤 ○耗散 へリテハナシ ○在 金剛山 上文ニハ正行與正朝率兵二千來傳トアリ

者ニヤ ○保聚 保存シテ一處ニマツル ○挑賊 賊ニイカサチスルヤ ○正平 後村上帝ノ年號 ○箭

尾 河内ニ是時秋山 ○離山 金剛山チ出 ○絶 其後 正行ノ軍ト金剛山 ○謀知 シノ

入レテ其計 ○聚落 人民ノ聚リ居ル ○爲 向 向フ模様 ○譽田林 河内 ○亂 隊疾馳

隊伍チクツシテインギ ○天王寺 攝津 ○住吉 同上○天王寺 ○塵起 人馬ノ運動スルニ因

ナア ○麾下 大將ノハ ○渡部 渡部河 ○震駭 フルヒオ ○溺卒 河水ニオチ

甲 衣服 ○禮 丁寧ニトリ ○二十餘州 四國○中國○東 ○行宮 吉野山中 ○挫 強賊

強惡ナル北條賊 ○宸憂 天子ノ御心 ○再亂 足利氏ノ ○致命 シ討死ニスル義 ○囑

申シ付 ○餘燼 残りシ黨類ヲ謂フ蓋シ火ノ ○國讐 國家ノ ○稟性 ツギ ○羸弱

身體ノ虛弱 ○及 今 今日ノ健康ナル時 ○有 待 國賊ヲ除クコト ○羅 無虞之疾

ニ出合フ義 ○渠帥 大將ヲ謂フ即 ○致命 日本史ニ報效ニ作 ○天顔 天子ノ ○掲

簾 御簾ヲ捲キ ○前 正行 席チスハ ○曩 日 前日ニ ○兩捷 譽田林天王寺

ヲス義 ○世忠 累世ノ ○悉 銳 精銳ノ兵ヲ悉 ○從 宜 キチ見テ退キ其宜シキ機會

ヲフ ○股 肱 足ト云フニ同シ ○自愛 自分ニ大切ニ ○辭 訣 ヒストマ ○廟 壁 如

輪堂ノ壁ナリ別ニ國歌一首チ其後ニ書ス梓弓ヒキカヘサント思フヨリ無キカ ○北軍 何ツ

ト書セ ○四條 畷 河内 ○四隊 在 前 山 伊駒山南及ヒ飯盛山○外 ○綴 止ナリ○クヒ

前隊 飯盛山 ○賊 隊 又 至 四條 畷 ○終 敗 走 飯盛山伊駒山ノ賊 前後 ○更 進 入レ易

進ム ○踞 籠 而 餉 カケテ兵糧チツカフ ○環 視 見物スル意 ○走 路 可キ

チス ○中 堅 中軍ハ精銳ノ士チ以テ堅固 ○殊 死 死チ決 ○披 靡 我が勢ニ懼レテ

○節 直 臣 高元 ○告 其 實 一トヲ知ラセル ○唉 恨怒 ○置 籠 上 一キ特ニ不惻

チ加ヘ鄭重 ○負 楯 以 北 大テチセオフテ賊矢 ○不 肯 迫 心中ニ畏懼セル故ヘ其計

追ハ ○裨 將 手下ノ將 日本史正朝 ○哺 申ノ刻今ノ午 ○力 索 ツカレキル ○注

ス ○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注

○禪 傳ニハ高師冬トアリ ○哺 後四時比ナリ ○力 索 ツカレキル ○注



目ヲシテ連射 矢ヲ射カケル。○嶋 如ク矢ノツツミノ毛ノ。○已矣 マヲノ意。○北

向 討賊ノ方ヘ向ヒテ略レタ。其 ○二十二 延元元年丙子。正成戦死スル時。正行年十一ナレバ。

ナリ。日本史本傳モ亦タ二十二ニ作ル。蓋シ誤算ナリ。シカシ正行ノ年ニハ異説多ク。延元元年ニ

ハ十三歳ナリト云ヒ。復タハ四條畷ノ戦ハ正平四年ナリト云ヒ。討死ノ時ハ二十五ト曰ヒ。二十

六ト曰ヒ。見行太平記。毛利家本。櫻雲記。三補記。○餘兵 日本史ニ宗族凡ツ。○駢並ブ。○伺

擊 ヲツ義。○湯淺 門ト稱ス。○識見 見ル義。○後獲病 死。日本史ニ太平記ヲ引キ云

湯淺ノ死猶不。其日湯淺得疾。俯仰視ニ賢秀張レ眼瞋。己。間ニ。○奏狀 軍ノ模様ヲ

七日ニ死云。是レニ據レバ。尋常ノ病ニテハ無カリシト見ユ。○遂死 賊騎至リ。正朝ヲ射。七矢

阿保。○忍獨亡乎 一門皆ナ死セシニ。未練ニモ獨リ。○石川内 河。○相持 對陣シ

忠實。○穴生 大和。日本史穴太ニ作り。國史略賀名生ニ作ル。後村上帝。○石川内 河。○相持 對陣シ

ヲミ合フ。○朝議 北畠親房奏シテ。之レヲ納ル。ユト。○知其情 義詮ノ伴ハリ降ル情

○男山城 山。○削髮 志純。○密詔 秘密ノ。○東北諸將 新田義宗。及ヒ小山某。宇都宮

滿貞。石堂義房等ヲ指ス。サテ高德ハ後ヲ終ル。○宗良 後醍醐帝。○顯信弟也 貞平ノ子。親

所ヲ知ラズ。是ノ密使ノ以後記スル所無シ。○宗良 後醍醐帝。○顯信弟也 貞平ノ子。親

房之レチ。○鳥羽 京師。○桂川 京師。○大宮 京師。市街。○巷戰 市街中ニ

爲梯 裏ニ横ノサンアリテ。足掛リト爲ス可シ。○三帝 光嚴。光。○東山 京師。○三退 其

陣 義詮ノ兵來リ追ル。顯能退キ淀ヲ守リ。又タ退キ。○大半 半バ過ギ。○此賊 足利氏

荒坂 河内交野郡ト。山城綴喜郡ノ界ニ在リト云フ。京師ヨリ男山ヲ攻ム。○驍名 勇名

刀 十ナギ。○更科 幡ニ登ル路アリ。即チ是レナリト云フ。○還河内 是ニ至テ始メテ河内

ルハ。○更科 幡ニ登ル路アリ。即チ是レナリト云フ。○還河内 是ニ至テ始メテ河内

○攪甲 甲冑ヲ。○委 長生 弟ナリ。○収之 而還 日本史ニ太平記伯耆卷

ナ田中ニ委テ去ル。長生乃チ馬ヲ下リ。甲ヲ脱シ。櫃ヲ負ヒ而シテ走ル。敵追ヒ射ル。矢櫃板ニ中ル

急雨ノ如シ。長生位カニ免カレ而シテ還ル。櫃板脆薄。矢ノ着スル者十餘。遂ニ洞スル能ハズ。人

以テ異。○新田桃井氏 即チ義宗直。○土居得能氏 是レ誰レナルヤ。通郷彈正ハ。上文ニ

ナラザルナリ。サレバ別ニ其子孫ノアリシヤ。若シ然レバ日本史本傳ニ載セザル筈ナシ。而シテ

後村上帝本紀ニハ。今年ノ事ヲ記シ云フ。宗良親王。自。信濃。新田義宗。自。越後。桃井直常。自。越

中。吉良滿貞。石堂義房。自。駿河。土居得能。自。伊豫。率。兵。勤。王。トアリ。土居得能。丈ハ。其。名。ヲ。記。セ

ズ。二氏本傳ト合ハス。疑フ可シ。本誓ハ。帝紀ニ據リシナリ。サレト下。文ノ。西。南。ノ。字。妥。カ。ラ。ズ。南



海ト書ス可シ。上ノ東北ニ對セントシテ、西南ト書シ。亦々其事實ノ如何ノヲ問ハズ。是レ文章家ノ弊ナリ。○正儀等 房等トナリ。○弓手

射ル隊。○復發兵 聖尊氏 八年ノ九月ニ、尊氏ハ已ニ京師ニ歸リ居リ。九年ニ、足利直冬山

ノ一段ヲ承ケシナラン。サレド其時ハ、尊氏ハ未ダ京師ニ歸ラズ。義詮ト戰ヒシナリ。故ニ九年ノ

事ヲ載スルカ、或ハ十年ノ事ヲ削ル。○仁科 義詮ノ。○足助 日本史ニ。○起兵 信濃ニ在

ナリ。起兵子ニ信濃ト書ス可シ。○結城氏 朝常ナリ。親朝ノ子。吉。○亦武重弟也 池武敏

シ。然ラザレバ、事實ヲ悉サズ。○武重弟也 承ケ亦ト云。○嗣統 其衆 武重子無シ。武光ヲ以テ嗣ト爲シ。肥後

フ。武政ノ第八子ナリ。○少貳 尚 遣兵云云 細川繁氏ヲ遣ハシ。菊池氏ヲ攻メントシ。頼尙氏時。藩カニ内應セ

リ。○日向 城。○高崎 後。○絶其歸途 豐前筑後ノ隘ヲ扼シ。武。○不願 氏時ノ能

キチ知り。打棄。○不取要擊 武光ノ鋒銳ヲ見テ。畏縮。○來攻 武光傳ニ據ソバ。武光ノ方ヨ

テ置キシナリ。○高良山 柳原。水堀山等ニ討セシニ付キ。頼尙ガ來リ逆ニ戰。○銳兵 精銳

ヒシナリ。彼レヨリ來リ攻メタルニ非ズ。事ノ主客ヲ失ス。○大原 筑前ノ。○頼尙

ズシテ。退ク一里。○武政等 明。赤星武實等七千人。○亂軍聲 軍馬ノ聲ヲ

事々。○行宮 是時車駕河内ノ天野ノ行宮ニ在リ。日本史注ニ云フ。是レヨ。○甲 傳ニ往々甲

ノ一字ヲ以テ。甲士。○莫能爲 格別奇功ヲ立ツルコ。○天時地利人和 孟子公孫丑

ヲ稱スルコトアリ。○山帶河 深山ヲ背ニシ。○深阻 險阻ナル義。○毋論 千窟之圍 北條氏ガ。正成ヲ。

能ハザリシハ。無論。○借公營私 尊氏已ニ死シ。義詮基氏ト相忌ム。是ニ於テ國清。基氏ニ

ト欲スルニ在リ。○等儕 同輩ノ者。○嫉 嫉クム義。○御 遷幸セラル。○龍門 伊。○出

忍 顯ハレテ出デ。又ハ。○慄悍 氣ミシカク。ムユ。○氣屈 根氣ノ盡キ。○平岩 箭尾。龍

泉。俱ニ。○樓堞 一。○張形勢 一體ノ形勢ヲ張大ニシ。○筒山 和。○興良 護

親王。○燒行宮 後村上帝本紀ニ據レバ。是レハ賀名生ノ行宮ナリ。本書前。○銀嵩 和。○

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

守リ。將名詳カナラズ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

守リ。將名詳カナラズ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

守リ。將名詳カナラズ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

守リ。將名詳カナラズ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

守リ。將名詳カナラズ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川

龍泉城將 大和河内ノ兵。之レヲ。○疑兵 僞ツテ守兵ノ在ル如。○取之 土岐直氏。細川



取レテ ○ 陷平岩 福塚某、河邊某、之ヲ守リ、今川範氏。○ 箭尾 守將真木野某、酒邊某、城ヲ棄テ、走リシナリ。

○ 鼠逃レカク ○ 鼠鬪 鼠ノ如キ合 ○ 暗號 トアイユ ○ 唱號 坐作 アイユトバチ唱ヘテ相圖シ、スハリタリ。

○ 雜焉 暗號ヲ知ラス故ヘ、夜中ナレハ、敵卒 ○ 絶渡部橋 攝津渡部橋ヲキリオトス。 ○ 譽

田内 ○ 相惡 ナル下。 ○ 賊中大騒 京師ガ騷擾セシナリ。賊中ノ字ヲ、京師ト改メ、下文ナリ。官軍ガ起リテ、賊ガ去リシニ非ズ。

○ 水速 河内杉本某之レヲ ○ 連下 諸城一牲川某等、根來ノ僧徒ヲ春日山城ニ破リ、阿瀬川定佛、山本某、田邊別當某等、備川莊同チ鹿瀬、蕪坂ニ擊テ、之レヲ走ラセ、伊豆守山名時氏ハ、赤松貞範ヲ攻メテ、其六城ヲ拔キタリ。

○ 宗良 將軍時ニ信濃ニ在リシナリ。 ○ 岐蘇早雪 木蘇ノ山中ハ、氣候寒冷ニシテ、早ク雪ノ降りテ、道路ヲ妨グルヲ謂フ。

○ 十五年 十六年ノ誤ナシタルヲ、偶然忘却セシナリ。 ○ 宰府 筑前太宰府ナリ。武光傳 ○ 夾攻 頼尙氏時、香椎ニ山ニ據リ、武光ノ後ヲ

○ 縱反間 武光ノ族、城重經ノ爲セシ策ナリ。 ○ 亦走 武光ニ攻テ、去歲之役、赤坂等ヲ攻メシヲ指ス。

○ 譚 スル下。 ○ 天神林 攝津 ○ 神崎橋 神崎川ノ橋ナリ。 ○ 徑田單列 田ノ中ニユミナチ取リ、一行ニナリテ進ム。

○ 薄擊 テウツ。 ○ 清氏

亦 ○ 亦ノ字、上文ノ赤松光範ヲ承ク。 ○ 五得而五失 元弘三年、建武三年、正平六年、弘長三年、五年、十年、五回ナリ。

○ 可辨 引キ受ケテ、事トガ出ル意。 ○ 病復失之 折角取リ得テモ、維持スルコトガ出来ズ。

○ 戀故都 一ユヘ還ルコトヲ思フ義。 ○ 清氏戰死讀岐 清氏河波ニ走リ、伊豫土佐讀岐ヲ狗ヘ降シタリシニ、細川頼朝、本書年月ヲ記セズ、敘事錯雜ス。

○ 不可坐視 一テハ居ラレヌ。 ○ 八月 上文ニ九月トアリ、此ニ八月トアリ、官軍ノ京師ヲ復セシハ、十六年ノ十二月ニシテ、京師ヲ昇テ、南歸セシハ、十七年ノ正月ナリ。

○ 神崎株瀬 俱ニ攝津、是時佐々木高氏 ○ 張篝火其營 一カバ

ナ、其陣屋ニ盛ンニタキテ、大軍ノ居守スル風ヲ紐フナリ。 ○ 三國渡津 攝津 ○ 出賊背 是ノ賊ハ赤

部ノ城ナリ、是事ハ九月ニシテ、八月ニ非ズ。 ○ 略伊勢 功ヲ用ル少クシテ、之レヲ取ルヲ略本書上文ノ八月ヲ承ク書スルハ、實ヲ失フ。

○ 略伊勢 功ヲ用ル少クシテ、之レヲ取ルヲ略本書上文ノ八月ヲ承ク書スルハ、實ヲ失フ。 ○ 顯能傳ニハ、顯能遠ニ伊勢、土

岐頼康園仁木義長子ニ長野城。顯能屢出、兵擊之トアリ、略取トハナシ、顯能ノ伊勢守ト爲リシ事ハ、上文ニ見ヘタリ、後村上帝紀并ニ諸將ニハ、是歲顯能等ノ伊勢ヲ略スト云フ事、見ヘズ。

○ 重經 城氏 ○ 逆擊之 氏經探題ト爲リ、豐後ニ至リシヲ、武義重經等ヲシテ、往

テ、筑前ノ長者原ニ戰ヒシナリ、菊池氏ノ方ヨリ逆ニ擊チシニ非ズ、主客ヲ失セリ。

○ 走氏經 氏經高崎城ヲ保チシガ、武光豐後府ニ停

方ヨリ逆ニ擊チシニ非ズ、主客ヲ失セリ。

○ 走氏經 氏經高崎城ヲ保チシガ、武光豐後府ニ停

方ヨリ逆ニ擊チシニ非ズ、主客ヲ失セリ。

○ 走氏經 氏經高崎城ヲ保チシガ、武光豐後府ニ停

方ヨリ逆ニ擊チシニ非ズ、主客ヲ失セリ。

○ 走氏經 氏經高崎城ヲ保チシガ、武光豐後府ニ停



力弱シ。城ヲ除。○并厚東氏邑。武光傳ニ據ルニ。先是大内弘世。奉旨平周防長門敵。因鎮  
ヘテ脫走セリ。○戰豐後。蓋弘世ノ方ヨリ。攻。○天皇崩。住吉殿ニ崩。○  
出ト云フテ可ナリ。是レ其。○戰豐後。蓋弘世ノ方ヨリ。攻。○天皇崩。住吉殿ニ崩。○  
氣力ノ貫徹セザル者カ。○戰豐後。蓋弘世ノ方ヨリ。攻。○天皇崩。住吉殿ニ崩。○  
入寇。長慶帝紀ニ據レバ。去年補正儀叛キ足利義滿ニ降リシニ付キ。今年兵。○讓位。此ノ後  
ノ玉川宮ニ移御セラル。其。○聰敏。性質ノサドク。カ。○興復。賊ヲ滅シテ。元ノ  
崩處崩年等ヲ詳カニセズ。○天皇崩。住吉殿ニ崩。○三年。後  
山天皇ノ元年ナル筈ナレバ。矢張り文中三年ト稱セラレシ。○一隅。九州ノカマス。○朱元  
者ト見。日本史本紀ニモ。三年トアリ。是レ甲寅ノ歲ナリ。○北朝納之。足利義滿ガ  
璋。朱ハ姓。名ハ元璋。元ヲ滅シ。天下ヲ取。○不納。書ヲ受ケ込。○北朝納之。足利義滿ガ  
リ。○梗。塞ギカマ。○天授四年。天授ハ後龜山帝ノ年號。本書ニテハ。是歲ハ菊池武朝ノ  
川貞世ヲ肥後ノ託磨原ニ破リシハ。是歲ノ事ト爲セ。○神宮正種。國史略ニハ。宇佐美正種。神  
爲セリ。且ツ紀伊ノ土丸城ニ據リテ。賊ヲ拒キ。退キシコト。爲セリ。○弘和。後龜山帝。○正  
本書ニテハ。紀伊諸城陷ルハ。己ニ文中二年ニ記セリ。誤ルニ似タリ。○弘和。後龜山帝。○正  
儀亦卒。日本史本傳ニハ。天授四年三月卒スト爲ス。五年前ニ在リ。國史略ニハ。北朝ノ康曆二  
年卒スト爲ス。南朝ノ天授六年ニ當レリ。今ヨリ三年前ニ在リ。皇朝史略ハ。諸書ヲ引

證シ。弘和元年ニ正儀歸順スト書シ。二年ニ山名氏清ト平尾ニ戰ヒ敗績スト書シ。其歿年  
ハ記セズ。皇朝史略ヲ以テ正ト爲ス可キニ似タリ。蓋シ其歿年ハ。詳カナラサルニ似タリ。○元  
中。後龜山帝。○城兵逃走。國史略等ニハ。城將正勝。弟正元ト俱ニ城ヲ棄テ。逃カレシト云ヘ  
ハ。考證無シト言ヒテ取ラズ。本書ニハ。正勝ノ名ヲモ載セズ。サレド下文ニ正秀ヲ載スル  
位ナレバ。正勝ヲモ載セタキ者ナリ。況ヤ其義滿ノ招キニ應ゼザル。忠烈アルニ於テナヤ。○十  
津川和。講和議。南北和睦ヲ相談スル。使者ハ義弘ノミ。○兩統。南北兩朝ノ系統。南  
爲ス。北ハ後深草。○駕法。行幸。○大覺寺。京城ノ西。嵯  
帝ノ統。僞ト爲ス。○駕法。行幸。○大覺寺。京城ノ西。嵯  
○義弘揚兵。是時ハ一統ノ天子トナリ。義弘ハ倍臣ニシテ。其主ニ反セシ者ニシテ。義兵ヲ揚  
ハ。名分ヲ誤レ。○蓋正儀子也。氏系圖ニ據ルナリ。日本史ニハ。是レモ考證無シト爲シ。取ラ  
ズ。且ツ正秀ノ義弘ニ屬セシト云フハ。諸書皆ナ載セズ。イカバノモノニヤ。○餘孽。族類ナリ。  
若シ實ニ是事アリトセバ。足利氏ノ叛臣ヲ助ケシ者ニテ。實スルニ足ラズ。○餘孽。族類ナリ。

○後十三年。後小松帝應永十。○禪位。川越板崩ニ作。○訴之。兩統更立ノ約ニ違。○索  
北朝皇族立之。崇光ノ曾孫彦仁。伏見ニ在リ。足利氏迎ヘ。○小倉。名ハ關ケテ。○自京  
師。後龜山法皇ニ從ヒ。○北畠氏。伊勢國司大納言源滿。○戰敗。持頼ト戰ヒ。敗死ス。○

○後十三年。後小松帝應永十。○禪位。川越板崩ニ作。○訴之。兩統更立ノ約ニ違。○索  
北朝皇族立之。崇光ノ曾孫彦仁。伏見ニ在リ。足利氏迎ヘ。○小倉。名ハ關ケテ。○自京  
師。後龜山法皇ニ從ヒ。○北畠氏。伊勢國司大納言源滿。○戰敗。持頼ト戰ヒ。敗死ス。○



萬壽寺師 ○歲癸亥 後花園帝 ○足利氏内亂 將軍義勝ノ死セシ事アレドモ。別ニ内

ルヤ。疑 ○二郎 名ハ正光ト稱スト云ヘ ○金藏主 藏主ハ禪寺ノ職名 或ル説ニ。名ハ尊義。

倉ノ子。名ハ教尊。勸修寺ニ入り僧ト爲リ。權僧正ニ ○越智某 大和人ナリト云フ。 ○大内 禁裏御所

任シ。安祥寺ノ寺務ヲ兼ストアリ。或説ト符合セズ。 ○内侍鏡 飛揚シ。南殿ノ櫻樹上ニ懸ル。内侍之レヲ袖ニ承ケ。以テ免ルヲ得タリ。是後ナ神鏡

ヲ稱シ内侍所ト爲ス。或ハ云フ。温明殿ハ。内侍ノ護持スル所。故 ○衛士 警衛ノ兵士。 ○清

水寺 京師東山 ○神璽 マガ玉 ○中堂 經藏文殊樓ノ中央ニ在ル ○二郎者云 楠氏

ニハ。正儀ノ二男二郎正元。三男二郎左衛門正秀。其子二郎右衛門正盛トアリ。就レモ二郎ノ付ク

コトナレドモ。時代ヲ以テ推セバ。正盛ト爲シテ可ナラン。サレド日本史ナドニハ。正元正秀ナド

モ。考證無シト爲シテ。取ラザル位ナレバ。正盛ト云フモ。信ヲ難シ。且ツ鳥朝 ○後醍醐帝會

史略等ニハ。前大納言藤原有光トアリテ。楠二郎トハ記セズ。イカニヤ。 ○赤松氏遺臣二人 是

孫某 一説。後龜山帝ノ曾孫尊秀ト云フ ○歲戊寅 後花園帝 長祿二年。 ○赤松氏遺臣二人 是

赤松氏己ニ滅ブ。故ニ遺臣ト曰フ。二人ハ上月滿吉 中村貞友ナリト云フ。一説ニ。間島三郎太郎。

中村八郎ナリ。中村ハ追殺セヨレ。間島ハ置ナ奪ヒ去ルト。是レ赤松ノ遺臣石見太郎左衛門ナル

者ノ指揮ニ出テ。其壁ヲ得ルノ功 ○泰成 後村上帝ノ第四子ナリ。後龜山帝位ニ即

チ以テ。赤松氏ヲ再興スト云フ。 ○圓滿 某ト書ス可

院 大津園 ○癸亥之難 上文ニ 在リ。 ○八幡山 ○歲丙寅 後花園帝 文安三年。 ○游佐 國助 游佐

城寺内 ○丁卯 文安四年。上文ノ歲戊寅ノ條。是ノ後ナニ在リ。皇曾孫ヲ奉ズルハ。楠氏ノ殘兵

楠氏ノ事ノ終リト爲ス。叙事錯綜セシニ因テ謬リシナリ。又一説ニ。季瓊日録ヲ引キ云フ。寛正三

年。楠氏ノ族吉野ニ在ル者ヲ捕ヘ。悉ク之レヲ四家ニ殺スト。丁卯ニ後ル、十六年。戊寅ニ後ル、

五年ナリ。願ル奇聞ト爲ス。 ○義宗 義宗其老臣紀親則ヲ殺ス。諸將怨叛シ。相 ○具教 正親

未ダ其眞偽ヲ詳カニセズ。 ○有深謀焉 所ノ政記中ニ於テ。之レヲ詳論セリ。參考ス可シ。 ○史乘

永祿十二年。織田 信長ニ亡サル。 ○相爲終始 笠置聖慶ヨリ始マリ。南北合併ニ

歴史ヲ指ス。孟子ノ晋ノ乘。 ○立石 東山帝元祿 五年ニ立ツ。 ○嗚呼忠臣楠氏之墓 嗚呼ノ字ヲ加

魯之春秋一也。語ニ出ツ。 ○源光國 德 氏 常陸水戸ニ封セラル。家康

ノ曾孫ナリ。德川氏三家ノ一。 ○鳴呼忠臣楠氏之墓 嗚呼ノ字ヲ加

ノ吳ノ延陵季子ノ墓ニ思セシト云フ例ニ。本ツキシナリ。氏ハ子ノ字ノ誤謬ナリ。其背後ニ明人

朱之瑜ノ文ヲ刻セリ。余初メ之レヲ讀ミ。其文ノ碑文ノ體ヲ失セシヲ怪シ居タリシニ。頃日大阪

博物場ニ於テ。某侯ノ所藏ニ係レル。楠公訣見ノ圖ノ贊ヲ見ルニ。朱氏ノ手書ニシテ。碑背ノ文ナ

リ。是ニ於テ始メテ。彼ノ文ノ本ト畫贊ナリシヲ知り。多年ノ疑團頓ニ氷釋セリ。後又タ神戶ニ之

キ。碑ヲ觀ル。數回。文末ノ題言ニ。楠公贊ト云ヒ。勅代ニ碑文ト云ヘリ。サレバ其碑文ナラ

サルコト益々明ナリ。因テ此ニ贊シ。以テ世ノ年少ノ士。他日彼ノ碑ヲ觀ル者ニ告グ。 ○櫻井驛 正







代ノ時 ○三器 三種ノ 神器。 ○繫 ッナギ止 南木ノ夢ニ。天下無地容ニ陛下。 ○

南風不競 南方ノ風氣ノ衰ヘテ。北方ノ風氣ニタツクコトノ出来ヌヲ言フ。左傳襄公八年

十。 ○俱傷共亡 南朝ト楠氏ト。滅口。 ○終古莫以恤其勞 終古ハ末代マデモノ意。楠

無キト云ヒ。歎息セシナリ。カレト明治昭代ニ至リ。六ヒニ其祠廟ヲ淺川ニ起シ。十三年七月。車

駕之レニ臨幸セラレ。勅シテ正一位ヲ贈ラル。榮ヲ享受スルニ至レリ。正行ノ如キモ。亦々廟

ヲ四條隈ニ建テ。日ヲ追フテ隆盛ナルニ至レリ。山 ○正閏 正ハ通常ノ十二月月。閏ハ通常外ノ

陽翁ニ知ル有ラシムレバ。快然ノ思ヒアラソフ乎。 ○正閏 閏月。是レヲ借リテ。正統ノ天子ト。

僧僞ノ天子トニ。 ○卒歸於一 ツママル所ハ。一統ノ天子ニ歸シタ。即チ後 ○熙鴻號於

無窮 天子ノ大號ヲ。萬古窮リ無キ後ト云マデ。 ○可以限矣 安心シテ目ヲツムル。 ○大

節 國家ノ爲メニ。 ○巍然 高大ナ。 ○與山河並存 上文ノ金剛山ニ立雲際。 ○維持

ギタモ。 ○姦雄迭起 北條足利。 ○果何如哉 果シテトナラガ。マシテアルヤト云フ意ニ

ハ無イカノ意。 ○無イカノ意。 ○無イカノ意。 ○無イカノ意。 ○無イカノ意。 ○無イカノ意。

自在日本外史講義卷之五終

獨學日本外史講義卷之六

伊豫松山 近 藤 南州述

新田氏正記

新田氏 是レヨリ新田氏ノ正記ニシテ。新田氏ノ本傳ト

○八幡公 八幡太郎義家ナリ。往時ノ俗稱。 ○門閥 五品アリ。其等ヲ明ラカニスルヲ閥ト

曰。 ○嫡宗 嫡子ノイニスガチ謂フ。義國以後ノ嫡宗ナルヲ論セシ者ニテ。八幡公ニ嗣ガ嫡宗

アリ。妄説ト謂フ可シ。義家ノ嫡宗ハ爲義アルニ非ズヤ。安ソニ宗アルヲ得ンヤ。 ○舊史 梅

論。花營三代記。 ○成敗 足利ハ成リ。新田ハ敗ル。 ○軒輊 輕重スルヲ謂フ。車ノ前高キヲ軒ト曰ヒ。前下

フニ出ヅ。又々後漢馬援傳ニ。居前不能令一人輕。居後不能令一人軒。注ニ。人ノ輕重スル所

ト爲ル無キヲ言フナリ。サテ是レハ山陽翁ノ僻論ニテ。將軍ト曰ヘバ。武臣ニテハ。源氏ノ後ニ。

足利氏ノ起リシニ相違ナシ。成敗ヲ以テ論スルニ非ズ。徳川氏ノ祖先。 ○聲威 名聲。 ○優劣

マサル。 ○祖ノ義。 ○謫 罪ヲ罰シテ。遠地。 ○所謂 世ニ謂フ所ノ。新田姓ノ起原ナル新田

ナルヲ以テ。新田氏ヲ濫舉スルヲ得ズ。阿諛ノ論ハ君子之レヲ鄙ム。 ○聲威 名聲。 ○優劣

マサル。 ○祖ノ義。 ○謫 罪ヲ罰シテ。遠地。 ○所謂 世ニ謂フ所ノ。新田姓ノ起原ナル新田



○非ルヲ示ス意旨外 ○所食 食邑ト ○外家 母方ノ ○田原氏 義國ノ妻ハ。田原 ○其

半ノ足利那 ○襲義國官爵 從五位下式部太 ○嫡宗 義國ノ ○有隙 一、頼朝ガ招キ

シモ。義重ノ應セザリシ事 ○大炊助 大炊頭一人。諸國ノ春米雜穀ノ分給。 ○一武族 一人

ナリノ意 ○遭遇事變 保元ノ亂ニ出合セ。義朝ニ ○順進官爵 檢非違使左衛門尉

ニ職人ニ補シ。見敗チ ○娶於熱田 尾張熱田ノ大宮司季範ノ女子娶リ妻ト爲ス。熱田ハ地

聰ナル。ニ至レリ。 ○親昵 ツマツキ義。 ○世結婚於北條氏 義康ノ子義兼。時政ノ女子娶

官トテモ書ク ○親昵 ツマツキ義。 ○世結婚於北條氏 義康ノ子義兼。時政ノ女子娶

可キナラン。 ○親昵 ツマツキ義。 ○世結婚於北條氏 義康ノ子義兼。時政ノ女子娶

北條氏ノ ○倚頼 ノム。 ○著于鎌倉 鎌倉ニ其門閥ガ著 ○稔聞 熱聞ノ義善

倒戈 敵ニ降參シテ。味方ヲ擊 ○寵爵 從四位下。 ○斐玩 アソビニスル義。 ○覬覦 希

意 ○非望 征夷大將軍ト云フ。己レノ ○啓 道ヲヒロキ手 ○功勞 骨折リ。 ○二家交

訟 新田足利兩家。雙方ヨリ訴ヘ ○退 メル義。 ○族望 門閥。 ○爲重 ニスル。 ○材

武材略 ○部屬 手下。 ○精勁 スグツチ ○數奇 不仕合ノ。 ○敗奴 プヤ

ケル。 ○無他故也 別ニ仔細ノアルコトヲナイト云フ義。 ○謳歌 フ義。孟子ニ出ツル字。 ○武治 武家

○衣纓之褊裨 纓ハ冠系ナリ。衣纓ハ衣冠ト云フニ同シ。公卿ヲ指シ言フ。藤原公泰ノ竹

畿甸之召募 五畿内中ニテ。遠カニ募リ集 ○掣肘 人ノ事ヲ作スチ。背後ヨリ其肘ヲヒキテ

語アリ。家語ノ宓子賤ノ。二史書ス。 ○牽累 手足マヒヒコナ ○介冑之族 被ル。武士ノ者共。

○雲合霧集 ットヒアツマル意。 ○加之 進モカナハ ○困陪 ル。陪滯北反。位也。 ○

其歸云 餘程無理ナル論ナリ。當時ノ勢ハ。山陽翁ノ言ノ如クナレハ。其レヲ爲サレリシ故ニ。

取ル可キチ。取ラザリシニ因リ。泰伯ヲ至徳ト稱シ。伯夷ヲ賢人トモ稱スルナリ。サレド周君孤竹

君トハ稱セザルナリ。義貞モ此ノ如キ類ニテ。將軍ニ非ル者チ。山陽ガ特ニ將軍ノ資格ヲ附與セ

シトテ。義貞豈ニ尊ナクテ之レヲ受ケンヤ。且ツ之レヲ足利氏ノ前記ト爲シタリトテ。別 ○夫將

門云 將軍ハ。將軍家ノ義是ノ言ハ至當ナリ。サレバ山陽ハ何故ヘニ。天下ノ全權ヲ握リシ。織

記無クシテ。サヒシクナル故ヘ。一家ヲ退 ○第三世 滿 ○其父 詮 ○其祖 尊 ○正統之

朝ノ吉野 ○二親王 興良モ亦タ征夷大將軍ニ任セラレシコトアリ。懷良親王モ征西將 ○其

朝ノ吉野 ○二親王 興良モ亦タ征夷大將軍ニ任セラレシコトアリ。懷良親王モ征西將 ○其

朝ノ吉野 ○二親王 興良モ亦タ征夷大將軍ニ任セラレシコトアリ。懷良親王モ征西將 ○其

朝ノ吉野 ○二親王 興良モ亦タ征夷大將軍ニ任セラレシコトアリ。懷良親王モ征西將 ○其



實 兵馬ノ權 ○總戎之寄 戎事ヲ總督スルノ寄託ナリ。○兩家 新田 足利 ○以此爲首 親王ヲ指ス。○附見 新田氏ノ事ヲ叙スル記中へ。以テ首始ト爲ス。附録シテ親王ノ事ヲ見ハス。

○源義家 是レハ記文ノ故ニ入幅公ト書カ。○第三子 長子義宗。次子義親。三子義國。○大輔ノ官。○辟之 路チヨケ。○隸士 家來トモ。○坐 罪ニ坐セ。○足利郡 野下。○治承 高倉帝ノ年號。○競起 頼朝義仲等ノソコニ。○寺尾城 野上。○又不肯 上文ノ不答ヲ承ケテ。又承諾セズト云フ。○有隙

初メ義重ノ至ル。頼朝其答セザリシヲ以テ。鎌倉ニ入ルヲ許サズ。義重辨疏之ヲ謝シ。安達盛長之ヲ營救シ。乃チ許ス。義重ノ女。初メ惡源太義平ニ嫁ス。義平死シ寡居ス。頼朝其姿容アルヲ聞キ。書ヲ通シ之ヲ挑ム。從ハズ。乃チ義重ニ請フ。義重政子ノ嫉忌。○七子 義俊 義包 義光 義佐。○義包 日本史ニ義兼ニ作ル。皇嘉門院殿人大炊助ナリ。○義房生政氏 日本史ニ系圖ヲ引キ云フ。義房生政氏。政義。政義生政氏。本書政義ノ一

世ヲ。○凡六世 義重ヨリ數フレバ。七世ナリ。本書一世ヲ脱シ。六世ト脱ス。○義貞ハ。蓋シ義家十世ノ孫ナリト知レ可シ。○旗用白 源氏一ナリ。○旗號 旗ノ名。○中黒 九ノ中ニ黒ニ一。○自出 倒裝法ノ文ナリ。○役屬 カハレ。ツキ。○楠氏 正成ト名チ著ハシ書ス可シ。○金剛山 河内。○遣中 兵中ト云フ義。

○家宰 家臣ノ長。○相制 雙方互ヒニ相抑ヘ合フ。○無似 不肖ト同シ。俗ニフ。○胃裔 義ノ嫡子ノイニス。○驅使 カフ。○近狀 近頃ノ模様。○宸憂 天子ノ憂。○家聲 名譽。○大塔宮 延曆寺ノ座主ト爲リ。大塔ニ居ラレシヲ以テ。大塔ノ宮ト稱セリ。當時大塔ト大厩トモシラセタル事アルニ因ツテ。メイトフト讀ム可シトノ説アリ。イカバノモノニヤ。増鏡楠廷尉秘鑑ナドニハ。皆ナ。○令旨 東宮親王ノ命。○大塔山 比叡。○東兵 二階堂貞藤三千。○謀ノ者。○笠置山 山城。○宗良 初メ僧ト爲リ。尊澄ト名ク。妙法院ニ住シ。三品ニ叙シ。天台ノ座主ト爲ル。○破賊 辛藤仲家ヲ斬ル。○南都 奈良。○賊遣兵 一乘院ノ候人按察ノ法眼。○經函 大般若經ヲ入レシハユリ。○九人 赤松則祐。村上彦四郎義光。片岡八郎。矢田彦七郎。平賀二郎。横川光林。坊玄尊。木寺相模坊勝意。岡本參河坊英實。杉谷武藏坊榮雲。凡テ九人。○道士 山伏ノイデマナ。光林坊ノ年長ナ。○笈 俗ニオヒト云フ。背後ニ負フ所ノ箱。○十津川 山伏ヲ以テ。先達ニ假裝セシト云フ。○笈 俗ニオヒト云フ。背後ニ負フ所ノ箱。○十津川

和 ○土豪 土地ノ財產家。○兵衛族女 兵衛ノ男竹原八郎入道ノ女英葉。○賊聞之 熊野ノ別當定頼。○購其頭千金 日本史ニ太平記増鏡ヲ引キ云フ。大塔宮ヲ獲ル者ハ。官司ヲ論セス。伊勢車間莊ヲ食マ。即日施行セン。アリ。秘鑑モ略ボ同シ。○吉野山 和。○據寺 吉水院ナリ。○村上義光 本誓千金ト曰フハ。蓋シ杜撰ナラン。



左馬頭稱ス。○高野山 伊紀 指使 ツカフテ。○山寇 ナリ。○糧餉 ノ兵糧。○蹤

跡 山中ニ居ラレルナラン。略 自爲亡卒 ノ兵卒トナルナリ。○關子山下 假裝

冠三十人ノ者ト。偽ツテ闘争スル。○山上寇 ナリ。○下援 ナ下ツテ。之レヲ援ヒタリ。

○縦返ス。○通意 勳王セントスルノ内。○名族 名高キ。○權用詔辭 繪旨ノ制ヲ用

本史ニ其譯文ヲ載ス。曰ク。敷化而理萬國者。明君之徳也。撥亂而鎮四海者。武臣之節也。頃

年北條高時。蔑如朝憲。恣振逆威。積惡之至。天誅已顯。愛欲安寢。將擧義兵。敵賊尤深。抽

賞何淺。宜早運征伐之策。底靜謐之功。住ニ云フ。親王誓ヲ賜フ。宜ク合ト稱スベシ。而シテ檢

旨ノ體ヲ用ニ。疑フ可シ。増鏡ニ據ルニ。此時護良數。問使ヲ船上。行在ニ發ス。其義貞ニ賜フノ

書。制ヲ承ケテ爲ス所ナルモ。未ダ知ル可カラザルナリ。○稱病 立テル。○調發兵食

糧食ヲ調シ。兵士ヲ發ス。○新田素多豪戶 粟戸ハ財産ノアル家ナリ。義貞ハ新田郡ノ世

ル。調ハトリヤツル意。○遣兵捕其吏 泉首里門 吏ハ出雲介親連。黒沼彦四郎入道ノ二人ナリ。義

ヒ往キ。親連ヲ捕縛シ。彦四郎ヲ誅。○利根川 武藏上。○情見 我が兵力ノ乏シキト云フ

シ。首ヲ世良田ノ里ニ懸ケサラセリ。○出狗 詔ヲ奉シテ。朝敵ヲ

討スルトノ意ヲフレ

ニス。○戕 殺スナフ義。○匹馬單兵 一匹ノ馬。一人ノ兵。○出狗 詔ヲ奉シテ。朝敵ヲ

討スルトノ意ヲフレ

ニス。○孰與 ルヤト云フ意。○義氏 日本史ニ義。○五月八日也 是レ特筆ナリ。且ツ下

ノ伏案ト爲ス。○笠懸野 野上。○越後宗族 大井田經隆。及ヒ里見。○伏鞍 馬上ニテ。

ヘニ拜。○今日 野ノ間。其道程近キニ非ズ。豈ニ一日ニシテ至ルヲ得ンヤ。本書今日ノ字。妄

モ亦マ。○羽黒俊賢 秘鑑ノ論ニ。太平記ニハ。天狗山伏一人。越後ノ國中。一日ノ間ニフル

腹ノ弟。羽黒山ノ山伏ナルガ。義貞ノ隠謀ヲ。始メヨリ相談シ。廻文ノ使トセシナリ。然ルチ斯ク

不思議ラシク。言ヒ倣セシハ。兵家ノ秘術ナリト云ヘリ。山陽翁ハ太平記ノ一日ノ間ニト云フチ

誤解シテ。今日ト。○善走者也 俊賢ハ善ク走ルニセヨ。二千ノ兵。○全兵 兵士悉皆

善キシ者ナラン。○不期 約束セ。○入間河 武。○前後來擊 金澤貞將。上總

國將士 下野人小山秀朝。○久米河 武。○生兵 ノ兵。○退 退テ

トシ。下河邊ニ出テ。義貞ノ後ヲ拮ス。櫻田貞國。長崎高。○馳突 馬ヲハセテ。○交退 ニナル。

資等。武藏上野ノ兵ヲ以テ。入間河ニ至リ。其前ヘ拮ス。○馳突 馬ヲハセテ。○交退 ニナル。

義。○馳突 馬ヲハセテ。○交退 ニナル。○久米河 武。○生兵 ノ兵。○退 退テ

義。○馳突 馬ヲハセテ。○交退 ニナル。○久米河 武。○生兵 ノ兵。○退 退テ



ヲ保 ○益輕 爲意ノ句ヲ承ク ○禮而詢計焉 禮ヲ以テ厚ク之レヲ待遇シ、イカバツ。

○分崩 論語ニ出ツル字。 ○終有在焉 勝チカ在ル者テアルト云フ意。 ○新勝

之兵 アラマニ勝チ ○戰勝而將驕卒懈者敗 驕ハ得意ニナリ。人チ輕蔑スレバ、懈ハナ

リ。サテ是語ハ史記項羽本紀ニ出テ、項梁ノ秦軍ニ ○敗兆 キザシ。 ○詰朝 明朝ナリ。左

勝チ驕リシ時、宋義ガ之レヲ諫シ語チ引キシナリ。 ○敗兆 キザシ。 ○詰朝 明朝ナリ。左

○卷旗徐進 ツカス様ニシテ、ソロソロト進ミ往ク。 ○應徵 命令ニ應ズレバ。 ○翼而

進 鳥ノ兩翼チ張ル如ク。 ○三面掩擊 左右新田氏、中央三浦氏ニテ。 ○貞將一軍 上文ニ

軍ナリ。 ○小山朝 秀 千葉 胤 鶴水 武藏、日本史ニ ○響應 ヒビキノ聲ニ應ズル如

キ應 ○關戸 武 極樂寺 相模鎌倉ノ西北口ナリ。寺ノ字ノ下ニ阪ノ字チ脱ス。 ○兒囊

坂 鎌倉ノ 假粧坂 鎌倉ノ 東北口。 ○分拒三道 金澤越後將監。北條基時。假粧坂ニ拒ギ。 ○

山内倉 宗氏戰死 本間某ト 戰ヒ死ス。 ○選兵 キノ兵。 ○赴之 極樂寺坂ニ 赴クナリ。 ○備傍射 敵

ノ横合ヨリ、弓チ射カ ケント。手當テスル。 ○越在西海 數百里ヲコエテ、西海中隱岐ノ國ニ在テ。 ○不忍坐

視ニシツト坐ナガラ、見物 ○提兵 兵士チ引キ 連レテノ意。 ○眷 目チカケ、見 退潮 引キ退カセ

義。 ○金裝刀 黄金ニテ、仕立テタル佩刀。 ○潮大退 秘鑑ニ云フ。太平記ニ。前々更ニ

入リガタニ。俄ニ廿四町千アガリテ、平地ト成ル。横矢チ射ントカマヘシ兵船、落行ク潮ニサツハ

レテ、遙カノ沖ヘ、タノヨヘバ、是レ龍神ノ納受ナリト記ス。予思フニ、サル事モアラソカ。然レド

モ義貞名將ナレバ、是レ一時ノ謀計ナランカ。廿一日寅ノ刻ナレバ、義貞敵ノ陣チ窺ヒ、汐時チ考

ヘ、爰チ渡サバ易カラソ。然ラバ諸卒ニ銳氣チ付ケント。太刀チ海中ヘ入レダマント見ヘタリ。

○漂去 引キシホニツレ。 ○漲天 ニウツマキアガルト。 ○慶戰 兵士チ殆ント殺シ

餘黨 高時ノ子邦時。 ○新附 新タニ降 アレトイハム 勘解由次 世俗相傳 ○承久之

役 順徳天皇承久二年。後鳥羽上皇 ○伊賀光季 當時京師ノ守護タリ。上皇、三浦胤

シケル。 ○兵庫 津 捷書 チ奏スル書。 ○任左兵衛督 日本史本傳モ亦タ同シ。注

太輔ニ拜セテ、後チ左兵衛督ト爲ルト。治部太輔ニ又タ左衛門佐ニ作ル。未ダ孰レカ

是ナルチ知ラズ。且チ左兵衛督ト爲ル。今茲ニ在ルト。明年ト。詳カナラズ。且ツ此ニ係ク。 ○上

野守護 太平記ニハ上野播磨二國ノ守 ○充 其役ニ實テ ○義兼遠孫也 緒首ノ義康ノ子

承ク。其七世 ○地望 名望。 ○佐攻 人ノ攻ムルチ。佐ケテ攻シナリ。 ○首蒙龍爵 一遷御

ノ孫ナリ。 ○地望 名望。 ○佐攻 人ノ攻ムルチ。佐ケテ攻シナリ。 ○首蒙龍爵 一遷御

ノ孫ナリ。 ○地望 名望。 ○佐攻 人ノ攻ムルチ。佐ケテ攻シナリ。 ○首蒙龍爵 一遷御

ノ孫ナリ。 ○地望 名望。 ○佐攻 人ノ攻ムルチ。佐ケテ攻シナリ。 ○首蒙龍爵 一遷御

ノ孫ナリ。 ○地望 名望。 ○佐攻 人ノ攻ムルチ。佐ケテ攻シナリ。 ○首蒙龍爵 一遷御



ノ日。第一番ニ。從四位下左兵衛督ニ任シ。昇殿ヲ聽サレ。○遠出云云。本書ニ依レバ。義貞ハ從四位上。高氏ハ從四位下ニ

テ。遠出云云ト言フヲ得ズ。サレバ。義貞ノ左兵衛督ハ。矢張。○著異圖。謀叛ノ心ヲ。○志貴

リ日本史註ニ引ク所ノ一本ノ。治部大輔ノ方。實ナラシカ。○復舊。復ヘルヲ。○觀。天下チ

山門堂ニ居レリ。○將何爲。更ラニ何者ヲ討セ。○彼觀其志。彼其ノ二字。俱ニ尊

ノト。勢カニチ。○攘。取ルヲ謂フ。盜ト少シク異ナリ。○攝受。柔和忍辱ノ貌ヲ現シ。

ヨリ之レチ。○及其力微。強大ナラザル中ニト云フ意。○攝受。慈恵ヲ以テ先キト爲

スチ。○折伏。威持忍怒ノ相ヲ現シ。刑罰ヲ以テ宗ト爲。○戎事。征伐ナドヲ爲ス。イ

巳ムヲ得ズ。○具驕從。僕御儀從等チ全備スルヲ。俗ニ云。○先驅。先鋒ナリ。左傳

原氏。即十三位局名ハ藤子。左近衛中將正四位下公藤ノ。○排陷。オシノケ。オ

兵士。○上變。誣ヒテ謀反ナリト言。○自傍贊之。ソツバヨリ。其事ハ實ナラ

受ケ。囚緊セラル。義。原文。○敢。推シテノ意。○冤枉。無實ノ罪ニ。○憫察。情ヲ察スル義。

○武臣。北條氏チ指ス。○法服。僧衣。○戎衣。甲冑チ云フ。○世譏。僧侶破戒ノツ

コブシナリ。兵器チ持タス。スデチハル意。原文ニハ。無尺鐵之資トアリ。其レチ山陽翁

ガ。漢書ノ李陵傳ノ。士張空拳。一ノ文ニ據リ。作り易ヘタルナリ。出典アリテ。至極面白シ。○購

以萬戶。一モ。伊勢車間莊チ食マシムト云フ。原文ニ據レバ。萬戶ト云フ方。宜シキニ似タリ。

○晝伏夜行。晝ハ人目チ憚リ。匿レ伏シ。夜ハ出デ。潛カニ。○焦。苦ムル意。ユ

トナ。○誅夷之績。北條氏チ誅滅。○望於世。世ニ居リテ富貴功名ナド。○削籍。俗ニ在ル

削リ去。○申生死而普國亂。晉ノ獻公。内嬖驪姫ノ讒チ納レ。太子申生チ殺シ。驪姫ノ

蘇刑而秦世傾。是チ二世皇帝ト爲ス。是ニ於テ諸國兵起リ。秦遂ニ天下チ失フ。史記ニ詳ナリ。

○延古。晉秦等ノ古例。○愾。儆カナラ。○視其守護職。藤原清忠。則村チ謂シ。

地蔵ナリ。アナグヲ。○二階堂谷倉。一宮人。上臈ノ女。○北條時行。高時ノ二字。亂チ信濃

ニ作。○兵部卿。護良親王チ指ス。○乘此時。兵亂ノ混雜ニ。○厥起。アガル意。○斫其膝

親王ノ奪ハントセラレシ。○吭。ノノト。○縮頸嚙其鋒。チチメテ。其刀ノキツサキチ。

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

リシ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

リシ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ

カミダ。○貳刀。カシソヘ。○心。胸ナ。○乃絶。イキノキ。○不眠。目チツツ



折レシ刀ノキツサキ ○収葬之 其シガイナトリアツマテ。埋葬スルヲ云フ。明治三年ニ至チ口中ニフクミ居ル。○收葬之 其シガイナトリアツマテ。埋葬スルヲ云フ。明治三年ニ至

盤ヲ祀レリ。末社ニアリ。義光及ヒ南ノ方ヲ祀ルト。○抗疏 書面ヲ差シ出ス。其文ハ足利氏ノ云フ。余モ弱冠ノ比。一度行キ謁セシユトアリシ。○抗疏 書面ヲ差シ出ス。其文ハ足利氏ノ

ミテ。其後ナニ義貞ノ書ヲ讀ム可シ。然ラ。○罪状 キマテ差出ス。○播遷 播モ亦タ遷ナザレバ。義貞ノ書ノ文意明瞭ナリ難シ。○罪状 キマテ差出ス。○播遷 播モ亦タ遷ナ

セラレシ。○首鼠兩端 鼠ノ穴ヲ出ツル時。首ヲ左右フリテ。様子ヲ伺ヒ。其人無キ方ヘ行クヲ言フ。○首鼠兩端 鼠ノ穴ヲ出ツル時。首ヲ左右フリテ。様子ヲ伺ヒ。其人無キ方ヘ行ク

鼠兩端ト。○觀望 様子ヲナカガ。○自非賊軍失利云云 名越高家敗死シ。賊軍ノ利ヲ謂フナリ。○觀望 様子ヲナカガ。○自非賊軍失利云云 名越高家敗死シ。賊軍ノ利ヲ

非望 分限不相應ナル。征夷大將軍。○害 レチ忌嫉スルナリ。○詭言 リコト。○以五月 八日 上文ノ實元弘三年五月。○彼 魯氏ヲ指ス。○佐攻 源忠顯。赤松則村等ヲ佐ケテ。六波羅

○欺罔 アザムキシニル義。胡騰庵封事中ノ語。サテ東西地ノ相去ル。二百餘里。一ノ子義詮。當時千壽ト稱シ。年。○擅誅親王之卒 初メ魯氏ノ京ニ入ルヤ。親良親王ノ威名ア

僅ニ十三歳。故ニ兒子ト稱ス。○擅誅親王之卒 初メ魯氏ノ京ニ入ルヤ。親良親王ノ威名ア親王ノ候人殿良忠ガ部兵。都下ヲ剽掠スルニ會ス。乃チ二十

餘人ヲ捕ヘ。之レヲ殺ス。誅ノ字失當。宜ク殺ニ作ルベシ。○征夷之任。在兵部卿親王日本史義貞傳ニ云フ。兵革之後。邊遠未靜。故命皇子。開府東國。而魯氏誘恩之餘計。以建勢

立威。覬視將軍位名。其罪四。又成良親王傳ニ云フ。元弘二年冬。詔以成良爲上野太守。足利直義副之。出鎮鎌倉。建武元年。就拜征夷大將軍。是レニ據レバ。義貞ノ疏文ニ言フ皇子

ハ。成良親王ナリ。兵部卿ハ。是時己ニ職ヲ失ヒ。囚人ト爲ラレタリ。サレバ本誓ノ兵部卿ノ字。成良ニ作ル可シ。或ハ日本史ノ如ク。兵部卿親王ノ五字ナ。皇子ノ二字ニ改ムルモ可ナリ。○矯稱 カラ東八箇國管領ト稱セシナリ。○張

威福 賞罰ノ權ヲ擅ニ。○百方譏搆 罪ヲコシラヘル。○自艾 自カラ品行ヲ改メ治ムル義。○修私 賈良ノ魯氏ヲ誅セントセラレシナ。私仇一シノ仇警トシテ。之レニ報ズルヲ謂フ。○牢狴 獄舎。○傳 刃ヲ刺シ。○大逆無道 臣

ニシテ。親王ヲ弑ス。故ニ之レヲ大逆無道ト謂フナリ。○措 打棄テ。○噬臍無及 我が臍ヲカキントスルモ。口ノ其ノチ大逆無道ト謂フナリ。○措 打棄テ。○噬臍無及 我が臍ヲカキントスルモ。口ノ其

間ニ合ハス事ニ比シ言フ。左傳莊公六年ノ。若不早圖。後君噬臍ト云フニ出ツ。○照鑒 邪正ヲシテ。○奏狀 潤邊義博ガ親王ヲ弑逆。○暴 暴ラハレシ義。○陞授 階陞ノ下ニテ。天子

ヲシテ。○節刀 平氏記ノ首論。○尊良 帝ノ第一子ナリ。是時東王。彈正尹タリ。順德帝ノ皇子忠成王ノ子ナリ。○山道 東山道ナリ。○楡 楡ノ義。○中堅 中軍ノ將。堅靱ヲ以テ自カ

○十六騎 日本史粟生顯友傳ニ云フ。顯友。篠塚伊賀守。畑時能。由良具滋ト。共ニ勇名ヲ齊フ藤田四郎左衛門。藤田六郎左衛門。韋堀七郎。川波新左衛門。難波備前守。河越參河守。長濱顯寬。

高山遠江守。園田四郎左衛門。青木五郎左衛門。青木七郎左衛門。山上六郎左衛門ト。十六騎ト稱

獨學 日本外史 卷之六

○十六騎 日本史粟生顯友傳ニ云フ。顯友。篠塚伊賀守。畑時能。由良具滋ト。共ニ勇名ヲ齊フ藤田四郎左衛門。藤田六郎左衛門。韋堀七郎。川波新左衛門。難波備前守。河越參河守。長濱顯寬。

高山遠江守。園田四郎左衛門。青木五郎左衛門。青木七郎左衛門。山上六郎左衛門ト。十六騎ト稱

獨學 日本外史 卷之六

○十六騎 日本史粟生顯友傳ニ云フ。顯友。篠塚伊賀守。畑時能。由良具滋ト。共ニ勇名ヲ齊フ藤田四郎左衛門。藤田六郎左衛門。韋堀七郎。川波新左衛門。難波備前守。河越參河守。長濱顯寬。

高山遠江守。園田四郎左衛門。青木五郎左衛門。青木七郎左衛門。山上六郎左衛門ト。十六騎ト稱

獨學 日本外史 卷之六







ストアリ。注ニ云フ。本文出ス所十七人ナリ。而シテ十六騎ト稱ス。未タ其由ヲ審カ  
 ニセズト。是レニ據レバ。畑。豆。由良ノ三人ハ。十六騎中ノ人ニ非ズ。本書謬ル矣。○精悍  
 レテツヨイ。川越版騎 ○穀擊 弓ヲヒキ。 ○微號 朔ノ殊ニ微號ニ注ニ。微號ハ旌旗ノ屬ナリ。○正  
 悍ニ作ル。是ナラズ。 ○峻絶 峻ハシキテ如ク。 ○攢鏃 矢サキチアツク。 ○盛  
 ツメ。 ○戰且卻 戰ヒツ、引キ退キテ。官軍チオヒキヨセル心持。或ハ官軍ガ  
 ○盛兵 兵勢チ盛大。 ○手越河 駿。 ○曠騎 騎射隊。 ○間道 人ノ知ラズ。 ○薄  
 ○擾走 亂レ走。 ○窘 急迫ノ義。苦シミサ。 ○遲 待ナ。 ○箱根 伊豆相模  
 ○竹下 駿。 ○沮靡 ナヒク。 ○手兵 手下ノ兵士。 ○格闘 フセギ。 ○撤號 ナ除キ棄テ。  
 敵兵ニ混。 ○被髮 テ。我が顔ヲ知レヌ様マギラセルヲ。 ○伴呼 賊兵ニシテ。賊兵チ呼ビ  
 反ヘ。 ○目 スル義。 ○傳呼 人ヨリ人ト。相傳ヘ。 ○儼在 ハリテアルヲ。 ○默然 ツマ  
 言ヲ發。 ○坭 メル義。 ○山 箱根。 ○充物 伊豆府。竹下ノ方ヨリ。義貞ノ軍後ニ廻。 ○  
 一騎當千 武勇ノ甚キチ云フ。李陵ガ蘇武ニ答フ。 ○得 二千人。本傳ニハ。七千。 ○天龍

河江 ○浮橋 ウキハシ。民屋チ變ナ。 ○組 筏ノ如ク。木材チツヅマリテ。浮  
 ○重鎧没水 オモキ具足チ着タルマ。 ○相挈而跳 二人ガ手チ引キ合フ。 ○我且爲之  
 敗軍ノ我レテサヘモ。能ク之ヲ爲リタリノ意。 ○矢矧河 三。 ○洲股 美。 ○近畿 五畿内ノ近方。 ○部署 手配  
 一。 ○大渡 山城ノ淀。 ○僧文觀 醍醐ノ座主。義助傳ニハ。宇都宮。 ○山崎 山。 ○備 應援  
 游軍ニシテ。孰レニテモ。味方ノ危キヲ見テ。應援スル手當テトス。 ○行義擊 丹後賊兵于峯堂走之。峯堂ハ京城ノ西  
 ハ事實ノ大體ナリ。日本史本紀ニ太平記チ引キシニ。權大納言藤原師基峯堂チ守リシニ。賊將久  
 下時重等。峯堂チ攻メテ。師基敗走シ。時重等進ンテ老阪ニ據レリ。是ニ於テ兵部大輔江田行義ニ  
 命シテ。之レヲ討シ。遂ニ擊テ時重等チ走ラセシナリ。サレバ峯堂ノ敗ハ。官軍ニシテ。賊軍ニ非  
 ズ。且ツ賊兵ハ丹波但馬丹後ノ者共ニシテ。獨リ丹後ト限リ書スルチ得ズ。因テ敗ンテ行義擊ニ賊  
 將久下時重于坂老走之ニ作ル可シ。老阪ハ京城ノ西ニ在リ。 ○截 桁不殊 ハシゲダチ。半分餘リ。歸ニテキリ。幾分チノ  
 置ク。 ○柵 ヒナリ。 ○丹後之兵 原文ニハ。丹波路ノ寄手トアリ。老阪ハ丹波ニ通行スル街  
 京北之兵トカ。北道之兵トカ。何ニカ別ニ書キ様モアルナラン。 ○造 筏 民家チ毀ナテ。イ。 ○紛擾 サワグ。 ○隸 士 手  
 ノ兵。 ○尾之 官軍ノアトチツ。 ○不告而返 義貞ニ告グズシテ。ア。 ○氏 泰 日本史公綱  
 傳ニ。泰氏ニ



作 ○識義顯 賊ハ見覺ヘ  
○淋瀝 血ノボナクシ  
○扈從 後ナコ  
○園城寺 津大

城 六角氏頼ノ親  
○足重 アシガクマヒレ  
○唐崎 近  
○叢槍 ヤリサキチ  
○賜

門扇倒之 足ヲ舉ゲテ  
○在乘勢 ムガ利益ナリトノ意  
○魄奪氣沮

シヒガウバヒトヲレ  
○躡ケル付  
○連進 キ進ム  
○渠魁 大將チ  
○嶮 道路ノ險

○夷 平地ナ  
○伏尸狼籍 リミダセルシガイガト  
○華頂山 即チ東山ナリ  
○徒戰

ムダニダ  
○爲伍 組合ヒチ  
○撤號 新田氏ノシルシ  
○混入 コムレ  
○部二千騎

部ハ一部ト爲シ分ケル  
○接戰 手詰ム  
○揚旗 初メマキ居ル官  
○自相擊刺 賊

賊トガ撃チ殺シ刺シ  
○短兵急接 飛ビ道具チ用ヒス  
○刀劍チ  
○迫蹙 セツツマラレ

○桂河 京城  
○鹵掠 ハギトリスル  
○賊軍 細川  
○失戰期者 箱根ノ戰期ニ後

王ノ軍ナリ  
○旆 旗ノ足ノ垂ル  
○中黒 新田氏  
○崩駭

軍者數日トアルニ接ス  
○旆 旗ノ足ノ垂ル  
○中黒 新田氏  
○崩駭

クツレ  
○乃退 正成ノ謀ニテ泣男チ  
○間日 中一日チ隔  
○狼狽 ヘル

旅 兵隊チ整ヘテ歸  
○重畫 九ニ二ツ引キ  
○墨抹其中 二ツ引キノ中チ墨ニ

濃可辨 染メ込ミノ處ハユニク  
○保聚 西上  
○山陽 播

美作 備前 備中 備後 安  
○山陰 丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆  
○會 有疾 病氣ニ取

書寫山 鹿子河 同上 日本史ニ  
○斑鳩 白旗 俱ニ  
○比朝 旨至 往返十

經テ朝廷ノ御沙汰  
○三石 前  
○舟坂 同  
○銜枚 旗ニ口ニクハヘテ

ヲ結ビ言語ノ出來ヌ  
○縛馬舌 馬ノ舌チクハリ嘶クコ  
○菩提城 美  
○福山城 備

○未修 出來アガラス  
○潰圍 賊ノ圍ミチツ  
○扞拒 拒グ  
○兵庫 津

兵庫ハ海峽チ爲シ海陸ノ咽喉ナル故ヘ合  
○將帥先濟 大將分ダケ敵ノ來ヌ間ニ  
○創

病者 手負ヒ  
○願 過去ノ事チフリカヘツ  
○復命 君命チ終ヘテ反ヘリシト復ヘシ奉

ナリ  
○進退從宜 進ム可クシテ進ム退ク可クシテ退

武多矣 武勇ノ功ハ澤  
○足恤哉 氣ニカケルニハ

○色釋 不平ノ顔色ノ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ

○蔽海 一ウ



義。○須磨津 ○彌天 天末ニマテ。ツ  
ヲナリワタル。○挾弓 弓ヲコツキニ。  
○津妓 ノナツキ

○高會ノ意。○佐酒 サケノサカナチ  
マイラセシノ意。○注箭 弓ニ矢ヲツ  
ガフヲ云フ。○鶚 一名ハ魚鷹。水上ニ

廻翔シ。魚ヲ扇ギ出サ。○攫 手ニテツ  
カム。○隻翼 ト欲シ。ハガイノミチ射テ落シタルナリ。

○墮敵舟中 魯氏ノ船樓ニオチ。其時魚ハ  
酒ヲ握中ニ在リシト云フ。○謹呼 善クモ射タリト。  
ホメサヤスナリ。○投刺 名札ヲ差上

射返ヘス者。佐佐木筑前守顯信。○不達岸 弓勢ガ弱キ故ヘ。矢ガ岸  
ニマテトカスナリ。○齊笑 射藝ノ拙キヲ笑  
ヒ嘲ケリシナリ。○過而

東 和田崎ヲ打過ギテ。東ヘ行ク。元來上文ノ自居ニ其後ト云フ句ノ處ヘ。和田崎ニ拒グトカ。陣  
ノ大瑕瑾ナリ。○西宮津 ○兵庫無人 上文ニ和田崎ノ名ヲ記入シ。是處ノ兵庫ヲ和田崎

リ。楠氏ノ記ハ。○戰没 濠川ニ打。○躡 穴トナ付。○支賊 枝葉ノ  
賊徒。○渠魁 其カシヲチ  
指ス。○生田森 津。○徒 カナダチ  
ニナル。○丘 小高キオカ。求馬

○二刀ノ二寶刀。○小山田高家 異本太平記ニハ。○當斬 斬罪ニ處分セラ  
ル。管ナリシ。○鮮

○無粒粟 一ヒトツブノ。○吾罪也 將士ニ兵糧ノ手當テノ行キ届カヌハ。大將ノ不  
ル義。○士不可亡 武道ニ注意セル。リツハナル士。○債田主 麥チ取ラシ田ノ持  
主ニ。辨債金チヤル。○感愧

其恩ニ感シ。其暴行ニ愧ツル。○東坂 近江ノ阪本。○西坂 京都地方ヨリ登  
ル。雲母阪路ナリ。○二卿 參議源忠顯。少

○紀清兩黨 是レ宇都宮公綱ノ兵ナリ。是レヨリ先キ官軍大渡ノ敗ニ。公綱ハ大友氏泰ト。俱  
原ニ追撃セシコトアリ。其後チ義貞ニ從ヒ。白旗城ヲ攻メ。淺河ニ戰ヒ。軍敗レテ京ニ還リ。當時

陣ニ屬シテ敵山ニ在リシナリ。カレバ是時モ義貞ト西阪ヲ援ヒシナリ。本營ニハ。公綱叛去以來。  
再ヒ官軍ニ降リシ事チ。一句モ記入セズ。是處ニ與ニ宇都宮公綱ト書ク可キチ。紀清兩黨ト書キ。

下文ニ至リ。突然宇都宮公綱本間資氏等。從ニ乘興ニ入ニ京師ト書セリ。行文ニ深絡無シ。失禮殊ニ  
甚シ。且ツ公綱ノ手下外ニ。紀清兩黨ノアルヤニ。○擠 トス義。○大獄 敵山中。○皆被

命 或ハ甲。或ハ冑ト。互ニ其。○貫甲穿冑 資氏ハ甲ヲ射スキ。忠重ハ冑ヲ射スキ。  
中ツル所チ指シ示ス義。○貫甲穿冑 資氏ハ甲ヲ射スキ。忠重ハ冑ヲ射スキ。

ナリ。○植畫月扇 月チ畫キシ赤キ扇チ。竹筴。○相誠 互ニ注意。○勿射月 敵スル  
ノ意チ表。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ

スルナリ。○解籠 籠ハエヒヲト訓ス。箭筒ナリ。太平記ニハ。別ニ百矢ノ。○鼓弦 弓ノツ



○試甲堅脆 一モロキカチ。タメス義。○光澄 本誓同シ。公綱傳ニハ。今木

隆賢ト 啓スル後。○塵之 公綱傳ニ據レバ。公綱ノ部下。之レニ四明山下。○撞鐘

相報 東西兩阪ニテ。鐘ヲツキ。○附山僧云云 師重山徒ノ官軍ニ與ニスルヲ疾マ。戰克

テ之レヲ斬リ。唐崎ニ梟首シタリ。○東寺 京師ノ西南隅。○藤原師基 前權大納言ナリ。○内野 磧

俱ニ京師。義貞傳ニハ。磧ヲ河原ニ作ル。從フ可シ。蓋シ軍ヲ分チ二ツト爲シ。西ハ内野ヨリシ。東

ハ河原ヨリシ。之レヲ火攻スルノ策ナリ。師基ハ河原ヨリ入り。義貞ハ内野ヨリ進ミタルナリシ。

○賜邑云云 詔シ延曆寺水々近江國衙ヲ領シ。封戸ヲ七社ニ加。○獎激 ゲマス。○各請

將帥 權中納言藤原隆資ヲ男山ニ遣ハシ。川尻路ヲ絶テ。近衛中將源定平ヲ宇治ニ遣ハシ。大和

路ヲ絶テ。額田爲綱ニ命シ。大覺寺宮ヲ奉シ。長阪ニ之キ。丹波路ヲ絶ツ。延曆寺ノ僧兵

ハ。鞍馬ヲ守リ。愛智信樂人ハ。勢多ヲ扼ス。長。○粥 賣ナ。○四國兵 阿波淡路ノ兵ナリ。淡

阪ハ即チ大江阪。愛智信樂ハ。俱ニ近江ノ邑名。○天也 天命ナリ。○逆

四國ノ 阿彌陀峯ノ東。○紅裳 マナリ。○笠識 シルシ。○天也 天命ナリ。○逆

字失當。○阿彌陀峯ノ東。○紅裳 マナリ。○笠識 シルシ。○天也 天命ナリ。○逆

睹 事前ニ在リテ。アラカシ。○北白河ノ東。○以爲ニ戰合也 是日巳ノ刻ニ京師ニ入り。

東ナリシ故ヘニ。民家ノ失火ヲ。○失期不至 興福寺ノ兵ハ。約ニ負。○皇統之爭 南朝ハ

見テ。戰ノ始リシト誤リシナリ。○單騎 一人ト一人

ノ系統。北朝ハ後深草帝ノ系統ナリ。其ノ故ヘ皇統ノ爭ト。山陽翁ハ書キシナラン。サレド是戰ハ

延元元年。七月廿三日ナリ。尊氏ノ豐仁親王ヲ立テ。帝位ヲ僭セシハ。八月十五日ナリ。然レバ是

時ニ當ツテハ。未ダ皇統ノ爭ヒト言フ筈ナシ。蓋シ杜撰ナラン。義貞傳ニ

ハ。天下向匈。以三吾兩人トアリテ。皇統之爭ト云フ語無シ。大ニ是ナリ。○單騎 一人ト一人

決戰ス。○決鬪決雌雄 決鬪トハ勝負ヲ決スルヲカヒナリ。然ルニ又決雌雄ト云ヒテ

爲ス。○帳中 本陣トセル。○諸公卿 藤原隆。○五條師 四方ヨリ。○西ニ其

馬首 馬ノ首ヲ西ニ向ケ。即チ賊ノ方ヘ向ケテ。其。○擁 保護。○山門 延曆寺門派ノ總稱

山寺ノ門マテ歸リタリト言フ。○絶我糧食 食ノ字。道ノ字ニ作ルチ是ト爲ス。是時官軍糧チ

ニ似タリ。稍ヤ糧當チ欠グ。○絶我糧食 食ノ字。道ノ字ニ作ルチ是ト爲ス。是時官軍糧チ

○致款 降參ノ情實ヲ。○諸將 大館氏明。江田行義。字。○車駕 乘輿ト云フニ同シ。

延見 我ガ本陣ヘ招キ。○得報不信 實世ノ知ラセテ得。○無故 別ニ行ク可キ

堂 根本中堂トテ。藥師堂ヲ稱ス。文珠堂ト。經藏堂。○詞 模倣チケウ。○駕 車ニ馬チク。リ附

比放ニ登リシトアリ。當時ト少シハ變換セシナル可ケレト。其峻坂チ。進モ馬車ナドノ上下ス

可キニ非ルニ似タリ。此等ノ處ハ宜シク大概ニ説クベシ。御出立ノ御用意ノ出來タルユトナリ。

乘輿ハ必ラズ人肩チ。○揖進 両手ヲ胸ニ著クルチ云フ。○轍 車ノナガ

以テ昇ク者ナラン。○揖進 両手ヲ胸ニ著クルチ云フ。○轍 車ノナガ

○道路之説 道行



ノ。トリトメ。○不審。由チ審ラカニセズト旨ヒテ。下文ノ疑問ヲ説キ出スナリ。○聖眷。着目チカケ願ミル意。天子ニ係ル。○庇。オホヒタ。○奉辭。大塔宮ノ詔辭ヲ奉セシチ指ス。勅トカ書キシ。○元兇。悪人ノ渠魁。即。旬日。十日ヲ旬ト謂フ。其實十五日目ニ。鎌倉滅亡方穩當ナラン。○宗黨。宗族郎黨ナリ。頼朝ニ宗族ニ作ルハ難ル。今河越版ニ從フ。太平記ニ。郎黨八千餘人。一○熾。盛ナ。○戰之罪。戦ヒノシカマ。○西駕之轅。故。西駕ノ轅ト云フ。○五十餘人。是時現在ノ者五十。○懽然。失意ノ貌。又。○色愠。顔色ニ怒チ。○前。御座近カク。○挺。出ヅル意。○支傾扶廢。カダブキタルチ。サ、ヘ止メ。ス。○湊。變ナ。○天運未會。天ノ運命ガ未ダ。○權。一時ノ便宜。○宜謀及。相談ニ及ブ可キ。○漏泄。秘密ノ他ニ。○臨期。出立ノ期限ニ。○有所省。氣ノ付キシ。○多歸順者。軍。二歸スルチ。歸順ト云フ。氣比神官。○所遣將士。河島維頼。越前。○經略。治ム。○北陸。若狹。越前。加賀。能登。越中。越後。佐渡。凡ソ七國。○恢復。オホヒニ。○恐鄉得賊名。天子ガ足利氏ノ方ヘ幸中。越後。佐渡。凡ソ七國。○恢復。オホヒニ。○恐鄉得賊名。天子ガ足利氏ノ方ヘ幸

スル新田氏ハ。或ハ賊名チ得ルノ恐レアリ。○太子。第六子諱。○軍國之事。軍事。○忍恥。恥辱チ忍ンデ。○努力。骨チ折リハ。○日吉祠。比叡山ノ東坂ニ在リ。大物主神。國常立神。八幡大神。國。○無恙。無事ナル。○即不得然。オホヒニ願フ通り。○東宮。太子。○尊長。中務卿親王。○志。北條高時ノ忌ム所ト。○兵庫雲母坂之役。和田崎ニテ。鷲チ射落シ。賊チ辱カシメ。雲母坂。○太子ト爲ルチ得ズ。○土居得能氏。是時死セシ者ハ。得能通言ト。其族通繩ト。○鹽津。越前。○轉。路チ易。○木芽嶺。越前。日本史ニ。○燎弓箭云云。雪中ニテ箭ノ火ト人トニテ。煖氣チ取ルナリ。○千葉氏。死シタリ。本誓土居氏チ是處ニ記入スルハ。謬ナリ。補記ニハ。謬ラズ。日本史モ。義貞傳ニハ。河野通治得能通言ト記セリ。通治通言傳ト相矛盾ス。亦々謬甚シ。○千葉氏。○其衆。五百。○敦賀。越前。○金崎。全。○仙山上。○厚待之。手厚クシテ。○詔旨。醍醐帝ノミユト。○閉關自守。既ニ仙山ニ至リテ。厚待チ受ケシニ。又々關チ閉ヅト云ヒテ。來仙山ニ至ラントセシチ。仙山ノ城主瓜生保ガ。出テ。越前ノ歸並ト云フ地ニ迎ヘ。厚待シ。既ニシテ叛ヒテ。城チ閉チ内レサリシナリ。上文ノ厚待上ニ。出迎ニ歸並。四字チ加ヘ。始テ通ズルナラ。○愚魯。性質オロカニシテ。才。○曉是非。賊ノ偽詔チ傳ヘシモノニシテ。新田氏ハ。獨學。田本ハ。史講義。卷之六。



○擁戴 擁護推戴ノ義。○一公子 ソカエ。○無他 眞實ノ申出デニテ。他ノ惡意ノ無キヲ。○淨慶父 法眼今莊久經。

○去就與父異 父ハ官軍ニ就キシモ。己ハ去ツテ賊ニ降レリ。○藉口 言ヒソクノ事ヲ云フニシテ。義ノ大將ハ通ガ言ヒ立ツ。

○齊戰死耳 一行皆俱ニ戰ヒ。打死ニスルマデノ意。○身係云 身存スレバ。天下重ク。身亡スレバ。天下輕クナリ。大ヒニ關係ガアル。

○致命 命ヲシメテ。○感歎 其義氣ニ感服シ。○當罪 敵ヲ見逃ガシ。罪ヲ引キ受ケル意。○跪 路傍ニヒザマツ。伏キ平伏スル。

○撫勞 丁奉ニ挨拶スル意。佩アル所ノ金裝刀ヲ解キ與ヘ。已レ若シ戰死スルモ。同族中ニ粟ヲ與ス者アリシ際。此ノ刀ヲ以テ。其功ノ證ト爲サント言。

○難之 難シクモツカシキト思ヒ。○疑兵 兵ヲシテ見セ。敵ヲ疑フセルモノ。○與一 太平記ニ五。傷右手云云。右手ノ指ヲイタメ。刀ヲ執ル能ハサルヨリシ。

○副刀 副ノ刀。○挺エツ 手ハ水ヲカク。○駭 顧リカヘリミル。○慰籍 意ヲナゲサメ。○泗 水ノ名。○結詔書於誓 誓手ハ水ヲカク。○重畫 丸ニツ引キ。○中黒 新田氏ノ紋ト云フ。○三鱗 氏ノ紋ト云フ。○欵 口ノ口。○同之 同意ス。○以

符出入 時ニ國城日久シク。將士糧マ。ニ還ル者多キヲ以テ。關ヲ諸路ニ設ケ。切手ヲ以テ。人ヲ出入セシメ居タリ。○菽 豆ノ名。○保ノ本

傳ニハ。馬劔ト記シタリ。即チカイバナリ。是ニ似タリ。○削符 杉板ニ人數ヲ書シテ。師泰ノ印ヲ押シタル者ナリ。サテ其

知ル可シ。○出關 深山寺ノ關ナリ。○擧旗 飽和祠前ニ於テ。○扼守 マモル。○聚落 人住居スル所。○湯尾 越前ノ宿驛中ニ入り込ミ宿シタリ。是夜ハ特ニ大雪ナリシト云。○輕

兵 身ガルニイデ。○國府 越前ノ新善光寺城ニ擊テ破リシナリ。○旁近 近旁ノ地。○不豫色 孟子ニ出ヅル語。○郎君 ナノ義。○政貞 義治傳ニハ。小野。○隔牆 二間ク。○心

腸 概ノ氣性。○遺兵 二萬。今川頼貞ヲ以テ將ト爲ス。○挺身 身ヲ衆中ヨリヌ。○三弟 源琳。○式部君 時ニ義治。從五位上式部大輔タリ。○不力 骨ヲ折テ働カス意。○云何 何ニト申サフヤ。實ニ申シツ

○夾攻 金崎城ト山ト。○逗撓 逗留シテ。屈シテ手ヲ出シノ出來ヌ意。○候 竊カニ其模樣ヲ見ケル。○外城 自害ス。○因問云 宮闈ニ生長セラレ。武事ニ習ハセラレ。○樹左脇 比ダリノ。ツキヤ

○劃 一ノ字ナリニ。カキサバク義。○血滑 血ガ刀ノ柄ニ。○握以衣袖 衣服ノツデ



チマキテ之レ ○齊晴 氏治ノ子。大宮司大郎ナリ。 ○齊力 全身ノ力ヲ謂フ。 ○楫櫓 俱

舟ヲ行ル具。 ○施絙于舟 舟ニツナフ。 ○蕪木浦 越前。 ○事畢 城ヲ維持スル事モ。是レマ

カザロナリ。 ○疫癘 ハル義。 ○觀 遇ヒ見。 ○四人 土岐頼勝。矢嶋宗崇ト合セ四人ナリ。上文ニ其姓名

ハ。土岐矢嶋ノ二人ノ事ハ。一度モ記セズシテ。等四人ト。 ○匿岩穴 免焉 海岸ノイハヤノ中

書スルハ。失體ニ似タリ。四人ノ字ヲ削ルチ是ト爲ス。 ○給 賊チアガムキダマス。蓋シ義

ト云フ。蓋シ義貞ノ未ダ死セザルチ以テ。再舉チ圖。 ○給 貞兄弟ヲ保護スルノ意ナリ。 ○火

ヲシテ。蓋シ義貞ノ未ダ死セザルチ以テ。再舉チ圖。 ○給 貞兄弟ヲ保護スルノ意ナリ。 ○火

之。死尸ヲ火ニテ燒。 ○押送 押ハ檻ナリ。牢ニシニテ。送ルチ謂フ。管子中匡。 ○不問 義

貞。以テ死セリ。 ○雪耻 金崎敗死ノハガチ。 ○行宮 吉野ニ在リ。 ○聲援 之レヲ援フト。評

賊勢ヲ殺ギ。味方ノ氣ヲ引キ立ツルノ策ナリ。 ○義故 義理アル。フル。 ○自京師 氏明ハ。上文ニ帝ニ從ヒ。京師

同シ。サレド氏明ハ京師ヨリ逃レテ。吉野ノ行宮ニ至リ。伊豫守護ト爲リテ赴任セシニテ。直キニ

伊豫ニ逃カレシニ非ズ。是處叙事誤レリ。下文ハ誤ラズ。是處ハ太平記十九卷ニ據リ。下文ハ二十

二卷ニ據リシナリ。蓋シ。 ○金谷經氏逃播磨 經氏ハ。京師ニ入リシ事ナシ。然レニ逃ルト

幸スルニ及ビ。經氏兵ヲ播磨ニ起シ。吉野高田ノ諸族ヲ率ヒ。丹生ニ據リ。北路ヲ塞ギ。以テ官軍ニ應ストアリ。 ○德壽 義興ノ幼名。 ○在上野 德壽丸

ノ異母弟ナリ。母ノ賤キチ以テ。義貞ノ愛スル所ト爲ラズ。幼ニシテ上野ニ居レリ。 ○糾 督ナリ。アツメテ。 ○大聖寺城 加賀。 ○遣

義助 是レハ。越前平泉寺ノ僧徒ガ。三降ニ據リテ。義貞ニ應シ。將領ヲ置カント請ヒシニ因リ。

百餘騎ニ云々ト。一時ノ事ナリ。 ○及細谷云云築三岩 三岩ハ長崎。河合。川口ナリ。是レハ加

越前ニ入リ三岩ヲ築キシトニテ。義助ト更ニ關係無シ。本書誤テ義助ヲ挿入セシ故ヘ。事實混亂セリ。 ○益築城云云 上文ノ三岩ヲ義助ノ事ト

リ。サレド三岩ハ秀國ノ事ニテ。義助ノ事ニ關セズ。義助ハ只マ。 ○相地 立ル後。元來相地ハ周

公ノ洛ヲ相セシヲ出典トシ。城ヲ築カザル以前ニ。其築ク可キ地ヲ見立ツルナリ。是。 ○鯖江 越

處ハ已ニ築キ居ル城池ヲ巡視セシ者ニテ。相地ノ字ハ。少シク失當ナルニ似タリ。 ○鮪江 前

○奄至 不意ニ攻。 ○足羽 越前。 ○三十餘城 太平記ニハ。七。 ○給我至此 以テ太子ノ義

貞ニ信シ。柚山ヲ緩ニセシガ爲メ。 ○鳩 栗飯原氏光ニ命ジテ。毒藥ヲ進メテ。之チ

ニ。今日ノ大事ニ至レリト爲セルナリ。 ○敗死和泉 泉ト書スルハ。阿部野ニ敗死セシナリ。和

○貞滿 時ニ美濃守タリ。 ○敗死和泉 泉ト書スルハ。阿部野ニ敗死セシナリ。和

山城 ○手書 御親筆。 ○普門富樫二氏 普門藏人俊清。富樫介某。 ○詔書適至 上ノ手

ガ。テフドソニ。 ○敦賀 前越。 ○平泉寺。藤島。河合。越前。 ○爲吉夢 龍能ク雲雨ニ起

ヘ到着シタ。 ○敦賀 前越。 ○平泉寺。藤島。河合。越前。 ○爲吉夢 龍能ク雲雨ニ起







更ラニ其手帳 ○取裁於南山 裁ハ裁斷ナリ。サバキヲ言フ。直キ  
キニ及バヌ。 ○服微勞 功  
勞ヲ。 ○得邑於北國 朝臣ノ邑ハ。地方官ノ自由ニ  
ムル義。 ○將權 義助ガ大將  
大將ノ命令ヲ。 ○受其敗 敗績ヲ其一身ニ  
聽カヌヲ云フ。 ○秦穆勞 孟明 秦ノ穆公。其臣孟明視ニ命  
ノヲ殺ニ敗リ。孟明ヲ虜ニス。後チ放チ秦ニ歸ヘス。秦伯以テ巳ノ罪ト爲シ。素服シテ。  
郊外ニ迎ヘ。之ヲ勞シ。其官秩ヲ復シ。再ビ政ヲ爲サシメタリ。左傳文公三年ニ詳カナリ。 ○失  
○除 比喩ガ間違  
ヒシヲ云フ。 ○興國 後村上帝  
擬義助 義助チ其大將ニ差  
向ケント度カル義。 ○應官軍 兵チ

ノ小豆島ニ擧ゲ。賊 ○詣行宮 是レ太平記ニ二十二卷ノ文ニ據ルナリ。山陽翁ハ太平記ニ  
ノ漕路ヲ絶チタリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
後 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○追躡 ヒツケル。 ○今治 伊 隱岐 是レハ隱岐島トテ伊豫ノ羣島中ノ一島ナリ。今猶チ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。  
○追躡 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。

○追躡 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。

○追躡 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。

○追躡 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。

○追躡 後チ其終フル  
所チ知ラズ。 ○鐵挺 ウナリ。 ○親兵 十六騎ノ一人ナリ。 ○披靡 左右ヘヒラ  
○拔而據之 經氏傳ニ太平記チ引キ。新羅チ攻メ。 ○世田城 伊 戰 千町原 不仕合セ  
秘 喪 敵ニ喪チ知ラサヌ爲メ。 ○賊已知之 賊將細川 河江城 伊 數奇 ナル義。

四五尋バカリ ○軒睡 ニテ睡ル。 ○皇太后 即チ後醍醐帝ノ寵姫藤原氏 興國中、尊シテ  
ナリシト云フ。 ○伊賀局 父ノ官名ニ取リシナリ。父ノ名ハ史乘ニ傳ハラズ。  
事ナシ。是レ本書ノ杜撰ナリ。 ○招新田義治於上野 柳山落城ノ後チ。義  
ハ稱當十ヲザルユトナレドモ。已ニ天下後世  
ニ傳承セシユト故ヘ。今更ラ改メヤウ無シ。 ○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏

○不克 其事ノ成就セザルチ  
謂フ。不レ成ノ意ナリ。 ○從兄 年長ノイト  
○正平 後村上帝  
○偽請降 尊氏



花才散不可シト。○牙旗 中軍ノ大言ヒシト云フ。○石濱 武。○其兵 十餘人。○濟達 前岸。文

ニ河ヲ記セズシテ。突然濟リ云云ト云フ。通セザルニ似タリ。○昏黑 日ノ暮レテ。○切齒

ハチクヒシナル。○北走 北方ニ向ツテ走ルナリ。或ハニゲ。○屬路 路旁ニ引キ。○揖シ

殘念ガル態ナリ。○苦戰 骨折リシ難儀。○鋸ノユ。○武藏守 義宗ヲ。○寡廉 シテ。ツ

カレタ。○遇ニ基氏 基氏は時録。○關戸 寺戸ニ作ル。○西行 可シ。是レ上文ノ内應ヲ約

ナリ。○悉甲 皆ノ義。○海濱 由比ガ濱ナリト云フ。義興傳ニハ。神奈河ニ。○左轡 左

ノ方ノ馬。○委地 地ニ垂レ。○俯結レ之 手取り。右ノ手綱トツナギ合ハス。○頂 冑ノ

云フナリ。譯字稍ヤ妥。○與義治合 義治是時賊將南宗權ト戰ヒ。○碓氷嶺 上野。義興義

嶺ニ作ル。舊名ナリ。○氣銳 ツキヤウノ。○燭火 オキヒナリ。小ナルモ。○勁敵 ツキキ

上野信濃ノ國界ナリ。○卸鞍 ヨリオロス。○上杉氏 志願。○諫止 且ラク

シ。以テ再舉ヲ圖ルヲス、メシナリ。○走信濃 義興傳ニハ。走ツテ國府津山ニ入り。河村

ニ作ル。相模ニ在リ。河村城。○猶在行宮 是時ハ男山ニ幸シ。法印定清ノ家ニ御ス。猶ト云ハ

モ相模ナリ。信濃ニ非ズ。○桃井 常直。○吉良 貞満。○石堂 房義。○小山 五郎。○宇都宮 三

龍ヲ受。○則祐敗 興長則祐ニ傳トモ。敗。○拘於京師 則祐ガ拘シタルナリ。本誓ノ如

クダリ。○本莊某 平太。平三。○奪之 丹波高山寺ノ城ニ據リ。但馬丹波ヲ畧定シ。進ミ

メテ既而則祐復叛。拘ニ興長於京。○後十五年 則祐ノ歸順ハ。正平六年。再叛ハ七

師ト書キメレバ。通ズルナラン。○氏範 弟ナリ。○戰山ニ戰フ。○奉興長爲主 興長傳ニ據レバ。正平十五年。賊大舉入寇シ。興長奏

至ル。○戰山ニ戰フ。○氏範 弟ナリ。○後十五年 則祐ノ歸順ハ。正平六年。再叛ハ七

十五年ニ及バズ。○奉興長爲主 興長傳ニ據レバ。正平十五年。賊大舉入寇シ。興長奏

ニ配スルニ。赤松氏範。及ヒ吉野十八郷ノ兵ヲ以テ。○己而叛 本誓ニテハ。氏範ガ叛キシ如

クシナリ。氏範ガ奉シタルニ非ズ。文ノ主客ヲ失ス。○不可蹤跡 何レノ地ニ居ルヤ。越後半

ヲ利セント欲シ。叛シテ義詮ニ應ゼシナリ。叙事拙劣ナルヲ覺フ。○俱匿越後 義宗傳ニ據

國ヲ擊取リ。城ヲ築キ居ル。○連署 連名シテ。印形。○不可蹤跡 何レノ地ニ居ルヤ。越後半

トアリ。匿ノ字失當ナラン。○故將 將校。○爲獲罪亡來 罪ヲ得テ邑ヲ奪ハレ。亡ゲ。○啗 餌ヲ以テ。人ニ。○美

姫 ウツクシキ女子。名ハ少將。○狎近ク。近ツク義。○誑 詐ハリマ。○親信 信用セシ。近



○矢口渡 武藏在 原郡 ○納 武藏在 原郡 ○揪 手ニテサシアゲル。蓋シ水 ○豎子 小ツツバト云 義貞尙書亮

ナリ ○世良田 右馬 助 ○由良 兵庫助。新左 ○大嶋 周防 守 ○土肥 三郎左 衛門 ○市川 五 郎

別ニ南瀬口六郎アリ。土肥市川ト共ニ關ヒ死ス。三 ○脚刀 刀チロニク ○赴邑 義興ノ殘 字姓ニテ唱ヘ恩シキ故ニ。省キシニヤ。怪ム可シ。

○墮馬疾作死 義興傳記スル所。此ノ如シ。 ○立祠 新田大明神ト號ス。方今東 ○猶幼 時ニ年 至ル。宛轉翠綠。水ニ溺ル狀チ爲シ。七日

ニシテ死ス。義興傳記スル所。此ノ如シ。 ○義宗死之 是時義宗未ダ死セズ。後 ○建徳 長慶帝 ○不知 義宗傳ニ。憲

所終 後チ義宗ト俱ニ伊豫ニ走り。卒ス。温泉郡日浦村ニ。其墓今現存セリ。土人 ○切和 和陸スル。 ○小山城 野 ○爲新田氏 新田氏ノ爲メニ。兵チ擧ゲシチ云 ○男體

城野 下 ○白河 陸奥。今 ○丙子 後小松天皇應 永三年ナリ。 ○癸未 應永 十年。 ○庚寅 應永十 七年。 ○糾合

○再周 庚寅 後奈良天皇享祿三年ナリ。其 ○大興 即チ徳川 氏チ指ス。 ○末編 徳川氏ノ記ニ 外史ハ終

ルナリ。故ニ 末編ト謂フ

○手記 手帳ノ 筆記 ○武門法戒 武家ノ法 度訓戒 ○淺近 アサハカナル事 ○聽運於天 運命チ

カセ ○成於元弘 元弘三年ニ。鎌倉チ 滅シ。高時チ誅ス。 ○敗於延元 延元三年。足利氏チ征 討

山之事 後醍醐帝。尊氏ノ僞降チ信シ。 ○負 棄テソ ○面議 面見シテ。事 ○嘗試兩端 嘗試ニ

僂倅孰成 フタマタチ。カケテ。オメシミチ。新田カ足利カ。イツレカ。事チ成スナ

是 斯ク狡猾ナル。シ ○時艱 其時代 艱難 ○東伐 尊氏ノ叛スル時。節刀チ受ケ。 ○奥兵 北 關家陸奥

ニ在リ ○擾其内 關東ノ方ヨリ。賊チ攻メテ。之レチ擾亂セシメタル云フ。是レ全ク文人事

ノ當時ニ在ツテ。未ダ關家ノ腹中モ。知レズ。且ツ其能ク爲ス有ルヤ否ヤモ。知レザルニ。安ソツ兵

チ停メテ。緩緩ニ之レチ俟ツアルチ得ンヤ。余尤モ這等事後ノ論チ好マズ。蓋シ三蘇之レガ備チ

作リシ ○懸軍 後詰メノ兵ノ 無キチ云フ。 ○長驅 勢ニ乘ツテ。長途 行ク義 ○西奔 尊氏京師ニ敗レ。九

甲 甲冑チシマツシテ。身輕 ○窮追 テ。其勢明瞭ナルチ。義貞ノ婦女子ニ眷戀シ。機會チ誤リ

シ者故ヘ。其責メチ。 ○頓兵堅城 頓ハ止也。史記王翳傳ニ。三日三夜不頓舍ト。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

シ者故ヘ。其責メチ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃

免カレザルナリ。 ○頓兵堅城 是レナリ。堅城ハ赤松則村ノ白旗城チ指ス。 ○再燃



一旦キエタル火ノ再ヒモエタ  
ツ。賊ノ再ヒ起ルニ比シ言フ。○緩急両失機 機ハ機會ナリ。東征ハ急ニ失シ。西征ハ緩ニ失ス。○主聰ノ天子

目ヲ指ス。聰ヲ言ヘバ。明ヲ兼ヌル。猶  
チ甲ヲ言ヒテ。賢ヲ兼ヌルガゴトシ。○壅蔽 フサガリ。オ  
ホハル。義。○苟媮 深謀遠慮無クシテ。苟モ

○善謀 正成ノ賊ヲ避ケ。再舉チ  
圖ル策ノ如キヲ謂フ。○難於輒行 清忠ノ正成ヲ  
抑沮スル類。○宣 但ト。○居平安

三本木坊ニ ○岡阜起伏 オカノ。タカヒ  
住居セリ。○力戰處 華頂山阿彌陀  
峯等ヲ指ス。○北行 皇太子チ

ニ行 ○南遷 吉野ニ幸セ  
ク時。○此舉 尊氏ノ降チ信シ。京師ニ  
還御セラル。チ指ス。○哀痛詔 是非賊ヲ討シ吳

ル。勅命。巨忠景ノ金  
崎城ニ齎ラシ至ル者。○已無及矣 最早ヤ間  
際會フ。○霸心 天下ニ覇

燼 火ノモエクヒチ殘黨ニ比シ言フ。  
上ミノ再燃ト相映シテ味アリ。○反迹 ノ痕跡。○舊府 鎌倉チ

ヒザモトノ惡人ヲ除ク  
意。即チ足利氏チ指ス。○逆節 其暴逆ノフシ  
チ云フ。○款 ム意。○上計 第一番ノ妙計ナリ。是

ニテ。實地ニ斯ク爲シテ。今言フ通りニ  
出來ルヤ否ヤハ。知ル可ラザルナリ。○始授鉞 鉞ハ斧鉞ナリ。即チ建武二年ニ。足利氏

○扼賊之吭 ノドチ。シメツケル義。地勢上ヨリ之レチ論ズルニ。相模ハ東海道ナリ。其レニ  
似タ。○拊其背 其セナカチウツ義。是レハ上

○形格勢禁 形ハ阻格セラレ。勢ハ禁制セ  
リ。○與羽ノ句チ承クルナリ。○形格勢禁 形ハ阻格セラレ。勢ハ禁制セ

子莫三之樂而不仁ノ疏ニ 天下之事 有ニ形格  
勢禁而不レ得レ有レ爲者ト云フチ出典トス。○必不云云 其相根足柄チ擁スルモ。亦チ輕チ破  
上野等ノ數十里外ニ據リテ。安ソア之  
レチ制止スルチ得ンヤ。妄ト謂フ可シ。○進退自如 進ムモ退クモ。勝手次第ノ意。○爲越前云云 當

越前ニ赴ム。可キノ勅命ナリ。安  
ソア。○收合舊部 一オサメ合ス義。○巢窟 鳥巢窟ヲ以  
ルナリ。サレド足利氏ハ京師チ以テ根本ト爲シ。鎌倉  
チ巢窟トハ爲サズ。何故ヘニ斯ク言フヤ。怪ム可シ。○翼戴 太子チタヌケ。○展其才 其

能チ。充分ニハタラカセル義。凡ソ這等皆ナ文人机上ノ論  
ニテ。義貞チシテ之レチ聽カシムレバ。豈ニ首肯セシヤ。○無根之兵 根本無  
キノ兵。○不自由 朝廷ノ掣肘スル所ト爲ルチ言フナリ。既ニ己レニ由ルチ得ズ。安ソア上文論ズル所ノ如ク。  
自由ナルチ得ンヤ。若シ之レチ自由ニスレバ。亦タ一ノ尊氏チ生ズルナリ。何ア義貞ノ貴ブ

可キア。○奉令周旋 朝廷ノ命令チ奉シ。  
ランヤ。○不暇占便利 我ガ一身ノ便利チ。  
錦囊詔書 討賊御委任ノ親書詔。○挫 折レクシ

○老賊 尊氏チ斥ス。老  
ハフルチノ意。○朽腐 朽チク  
ルチ以テ。室町  
ト曰フナリ。○市塵迷離 室町第廢シテ。市街ト爲リ。塵埃迷離

柱下ノ石チ。イ  
シツエト謂フ。○識 識ルシシ認  
○朱季之於唐季 唐ノ季世 僖宗ノ時ニ當リ。朱全忠汴梁



フ。是レヲ梁ノ太祖ト爲ス。李克用太原ニ據リ。晉王ニ封セラレ。唐室ヲ復スルヲ以テ。○英邁

志ト爲シ。屢々朱全忠ト戦フ。功ヲ成サズシテ卒ス。是レ母氏ト義貞トニ似タルアリ。○英雄謀略ノ衆人

○存勗 李克用ノ子李存勗。年十七ニ。存勗父ノ遺志ヲ繼

ニスグルヲ謂フ。○有所牽制 朝廷ヨリ之レヲヒキオサ

ハシメタリ。○河北太原 李克用ノ據

○祈山靈 日吉ノ神社ニ祈願セシ

○遊信 本ト胡人ナリシニ。李克用ノ養子ト爲リ。姓名ヲ李嗣源ト改ム。存勗梁ヲ滅シ。天子ト爲

○祝天云 明宗位ニ即キ。每夕宮中ニ於テ。香ヲ焚キ。天ニ祝シ曰ク。某ハ本ト胡人ナリ。國亂

○趙藝祖 宋ノ太祖。姓ハ趙。名ハ匡胤。周ニ代ツテ天下ヲ有ツ。藝祖トハ。文藝

○天運 簪首ニ

○數 カンツヤ

○未可下以歳月較也 歳月ノ前後遷速ヲ以テ。比較

○新田遠裔 徳川氏

○應

○祝而生 宋ノ太祖ノ生ル。實ニ後唐ノ明宗登極ノ年ニ當レリ。宋天下

○新田遠裔 徳川氏

○應

○天運 簪首ニ

○數 カンツヤ

○未可下以歳月較也 歳月ノ前後遷速ヲ以テ。比較

○新田遠裔 徳川氏

○應

○祝而生 宋ノ太祖ノ生ル。實ニ後唐ノ明宗登極ノ年ニ當レリ。宋天下

○新田遠裔 徳川氏

○應

○天運 簪首ニ

○數 カンツヤ

○未可下以歳月較也 歳月ノ前後遷速ヲ以テ。比較

○新田遠裔 徳川氏

○應



